

第6次南富良野町総合計画策定のための

まちづくりアンケート調査 報告書

令和4年3月
南富良野町

目 次

第1章 調査の概要.....	1
1. 調査の概要.....	3
2. 調査票の回収結果.....	3
3. 集計結果の表し方.....	3
第2章 一般向けアンケート集計結果.....	5
1. 回答者の属性.....	7
(1) 回答者の性別.....	7
(2) 回答者の年齢.....	7
(3) 回答者の居住地区.....	8
(4) 回答者の居住年数.....	8
(5) 回答者の世帯構成.....	9
2. 南富良野町への愛着度・定住意向.....	10
(1) 南富良野町居住のきっかけ.....	10
(2) 南富良野町への愛着度.....	13
(3) 南富良野町の住みやすさ.....	15
(4) 今後の定住意向.....	17
(5) 住み続けたい理由.....	19
(6) 移転したい理由.....	23
3. 南富良野町の施策や取組について.....	24
(1) 現状の満足度.....	24
(2) 満足度の高い項目.....	25
(3) 満足度の低い項目.....	25
(4) 評価点による満足度評価.....	26
(5) 今後の重要度.....	29
(6) 重要度の高い項目.....	30
(7) 重要度の低い項目.....	30
(8) 評価点による重要度評価.....	31
(9) 今後力を入れるべき項目.....	34
4. まちの魅力と将来像について.....	42
(1) 南富良野町の魅力について.....	43
(2) 今後目指すべきまちづくりについて.....	47
5. 町の進めるべき施策について.....	52
(1) 農業振興施策として力を入れるべきこと.....	52
(2) 林業振興施策として力を入れるべきこと.....	56
(3) 商業・観光振興施策として力を入れるべきこと.....	60
(4) 高齢者・障がい者福祉振興施策として力を入れるべきこと.....	64
(5) 子育て支援振興施策として力を入れるべきこと.....	68
(6) 学校教育施策として力を入れるべきこと.....	72
(7) 行政・財政運営で力を入れるべきこと.....	76
(8) 冬場の生活環境のために力を入れるべきこと.....	80
(9) 今後のまちづくりのために力を入れるべきこと.....	83

第3章 中学生向けアンケート集計結果..... 87

1. 回答者の属性.....	89
(1) 回答者の性別.....	89
(2) 回答者の学年.....	89
2. 愛着度と定住意向.....	90
(1) 南富良野町への愛着度.....	90
(2) 今後の定住意向.....	91
(3) 南富良野町に住み続けたい理由.....	92
(4) 他の市町村に住みたい理由.....	93
(5) 南富良野高等学校への進学意向.....	94
(6) 南富良野高等学校に進学したい理由.....	95
(7) 他の高校に進学したい理由.....	96
3. 将来に希望する南富良野町の姿.....	97

第4章 高校生向けアンケート集計結果..... 99

1. 回答者の属性.....	101
(1) 回答者の性別.....	101
(2) 回答者の学年.....	101
2. 愛着度と定住意向.....	102
(1) 南富良野町への愛着度.....	102
(2) 今後の定住意向.....	103
(3) 南富良野町に住み続けたい理由.....	104
(4) 他の市町村に住みたい理由.....	105
(5) 現在通学している高校.....	106
(6) 南富良野高等学校に進学した理由.....	107
(7) 他の高校に進学した理由.....	108
3. 将来に希望する南富良野町の姿.....	109

第1章 調査の概要

1. 調査の概要

調査対象	・一般向け：南富良野町に在住する18歳以上の町民 ・中学生向け：南富良野町に在住する中学生 ・高校生向け：南富良野町に在住する高校生 (基準日：令和3年11月1日現在)
抽出方法	・一般向け：無作為抽出調査(1,000人) ・中学生向け：悉皆調査(全量調査) ・高校生向け：悉皆調査(全量調査)
調査期間	令和3年12月3日(金)～令和3年12月17日(金)
調査方法	・一般向け：郵送による調査票の配布・回収 ・中学生向け：学校での配布・回収 ・高校生向け：学校での配布・回収

2. 調査票の回収結果

■調査票の全体回収率

	配布数(票)	回収数(票)	回収率(%)
一般向け	1,000	406	40.6
中学生向け	38	24	63.2
高校生向け	57	29	50.9
合 計	1,095	459	41.9

3. 集計結果の表し方

○調査結果の図表は、原則として回答者の構成比(百分率)で表現しています。

○百分率による集計では、回答者数(該当質問においては該当者数)を100%として算出し、本文及び図の数字に関しては、すべて小数点第2位を四捨五入し、小数点第1位までを表記しています。複数回答の設問では、すべての比率の合計が100%を超えることがあります。

○クロス集計(男女別の集計など)の表については、分析軸の項目の後に(n)として、各項目の回答者数を表記しています。

○クロス集計の分析軸となる項目に「無回答」がある場合は表示していません。よって、「全体」の数値と各項目の和が一致しない場合があります。

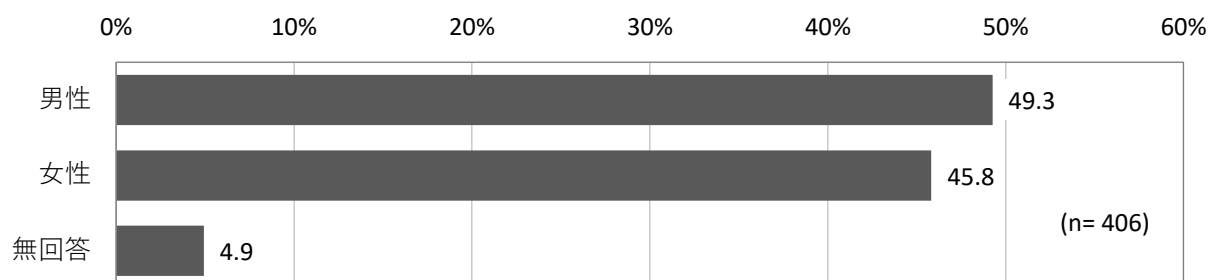
○平成23年調査結果のうち複数回答できる設問は、分母を回答者数として再計算しているため、平成23年調査結果報告書に記載している回答者割合と異なっているものがあります。

第2章 一般向けアンケート集計結果

1. 回答者の属性

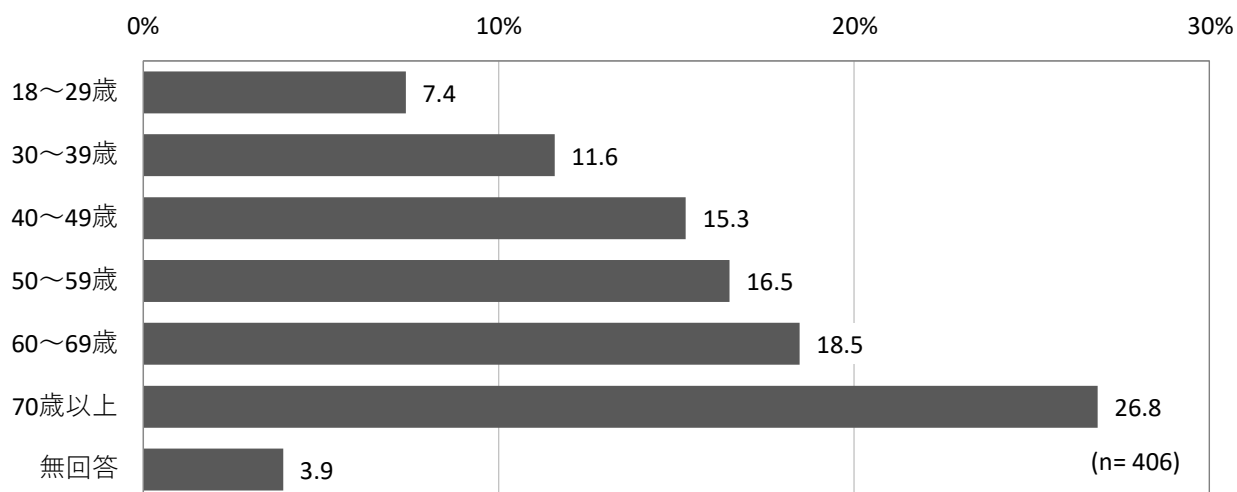
(1) 回答者の性別

回答者の性別は「男性」が 49.3%、「女性」が 45.8%となっています。



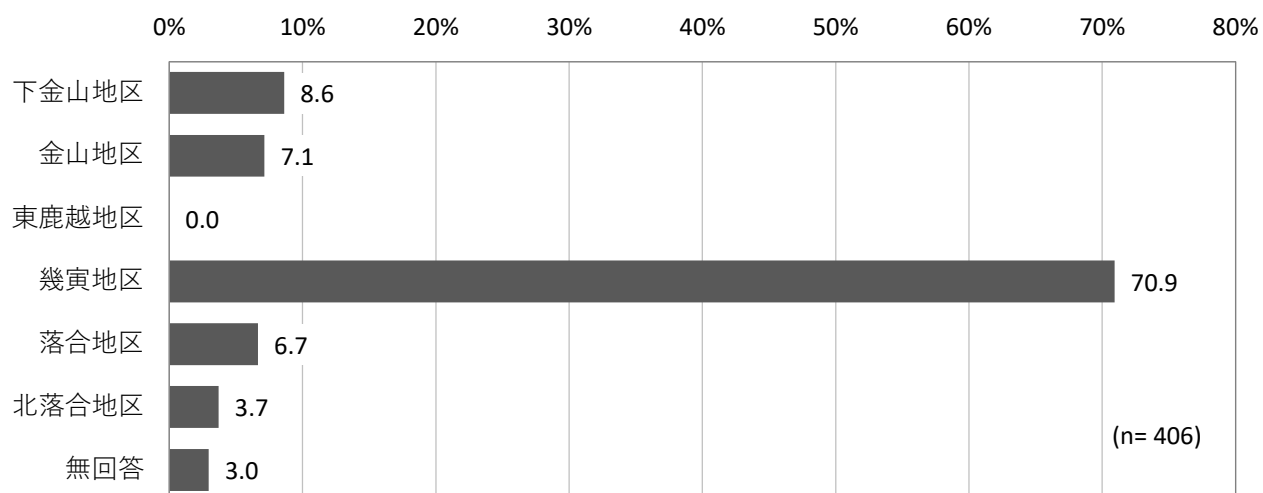
(2) 回答者の年齢

回答者の年齢は「70 歳以上」が 26.8%で最も多く、次いで「60～69 歳」(18.5%)、「50～59 歳」(16.5%)と続いています。



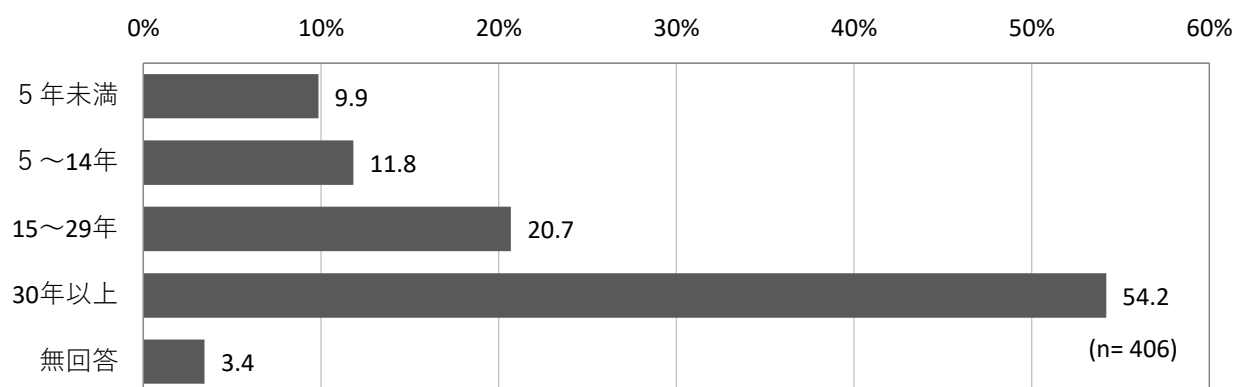
(3) 回答者の居住地区

回答者の居住地区は「幾寅地区」が70.9%を占め、次いで「下金山地区」（8.6%）、「金山地区」（7.1%）と続いています。



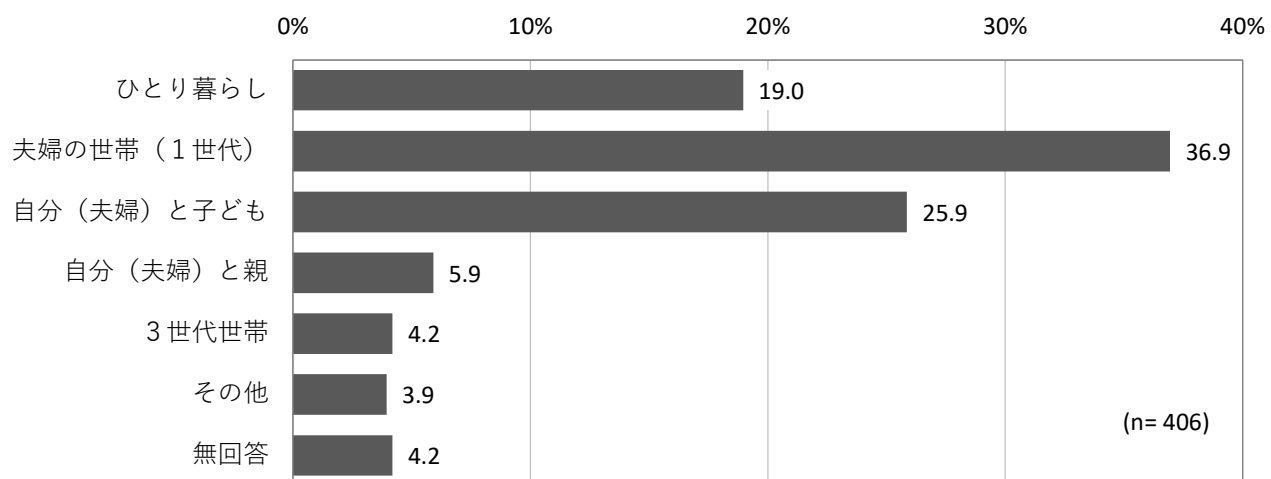
(4) 回答者の居住年数

居住年数は、「30年以上」が54.2%で最も高く、次いで「15～29年」（20.7%）、「5～14年」（11.8%）と続いています。



(5) 回答者の世帯構成

回答者の世帯構成は「夫婦の世帯（1世帯）」が36.9%で最も多く、次いで「自分（夫婦）と子ども」（25.9%）、「ひとり暮らし」（19.0%）と続いています。

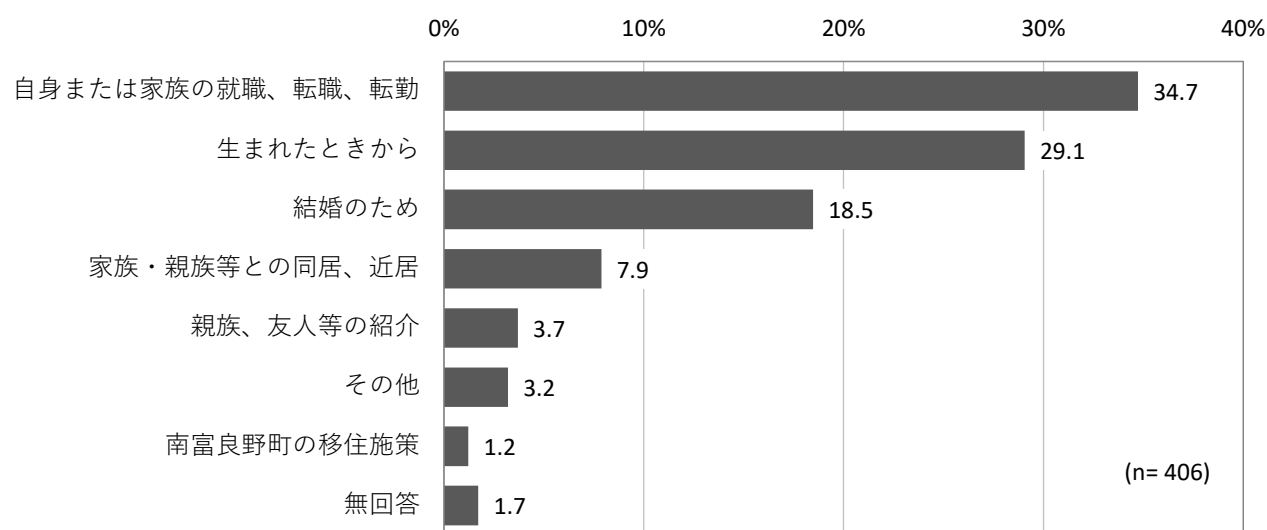


2. 南富良野町への愛着度・定住意向

(1) 南富良野町居住のきっかけ

南富良野町への居住のきっかけは「自身または家族の就職、転職、転勤」が34.7%で最も多く、次いで「生まれたときから」(29.1%)、「結婚のため」(18.5%)と続いています。

問1 あなたが、南富良野町に住むようになったきっかけは何ですか。(1つに○印)



■「その他」の内容

- ・台風の災害ボランティア
- ・自然環境
- ・地価
- ・居住地を求め探した結果

男女別・年齢別の集計

○男女別でみると、男性は「自身または家族の就職、転職、転勤」(44.0%)、女性は「結婚のため」(36.0%)がそれぞれ最も多くなっています。

○年齢別でみると、30～59歳は「自身または家族の就職、転職、転勤」が最も多く、特に30～39歳はその割合が51.1%で他の回答を大きく上回っています。

(%)

		n	自身または 家族の 就職、転 職、転勤	生まれた ときから	結婚のため	家族・親族 等との同 居、近居	親族、友人 等の紹介	その他	南富良野 町の移住 施策	無回答
全体		406	34.7	29.1	18.5	7.9	3.7	3.2	1.2	1.7
性別	男 性	200	44.0	37.5	1.5	9.5	3.0	3.0	0.5	1.0
	女 性	186	26.3	20.4	36.0	5.9	3.8	3.8	2.2	1.6
年齢	18～29歳	30	40.0	43.3	0.0	10.0	6.7	0.0	0.0	0.0
	30～39歳	47	51.1	17.0	17.0	6.4	4.3	2.1	0.0	2.1
	40～49歳	62	48.4	22.6	19.4	1.6	0.0	4.8	1.6	1.6
	50～59歳	67	43.3	31.3	11.9	4.5	1.5	4.5	1.5	1.5
	60～69歳	75	32.0	32.0	16.0	16.0	1.3	1.3	1.3	0.0
	70歳以上	109	18.3	30.3	26.6	8.3	8.3	4.6	1.8	1.8

※網掛け部は各分類の中で回答者が一番多い項目

居住地区別の集計

○下金山地区、金山地区及び幾寅地区は「自身または家族の就職、転職、転勤」が30%を超えており、北落合地区は「生まれたときから」が40.0%と多くなっています。

(%)

		n	自身または 家族の 就職、転 職、転勤	生まれた ときから	結婚のため	家族・親族 等との同 居、近居	親族、友人 等の紹介	その他	南富良野 町の移住 施策	無回答
全体		406	34.7	29.1	18.5	7.9	3.7	3.2	1.2	1.7
居住 地区	下金山地区	35	37.1	20.0	28.6	2.9	0.0	8.6	0.0	2.9
	金山地区	29	34.5	17.2	20.7	17.2	0.0	6.9	0.0	3.4
	幾寅地区	288	36.5	30.2	17.0	8.0	4.2	1.4	1.4	1.4
	落合地区	27	29.6	29.6	14.8	3.7	7.4	14.8	0.0	0.0
	北落合地区	15	13.3	40.0	26.7	6.7	6.7	0.0	6.7	0.0

※網掛け部は各分類の中で回答者が一番多い項目

居住年数別の集計

○居住年数が30年未満の方は「自身または家族の就職、転職、転勤」が多く40%を超えている状況です。
また、30年以上は「生まれたときから」が42.3%で最も多くなっています。

(%)

		n	自身または家族の就職、転職、転勤	生まれたときから	結婚のため	家族・親族等との同居、近居	親族、友人等の紹介	その他	南富良野町の移住施策	無回答
全体		406	34.7	29.1	18.5	7.9	3.7	3.2	1.2	1.7
世帯構成	5年未満	40	65.0	0.0	15.0	5.0	7.5	7.5	0.0	0.0
	5～14年	48	66.7	0.0	18.8	6.3	2.1	2.1	2.1	2.1
	15～29年	84	40.5	23.8	15.5	7.1	6.0	3.6	1.2	2.4
	30年以上	220	20.9	42.3	19.5	9.1	2.7	2.7	1.4	1.4

※網掛け部は各分類の中で回答者が一番多い項目

世帯構成別の集計

○ひとり暮らし、夫婦の世帯（1世代）、自分（夫婦）と子どもの世帯は「自身または家族の就職、転職、転勤」が多く、自分（夫婦）とおや、3世代世帯及びその他の世帯は「生まれたときから」が最も多くなっています。

(%)

		n	自身または家族の就職、転職、転勤	生まれたときから	結婚のため	家族・親族等との同居、近居	親族、友人等の紹介	その他	南富良野町の移住施策	無回答
全体		406	34.7	29.1	18.5	7.9	3.7	3.2	1.2	1.7
世帯構成	ひとり暮らし	77	50.6	20.8	9.1	5.2	7.8	5.2	0.0	1.3
	夫婦の世帯（1世代）	150	33.3	30.7	19.3	8.7	3.3	2.7	0.7	1.3
	自分（夫婦）と子ども	105	36.2	21.9	25.7	4.8	3.8	3.8	2.9	1.0
	自分（夫婦）と親	24	29.2	45.8	8.3	16.7	0.0	0.0	0.0	0.0
	3世代世帯	17	17.6	47.1	17.6	11.8	0.0	0.0	0.0	5.9
	その他	16	0.0	50.0	18.8	12.5	0.0	6.3	6.3	6.3

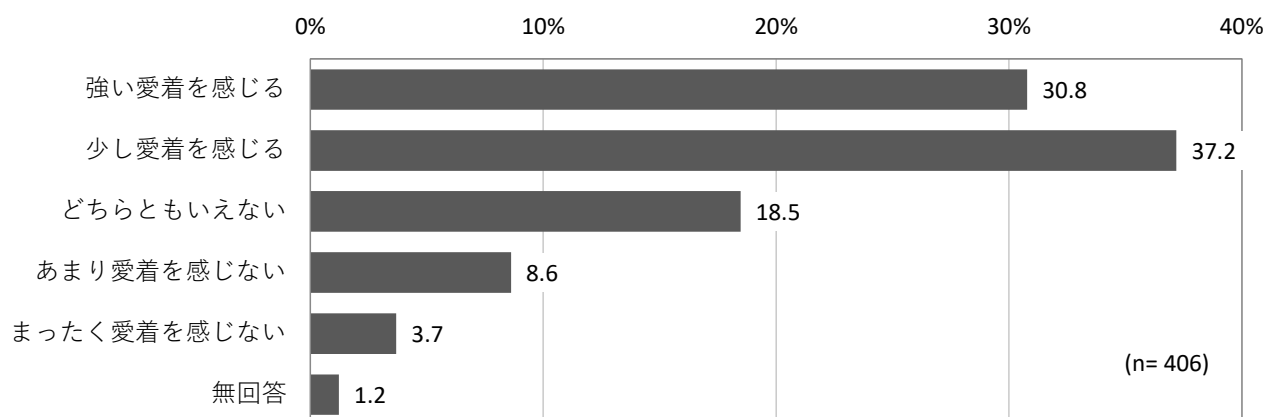
※網掛け部は各分類の中で回答者が一番多い項目

(2) 南富良野町への愛着度

「強い愛着を感じる」と「少し愛着を感じている」の合計が68.0%となっている一方、「あまり愛着を感じない」（8.6%）と「まったく愛着を感じない」（3.7%）の合計は12.3%となっており、愛着を感じている人の割合が愛着を感じていない人を大きく上回っている状況です。

問2 あなたは、南富良野町に対して「自分のまち」としての愛着をどの程度感じていますか。

(1つに○印)



男女別・年齢別の集計

○男女別に「強い愛着を感じる」と「少し愛着を感じる」の合計をみると、男性と女性で大きな差異はみられません、「あまり愛着を感じない」「まったく愛着を感じない」の合計は女性の方が5.0ポイント上回っている状況です。

○年齢別に「強い愛着を感じる」と「少し愛着を感じる」の合計をみると、70歳以上が85.3%で最も多く、30～39歳が53.2%で最も少なくなっています。

(%)

		n	強い愛着を感じる	少し愛着を感じる	どちらとも いえない	あまり愛着を 感じない	まったく愛着 を感じない	無回答
全体		406	30.8	37.2	18.5	8.6	3.7	1.2
性別	男 性	200	33.5	35.0	21.5	7.5	2.5	0.0
	女 性	186	27.4	40.9	15.1	10.2	4.8	1.6
年齢	18～29 歳	30	23.3	43.3	13.3	6.7	13.3	0.0
	30～39 歳	47	12.8	40.4	27.7	12.8	6.4	0.0
	40～49 歳	62	22.6	32.3	24.2	12.9	6.5	1.6
	50～59 歳	67	22.4	38.8	19.4	13.4	4.5	1.5
	60～69 歳	75	36.0	37.3	20.0	5.3	0.0	1.3
	70 歳以上	109	46.8	38.5	11.9	2.8	0.0	0.0

※網掛け部は各分類の中で回答者が一番多い項目

居住地区別の集計

○居住地区別に「強い愛着を感じる」と「少し愛着を感じる」の合計をみると、金山地区が82.8%で最も多く、幾寅地区が66.0%で最も少なくなっています。

(%)

	n	強い愛着を感じる	少し愛着を感じる	どちらともいえない	あまり愛着を感じない	まったく愛着を感じない	無回答
全体	406	30.8	37.2	18.5	8.6	3.7	1.2
居住地区							
下金山地区	35	42.9	34.3	14.3	5.7	0.0	2.9
金山地区	29	34.5	48.3	10.3	3.4	3.4	0.0
幾寅地区	288	28.5	37.5	18.4	10.1	4.5	1.0
落合地区	27	33.3	37.0	25.9	3.7	0.0	0.0
北落合地区	15	40.0	33.3	26.7	0.0	0.0	0.0

※網掛け部は各分類の中で回答者が一番多い項目

居住年数別の集計

○居住年数別に「強い愛着を感じる」と「少し愛着を感じる」の合計をみると、30年以上が77.3%で最も多く、5～14年が48.0%で最も少なくなっています。

(%)

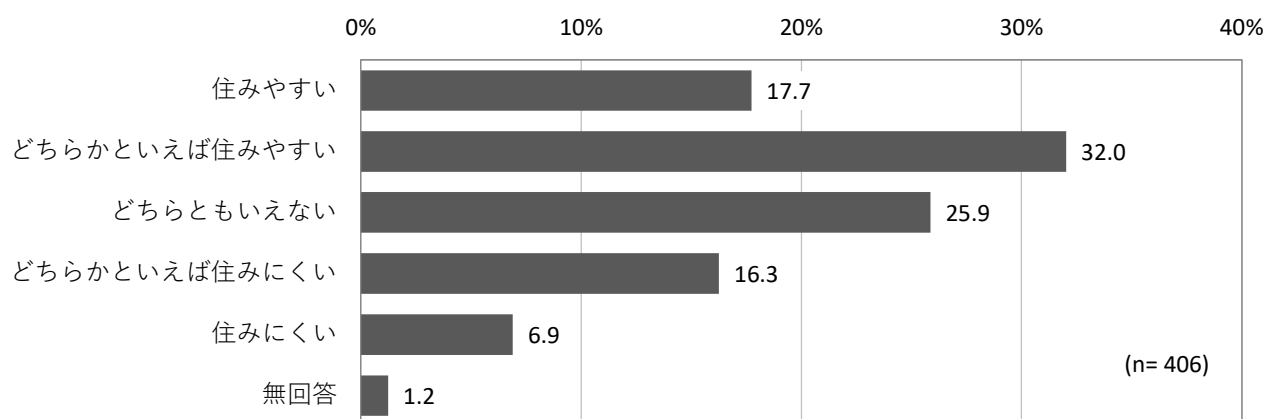
	n	強い愛着を感じる	少し愛着を感じる	どちらともいえない	あまり愛着を感じない	まったく愛着を感じない	無回答
全体	406	30.8	37.2	18.5	8.6	3.7	1.2
居住年数							
5年未満	40	15.0	47.5	15.0	10.0	12.5	0.0
5～14年	48	6.3	41.7	31.3	14.6	6.3	0.0
15～29年	84	27.4	33.3	22.6	10.7	4.8	1.2
30年以上	220	40.0	37.3	15.0	5.5	0.9	1.4

※網掛け部は各分類の中で回答者が一番多い項目

(3) 南富良野町の住みやすさ

「住みやすい」と「どちらかといえば住みやすい」の合計は 49.7%で、全体の5割程度にとどまっています。一方、「どちらかといえば住みにくい」と「住みにくい」の合計は 23.2%で、全体の2割程度となっています。

問3 南富良野町は住みやすいと感じますか。(1つに○印)



男女別・年齢別の集計

○男女別に「住みやすい」と「どちらかといえば住みやすい」の合計をみると、男性は53.0%で女性の46.2%を6.8ポイント上回っています。

○年齢別に「住みやすい」と「どちらかといえば住みやすい」の合計をみると、年齢が高くなるにつれてその割合は高く、70歳以上は68.8%となっています。一方、18～29歳はその割合は16.7%と非常に低くなっています。

(%)

	n	住みやすい	どちらかといえ ば住みやすい	どちらとも いえない	どちらかといえ ば住みにくい	住みにくい	無回答
全体	406	17.7	32.0	25.9	16.3	6.9	1.2
性別							
男 性	200	15.0	38.0	24.0	16.0	6.0	1.0
女 性	186	18.8	27.4	28.5	16.1	8.1	1.1
年齢							
18～29 歳	30	6.7	10.0	46.7	20.0	13.3	3.3
30～39 歳	47	4.3	34.0	34.0	14.9	12.8	0.0
40～49 歳	62	11.3	25.8	22.6	25.8	12.9	1.6
50～59 歳	67	11.9	29.9	28.4	20.9	9.0	0.0
60～69 歳	75	22.7	38.7	24.0	12.0	2.7	0.0
70 歳以上	109	29.4	39.4	20.2	10.1	0.0	0.9

※網掛け部は各分類の中で回答者が一番多い項目

居住地別の集計

- 「住みやすい」と「どちらかといえば住みやすい」の合計をみると、下金山地区が71.4%で最も高く、幾寅地区が46.5%で最も低くなっています。

(%)

	n	住みやすい	どちらかといえば住みやすい	どちらともいえない	どちらかといえば住みにくい	住みにくい	無回答
全体	406	17.7	32.0	25.9	16.3	6.9	1.2
居住地区							
下金山地区	35	31.4	40.0	11.4	11.4	2.9	2.9
金山地区	29	13.8	34.5	27.6	20.7	3.4	0.0
幾寅地区	288	14.9	31.6	27.4	17.0	8.3	0.7
落合地区	27	22.2	37.0	25.9	11.1	3.7	0.0
北落合地区	15	40.0	26.7	26.7	6.7	0.0	0.0

※網掛け部は各分類の中で回答者が一番多い項目

居住年数別の集計

- 「住みやすい」と「どちらかといえば住みやすい」の合計をみると、30年以上が61.8%で最も高く、5～14年が23.0%で最も低くなっています。
- 一方、「どちらかといえば住みにくい」と「住みにくい」の合計をみると、居住年数が短いほどその割合は高く、5年未満はその割合が45.0%と非常に多くなっています。

(%)

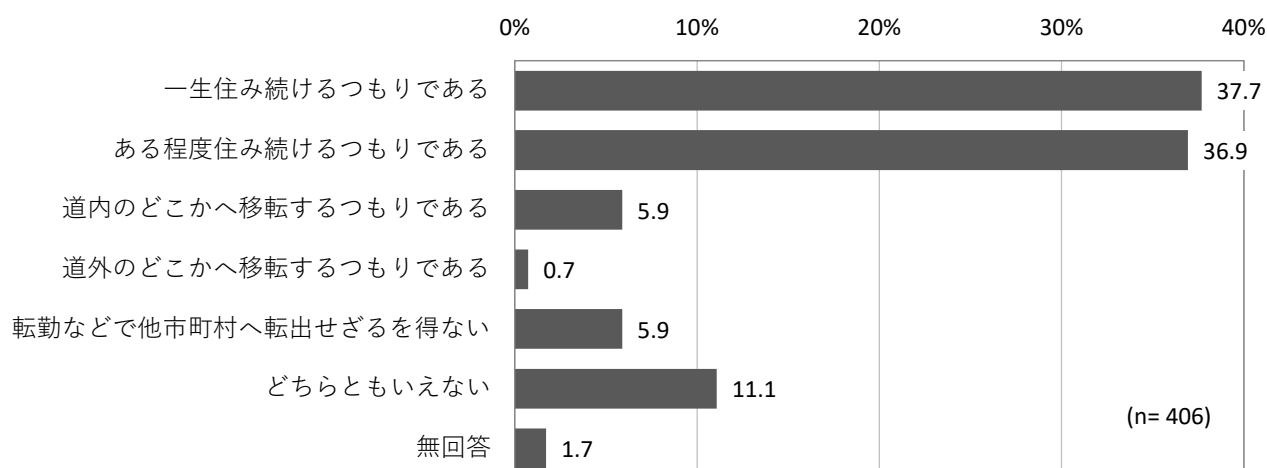
	n	住みやすい	どちらかといえば住みやすい	どちらともいえない	どちらかといえば住みにくい	住みにくい	無回答
全体	406	17.7	32.0	25.9	16.3	6.9	1.2
居住年数							
5年未満	40	12.5	25.0	15.0	30.0	15.0	2.5
5～14年	48	4.2	18.8	41.7	20.8	14.6	0.0
15～29年	84	14.3	27.4	31.0	16.7	9.5	1.2
30年以上	220	22.3	39.5	23.2	12.3	2.3	0.5

※網掛け部は各分類の中で回答者が一番多い項目

(4) 今後の定住意向

今後の南富良野町への定住意向は、「一生住み続けるつもりである」(37.7%)、「ある程度住み続けるつもりである」(36.9%)が他を引き離して多い状況です。

問4 あなたは、これからも南富良野町に住みたいと思いますか。(1つに○印)



男女別・年齢別の集計

○男女別に「一生住み続けるつもりである」と「ある程度住み続けるつもりである」の合計をみると、女性は79.5%で男性の70.0%よりも9.5ポイント高くなっています。

○年齢別に「一生住み続けるつもりである」と「ある程度住み続けるつもりである」の合計をみると、年齢が高くなるにつれてその割合が高くなり、70歳以上では94.5%となっています。

○定住意向の低い18～29歳は「転勤などで他市町村へ転出せざるを得ない」(20.0%)、「道内のどこかへ移転するつもりである」(13.3%)が他の年齢階級と比べて多くなっています。

(%)

	n	一生住み続けるつもりである	ある程度住み続けるつもりである	道内のどこかへ移転するつもりである	道外のどこかへ移転するつもりである	転勤などで他市町村へ転出せざるを得ない	どちらともいえない	無回答
全体	406	37.7	36.9	5.9	0.7	5.9	11.1	1.7
性別	男性	39.5	30.5	6.0	1.0	9.5	12.0	1.5
	女性	34.9	44.6	5.9	0.5	2.7	10.2	1.1
年齢	18～29歳	3.3	36.7	13.3	3.3	20.0	23.3	0.0
	30～39歳	21.3	40.4	10.6	0.0	12.8	14.9	0.0
	40～49歳	9.7	54.8	4.8	0.0	8.1	21.0	1.6
	50～59歳	22.4	47.8	7.5	3.0	7.5	7.5	4.5
	60～69歳	53.3	32.0	4.0	0.0	2.7	8.0	0.0
	70歳以上	70.6	23.9	1.8	0.0	0.0	3.7	0.0

※網掛け部は各分類の中で回答者が一番多い項目

居住地別の集計

- 「一生住み続けるつもりである」と「ある程度住み続けるつもりである」の合計をみると、いずれも70%以上となっており、特に北落合地区では割合が93.4%と非常に高くなっています。

(%)

	n	一生住み続けるつもりである	ある程度住み続けるつもりである	道内のどこかへ移転するつもりである	道外のどこかへ移転するつもりである	転勤などで他市町村へ転出せざるを得ない	どちらともいえない	無回答
全体	406	37.7	36.9	5.9	0.7	5.9	11.1	1.7
居住地区								
下金山地区	35	54.3	25.7	0.0	0.0	11.4	5.7	2.9
金山地区	29	41.4	34.5	3.4	0.0	3.5	13.8	0.0
幾寅地区	288	35.4	39.2	6.9	0.7	5.9	10.8	1.0
落合地区	27	37.0	33.3	3.7	3.7	3.7	14.8	3.7
北落合地区	15	46.7	46.7	0.0	0.0	0.0	6.7	0.0

※網掛け部は各分類の中で回答者が一番多い項目

居住年数別の集計

- 「一生住み続けるつもりである」と「ある程度住み続けるつもりである」の合計をみると、居住年数が長くなるとともにその割合は高くなっており、30年以上の方は90.0%となっています。
- 定住意向が低い5年未満の方は「転勤などで他市町村へ転出せざるを得ない」が45.0%で最も多く、転出は自身の意向というよりも職場環境の要因が大きい状況です。

(%)

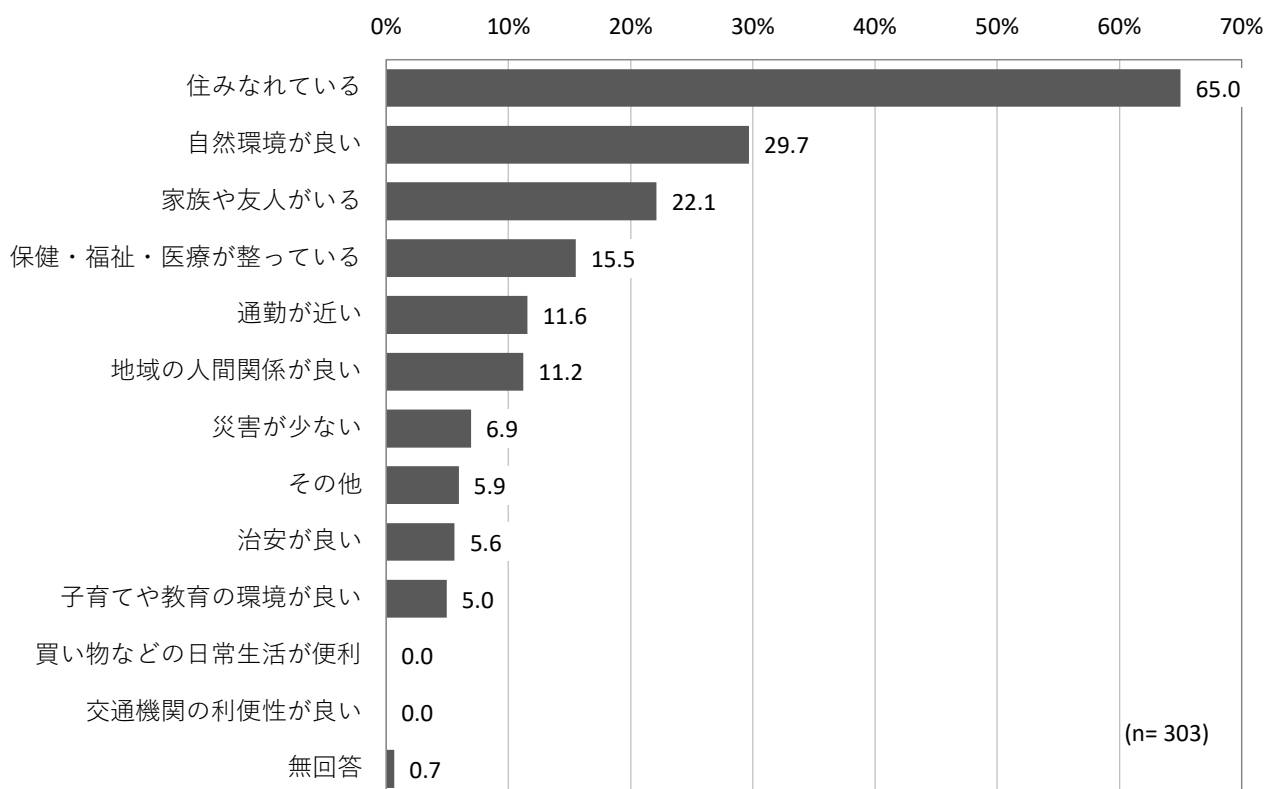
	n	一生住み続けるつもりである	ある程度住み続けるつもりである	道内のどこかへ移転するつもりである	道外のどこかへ移転するつもりである	転勤などで他市町村へ転出せざるを得ない	どちらともいえない	無回答
全体	406	37.7	36.9	5.9	0.7	5.9	11.1	1.7
居住年数								
5年未満	40	7.5	30.0	5.0	0.0	45.0	10.0	2.5
5～14年	48	10.4	43.8	20.8	2.1	6.3	14.6	2.1
15～29年	84	21.4	46.4	7.1	2.4	3.6	17.9	1.2
30年以上	220	55.5	34.5	1.8	0.0	0.0	7.3	0.9

※網掛け部は各分類の中で回答者が一番多い項目

(5) 住み続けたい理由

南富良野町へ住み続けたい理由は、「住みなれている」が65.0%を占めており、次いで「自然環境が良い」（29.7%）、「家族や友人がいる」（22.1%）と続いています。

問4-1 住み続けたいと思う主な理由は何ですか。（2つまで〇印）



■「その他」の内容

- ・仕事がある為、仕事次第
- ・持家がある為
- ・お墓がある為
- ・子供の故郷だから
- ・22歳まで医療費がかからない為
- ・家庭の事情により
- ・他の町に住んだことがないので
- ・他に行く所がないので
- ・とりあえず

男女別・年齢別の集計

○男女別でも「住みなれている」が男女ともに最も多くなっていますが、男性は「自然環境が良い」が33.6%で女性と比べて9.3ポイント高く、女性は「家族や友人がいる」が27.0%で男性と比べて9.1ポイント高くなっています。

○年齢別でみると、18～29歳は「自然環境が良い」、30歳以上は「住みなれている」がそれぞれ最も多くなっています。

(%)

	n	住みなれている	自然環境が良い	家族や友人がいる	保健・福祉・医療が整っている	通勤が近い	地域の人間関係が良い
全体	303	65.0	29.7	22.1	15.5	11.6	11.2
性別							
男性	140	68.6	33.6	17.9	16.4	14.3	10.7
女性	148	61.5	24.3	27.0	14.2	10.1	11.5
年齢							
18～29歳	12	33.3	41.7	25.0	0.0	25.0	8.3
30～39歳	29	41.4	27.6	24.1	3.4	27.6	10.3
40～49歳	40	47.5	37.5	15.0	5.0	30.0	7.5
50～59歳	47	59.6	25.5	25.5	12.8	17.0	6.4
60～69歳	64	75.0	28.1	32.8	10.9	6.3	14.1
70歳以上	103	77.7	27.2	16.5	29.1	0.0	14.6

	n	災害が少ない	その他	治安が良い	子育てや教育の環境が良い	買い物などの日常生活が便利	交通機関の利便性が高い	無回答
全体	303	6.9	5.9	5.6	5.0	0.0	0.0	0.7
性別								
男性	140	6.4	5.0	7.9	5.0	0.0	0.0	1.4
女性	148	7.4	6.1	3.4	5.4	0.0	0.0	0.0
年齢								
18～29歳	12	8.3	8.3	16.7	0.0	0.0	0.0	8.3
30～39歳	29	3.4	6.9	0.0	24.1	0.0	0.0	0.0
40～49歳	40	2.5	12.5	12.5	12.5	0.0	0.0	0.0
50～59歳	47	2.1	8.5	6.4	6.4	0.0	0.0	2.1
60～69歳	64	7.8	4.7	7.8	0.0	0.0	0.0	0.0
70歳以上	103	10.7	1.9	1.9	0.0	0.0	0.0	0.0

※網掛け部は各分類の中で回答者が一番多い項目

居住地区別の集計

○居住地区別でも「住みなれている」が最も多く、加えて落合地区及び北落合地区は「自然環境が良い」も多い状況です。

(%)

	n	住みなれている	自然環境が良い	家族や友人がいる	保健・福祉・医療が整っている	通勤が近い	地域の人間関係が良い
全体	303	65.0	29.7	22.1	15.5	11.6	11.2
居住地区	下金山地区	28	64.3	32.1	14.3	25.0	10.7
	金山地区	22	59.1	22.7	9.1	4.5	13.6
	幾寅地区	215	67.9	25.6	25.1	15.3	12.1
	落合地区	19	47.4	47.4	21.1	15.8	10.5
	北落合地区	14	57.1	57.1	14.3	14.3	7.1

	n	災害が少ない	その他	治安が良い	子育てや教育の環境が良い	買い物などの日常生活が便利	交通機関の利便性が高い	無回答
全体	303	6.9	5.9	5.6	5.0	0.0	0.0	0.7
居住地区	下金山地区	28	10.7	3.6	3.6	0.0	0.0	0.0
	金山地区	22	22.7	9.1	0.0	0.0	0.0	0.0
	幾寅地区	215	4.2	4.7	6.5	5.6	0.0	0.9
	落合地区	19	15.8	0.0	0.0	5.3	0.0	0.0
	北落合地区	14	7.1	28.6	14.3	7.1	0.0	0.0

※網掛け部は各分類の中で回答者が一番多い項目

居住年数別の集計

○居住年数別が15年以上は「住みなれている」、居住年数が15年未満は「自然環境が良い」がそれぞれ最も多くなっています。

(%)

		n	住みなれている	自然環境が良い	家族や友人がいる	保健・福祉・医療が整っている	通勤が近い	地域の人間関係が良い
全体		303	65.0	29.7	22.1	15.5	11.6	11.2
居住年数	5年未満	15	6.7	46.7	13.3	6.7	20.0	26.7
	5～14年	26	38.5	42.3	11.5	3.8	30.8	7.7
	15～29年	57	45.6	36.8	17.5	12.3	21.1	8.8
	30年以上	198	78.8	23.7	25.8	18.7	6.1	11.6

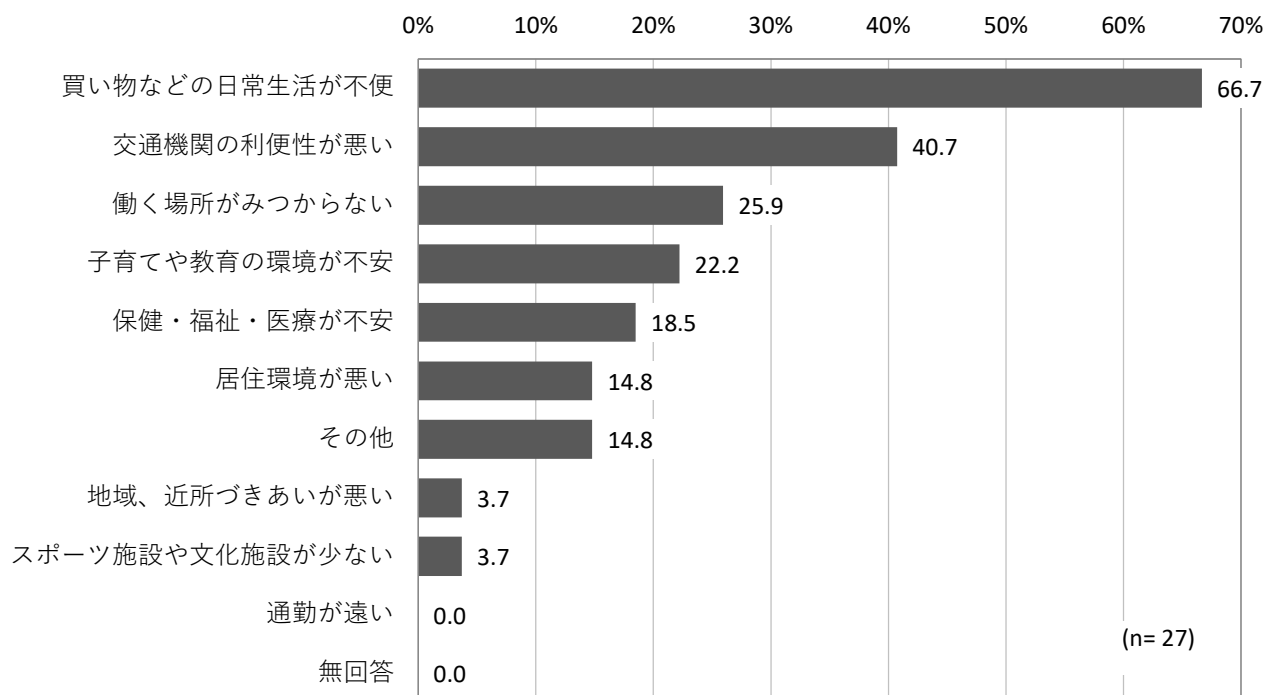
		n	災害が少ない	その他	治安が良い	子育てや教育の環境が良い	買い物などの日常生活が便利	交通機関の利便性が良い	無回答
全体		303	6.9	5.9	5.6	5.0	0.0	0.0	0.7
居住年数	5年未満	15	0.0	13.3	6.7	13.3	0.0	0.0	0.0
	5～14年	26	3.8	11.5	3.8	7.7	0.0	0.0	3.8
	15～29年	57	7.0	10.5	12.3	12.3	0.0	0.0	0.0
	30年以上	198	7.6	3.0	4.0	2.0	0.0	0.0	0.5

※網掛け部は各分類の中で回答者が一番多い項目

（６）移転したい理由

南富良野町から移転したい理由は、「買い物などの日常生活が不便」が 66.7%で最も多く、次いで「交通機関の利便性が悪い」（40.7%）、「働く場所がみつからない」（25.9%）と続いています。

問４-２ 移転したいと思う主な理由は何ですか。（２つまで○印）



■「その他」の内容

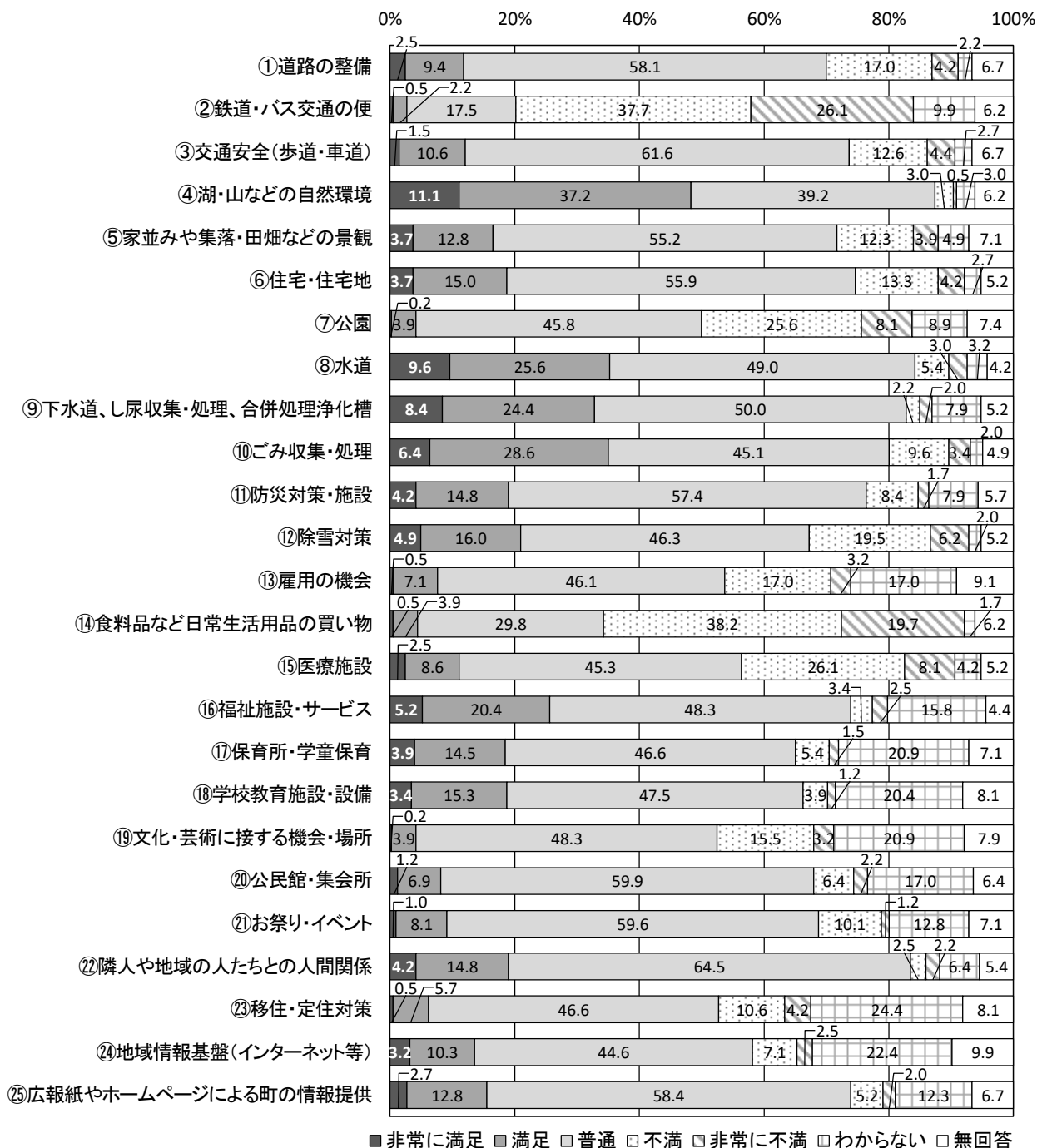
- ・職場環境が悪い
- ・ライフステージの変化のため
- ・将来的に親のそばに引っ越したい

3. 南富良野町の施策や取組について

(1) 現状の満足度

問5 南富良野町の状況についてお聞きします。

各項目の「現状の満足度」について、それぞれあなたの考えに近いものを1つ選び、○をつけてください。また、各項目について、ご意見・ご要望がありましたらご記入をお願いします。



(2) 満足度の高い項目

「非常に満足」「満足」の合計でみると、令和3年調査の上位5項目である「④湖・山などの自然環境」「⑧水道」「⑩ごみ収集・処理」「⑨下水道、し尿収集・処理、合併処理浄化槽」「⑯福祉施設・サービス」は平成23年調査でも上位項目となっており、高い満足度を維持できています。

順位	満足度が高い10項目	令和3年調査結果(%)			平成23年調査結果	
		非常に満足(A)	満足(B)	満足の合計(A)+(B)	満足の合計(%)	順位
1	④湖・山などの自然環境	11.1	37.2	48.3	59.5	1
2	⑧水道	9.6	25.6	35.2	40.8	2
3	⑩ごみ収集・処理	6.4	28.6	35.0	34.2	4
4	⑨下水道、し尿収集・処理、合併処理浄化槽	8.4	24.4	32.8	35.5	3
5	⑯福祉施設・サービス	5.2	20.4	25.6	32.8	5
6	⑫除雪対策	4.9	16.0	20.9	18.6	12
7	⑪防災対策・施設	4.2	14.8	19.0	15.1	16
7	⑫隣人や地域の人たちとの人間関係	4.2	14.8	19.0	25.3	7
9	⑥住宅・住宅地	3.7	15.0	18.7	18.8	10
9	⑱学校教育施設・設備	3.4	15.3	18.7	12.2	20

(3) 満足度の低い項目

「不満」「非常に不満」の合計でみると、「②鉄道・バス交通の便」「⑭食料品など日常生活用品の買い物」は平成23年調査と同様に満足度が低い結果となっています。特に「②鉄道・バス交通の便」は63.8%で平成23年調査の38.5%から25.3ポイント高くなっています。

また、令和3年調査では「⑮医療施設」「⑬雇用の機会」は平成23年調査と比べて10ポイント以上不満の合計が減少したものの、「⑦公園」「①道路の整備」は10ポイント以上増加しています。

順位	満足度が低い10項目	令和3年調査結果(%)			平成23年調査結果	
		不満(A)	非常に不満(B)	不満の合計(A)+(B)	不満の合計(%)	順位
1	②鉄道・バス交通の便	37.7	26.1	63.8	38.5	2
2	⑭食料品など日常生活用品の買い物	38.2	19.7	57.9	54.1	1
3	⑮医療施設	26.1	8.1	34.2	26.9	5
4	⑦公園	25.6	8.1	33.7	21.8	7
5	⑫除雪対策	19.5	6.2	25.6	31.7	4
6	①道路の整備	17.0	4.2	21.2	9.1	17
7	⑬雇用の機会	17.0	3.2	20.2	36.4	3
8	⑰文化・芸術に接する機会・場所	15.5	3.2	18.7	19.2	8
9	⑥住宅・住宅地	13.3	4.2	17.5	22.6	6
10	③交通安全(歩道・車道)	12.6	4.4	17.0	14.8	9

(4) 評価点による満足度評価

■評価点の計算方法について

問5の各項目の満足度に関して、評価点での分析を行います。

分野別の各項目に関して、満足度の選択肢の回答者数に点数を掛け、その平均値（加重平均）を使用して計算を行います。

※満足度の評価点（加重平均）の算出方法				
評価点＝	「非常に満足」の回答者数	×	10点	} ÷ 無回答以外の回答者数
	「満足」の回答者数	×	5点	
	「普通」「わからない」の回答者数	×	0点	
	「不満」の回答者数	×	－5点	
	「非常に不満」の回答者数	×	－10点	

■評価点による満足度の計算結果

	全体	年代別			
		18～39歳	40～59歳	60歳以上	無回答
① 道路の整備	-0.59	-1.12	-0.75	-0.34	0.77
② 鉄道・バス交通の便	-4.62	-4.40	-5.08	-4.48	-3.08
③ 交通安全（歩道・車道）	-0.42	-0.46	-0.75	-0.25	0.77
④ 湖・山などの自然環境	2.95	3.09	3.16	2.71	3.08
⑤ 家並みや集落・田畑などの景観	0.00	0.00	-0.35	0.22	0.83
⑥ 住宅・住宅地	0.04	-0.33	-0.59	0.71	-0.38
⑦ 公園	-2.02	-3.88	-2.27	-1.00	-1.25
⑧ 水道	1.75	0.58	1.51	2.44	1.92
⑨ 下水道、し尿収集・処理、合併処理浄化槽	1.84	0.65	1.45	2.68	2.08
⑩ ごみ収集・処理	1.31	-0.13	0.66	2.40	1.92
⑪ 防災対策・施設	0.60	0.06	0.27	1.00	1.92
⑫ 除雪対策	-0.31	0.07	-0.66	-0.33	1.25
⑬ 雇用の機会	-0.84	-0.39	-0.88	-1.03	-0.83
⑭ 食料品など日常生活用品の買い物	-3.87	-4.93	-4.33	-3.13	-2.50
⑮ 医療施設	-1.52	-3.38	-2.56	0.03	0.00
⑯ 福祉施設・サービス	1.17	0.47	0.50	1.84	3.08
⑰ 保育所・学童保育	0.76	-0.06	0.66	1.22	0.83
⑱ 学校教育施設・設備	0.86	0.07	0.59	1.40	1.67
⑲ 文化・芸術に接する機会・場所	-0.95	-1.10	-1.06	-0.91	0.91
⑳ 公民館・集会所	-0.08	-0.71	-0.35	0.34	1.25
㉑ お祭り・イベント	-0.13	-0.52	-0.19	-0.03	1.82
㉒ 隣人や地域の人たちとの人間関係	0.86	0.84	0.47	1.07	2.50
㉓ 移住・定住対策	-0.67	-0.84	-1.06	-0.25	-0.91
㉔ 地域情報基盤（インターネット等）	0.26	-0.33	0.12	0.60	1.36
㉕ 広報紙やホームページによる町の情報提供	0.49	0.19	-0.04	1.05	0.45

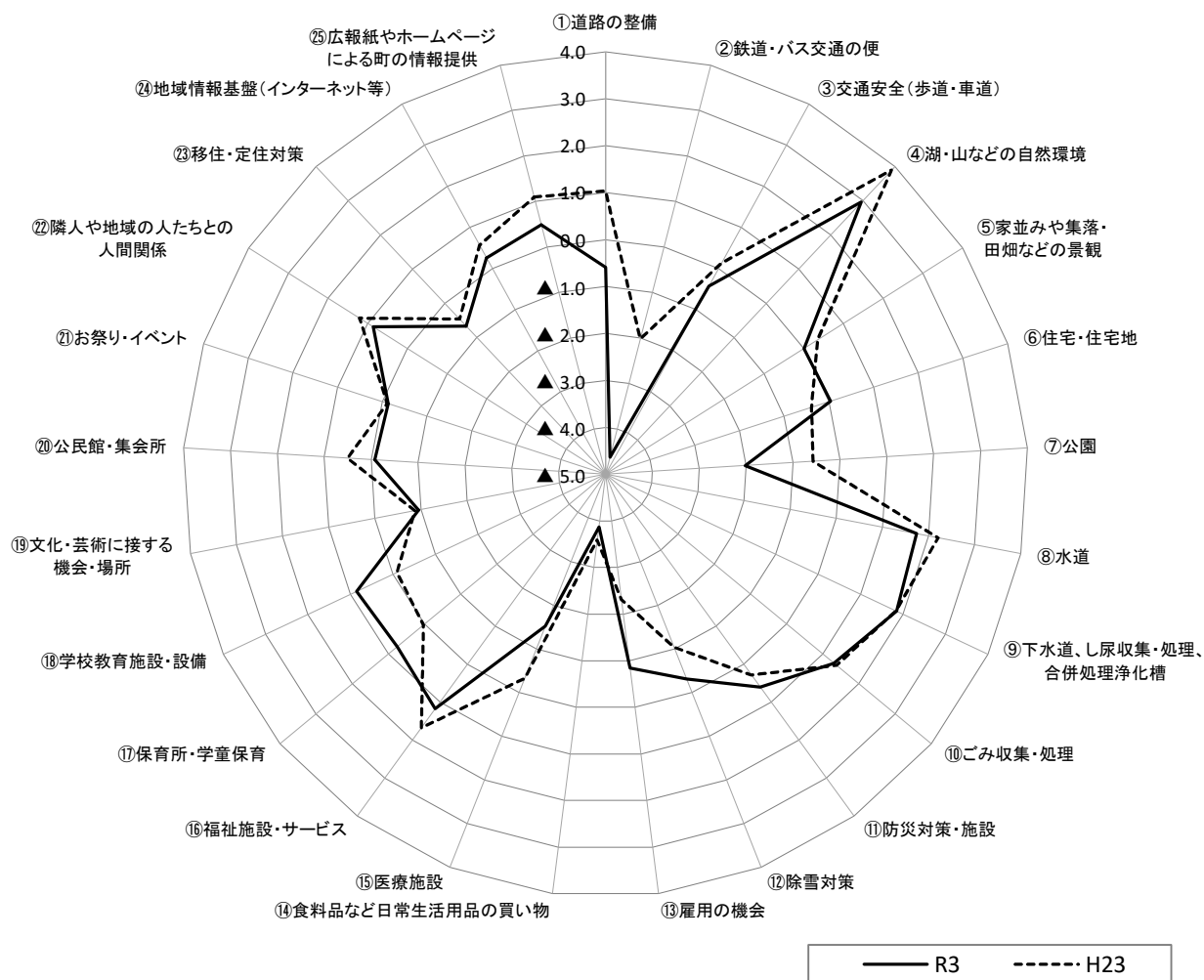
評価点による満足度においても、「④湖・山などの自然環境」が2.95で最も評価点が高く、次いで「⑨下水道、し尿収集・処理、合併処理浄化槽」（1.84）、「⑧水道」（1.75）と続いています。

また、「②鉄道・バス交通の便」は-4.62で最も評価点が低く、次いで「⑭食料品など日常生活用品の買い物」（-3.87）、「⑦公園」（-2.02）と続いています。また、「②鉄道・バス交通の便」は平成23年調査と比べて評価点が2.60ポイント低くなっています。

《満足度評価／全体》

上位5項目			
順位	項目	評価点	平成23年比
1	④湖・山などの自然環境	2.95	-0.94
2	⑨下水道、し尿収集・処理、合併処理浄化槽	1.84	+0.01
3	⑧水道	1.75	-0.46
4	⑩ごみ収集・処理	1.31	-0.07
5	⑬福祉施設・サービス	1.17	-0.50

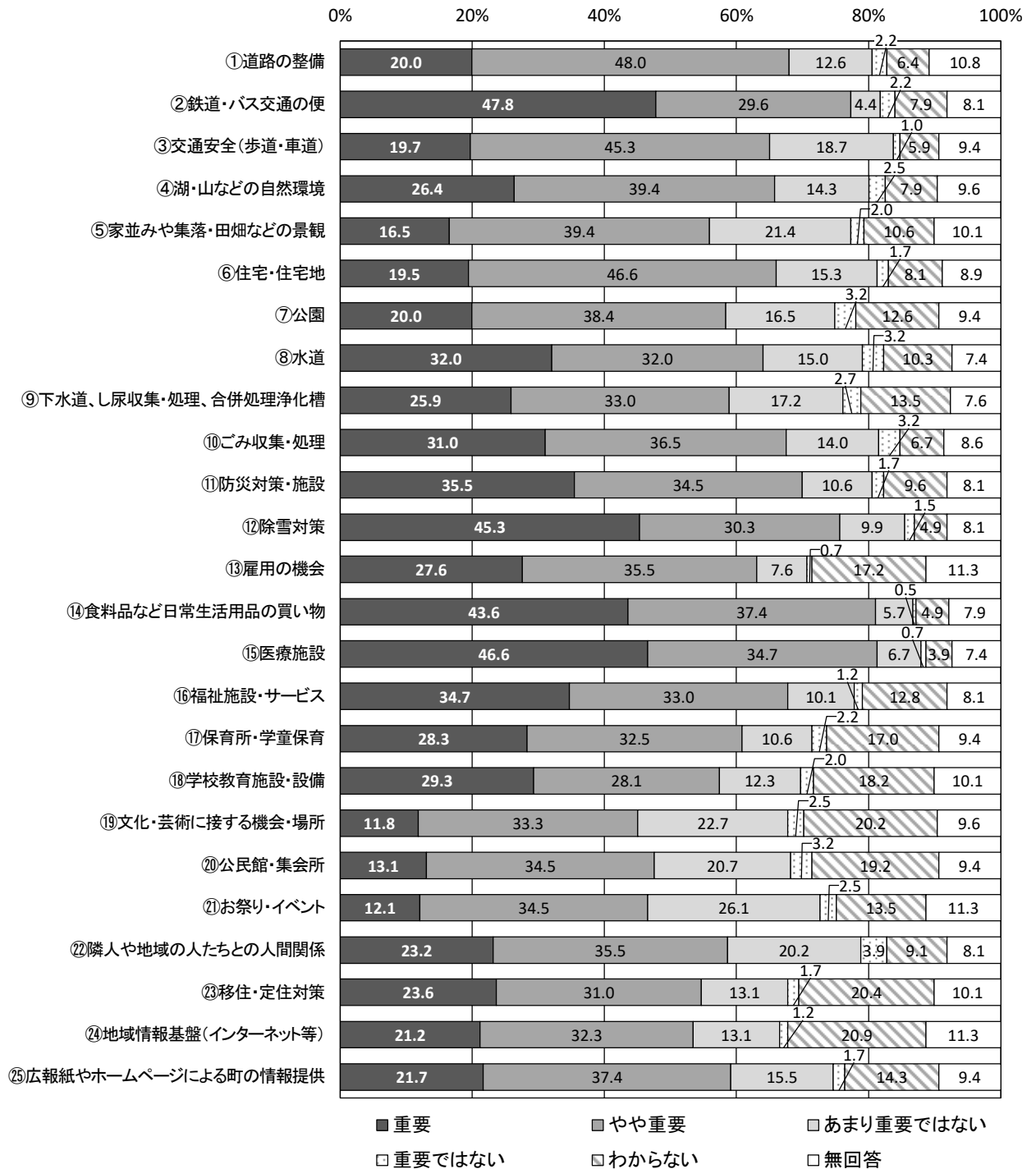
下位5項目			
順位	項目	評価点	平成23年比
1	②鉄道・バス交通の便	-4.62	-2.60
2	⑭食料品など日常生活用品の買い物	-3.87	-0.28
3	⑦公園	-2.02	-1.45
4	⑮医療施設	-1.52	-1.19
5	⑯文化・芸術に接する機会・場所	-0.95	-0.08



(5) 今後の重要度

問5 南富良野町の状況についてお聞きします。

各項目の「今後の重要性」について、それぞれあなたの考えに近いものを1つ選び、○をつけてください。また、各項目について、ご意見・ご要望がありましたらご記入をお願いします。



(6) 重要度の高い項目

「重要」「やや重要」の合計でみると「⑮医療施設」「⑭食料品など日常生活用品の買い物」「②鉄道・バス交通の便」が上位3項目となっており、その割合は80%前後と高い状況です。

また、上位4項目は平成23年調査とほぼ同じ結果となっており、その重要性がうかがえます。

順位	重要度の高い10項目	令和3年調査結果 (%)			平成23年調査結果	
		重要 (A)	やや重要 (B)	重要の合計 (A)+(B)	重要の合計 (%)	順位
1	⑮医療施設	46.6	34.7	81.3	76.8	1
2	⑭食料品など日常生活用品の買い物	43.6	37.4	81.0	75.7	2
3	②鉄道・バス交通の便	47.8	29.6	77.3	66.6	4
4	⑫除雪対策	45.3	30.3	75.6	73.8	3
5	⑪防災対策・施設	35.5	34.5	70.0	62.2	8
6	①道路の整備	20.0	48.0	68.0	49.5	19
7	⑯福祉施設・サービス	34.7	33.0	67.7	63.2	7
8	⑩ごみ収集・処理	31.0	36.5	67.5	64.5	6
9	⑥住宅・住宅地	19.5	46.6	66.0	56.6	17
10	④湖・山などの自然環境	26.4	39.4	65.8	59.4	12

(7) 重要度の低い項目

「あまり重要ではない」「重要ではない」の合計をみると、「㉑お祭り・イベント」が28.6%で最も高く、次いで「⑲文化・芸術に接する機会・場所」(25.1%)、「㉒隣人や地域の人たちとの人間関係」(24.1%)が続いています。

順位	重要度の低い10項目	令和3年調査結果 (%)			平成23年調査結果	
		あまり 重要ではない (A)	重要ではない (B)	重要ではない の合計 (A)+(B)	重要ではない の合計 (%)	順位
1	㉑お祭り・イベント	26.1	2.5	28.6	29.6	4
2	⑲文化・芸術に接する機会・場所	22.7	2.5	25.1	25.8	6
3	㉒隣人や地域の人たちとの人間関係	20.2	3.9	24.1	21.6	7
4	⑳公民館・集会所	20.7	3.2	23.9	30.6	2
5	⑤家並みや集落・田畑などの景観	21.4	2.0	23.4	31.7	1
6	⑨下水道、し尿収集・処理、合併処理浄化槽	17.2	2.7	20.0	16.9	13
7	③交通安全（歩道・車道）	18.7	1.0	19.7	21.3	9
7	⑦公園	16.5	3.2	19.7	28.1	5
9	⑧水道	15.0	3.2	18.2	19.7	12
10	㉓広報紙やホームページによる町の情報提供	15.5	1.7	17.2	15.7	15

(8) 評価点による重要度評価

■評価点の計算方法について

問5の各項目の重要度に関して、評価点での分析を行います。

分野別の各項目に関して、重要度の選択肢の回答者数に点数を掛け、その平均値（加重平均）を使用して計算を行います。

※重要度の評価点（加重平均）の算出方法			
評価点＝	「重要」の回答者数	× 10点	} ÷ 無回答以外の回答者数
	「やや重要」の回答者数	× 5点	
	「あまり重要ではない」の回答者数	× -5点	
	「重要ではない」の回答者数	× -10点	
	「わからない」の回答者数	× 0点	

■評価点による重要度の計算結果

	全体	年代別			
		18～39歳	40～59歳	60歳以上	無回答
① 道路の整備	3.98	4.10	3.36	4.64	0.91
② 鉄道・バス交通の便	6.33	4.73	5.98	7.30	6.82
③ 交通安全（歩道・車道）	3.53	3.36	3.19	3.85	4.09
④ 湖・山などの自然環境	4.03	3.78	4.01	4.20	3.64
⑤ 家並みや集落・田畑などの景観	2.62	1.76	2.40	3.14	3.50
⑥ 住宅・住宅地	3.66	3.01	3.92	3.76	3.64
⑦ 公園	3.06	4.47	2.64	2.50	5.91
⑧ 水道	4.03	3.29	2.92	5.27	3.18
⑨ 下水道、し尿収集・処理、合併処理浄化槽	3.36	2.43	2.32	4.72	1.36
⑩ ごみ収集・処理	4.27	3.72	3.16	5.61	0.00
⑪ 防災対策・施設	4.97	4.60	4.84	5.50	1.36
⑫ 除雪対策	5.88	5.41	5.20	6.72	4.50
⑬ 雇用の機会	4.60	4.34	4.55	4.74	5.00
⑭ 食料品など日常生活用品の買い物	6.40	6.67	6.12	6.47	6.82
⑮ 医療施設	6.46	6.53	6.15	6.69	6.25
⑯ 福祉施設・サービス	4.89	3.22	4.49	6.15	2.27
⑰ 保育所・学童保育	4.09	4.27	3.57	4.39	4.55
⑱ 学校教育施設・設備	3.92	3.53	3.53	4.45	3.50
⑲ 文化・芸術に接する機会・場所	1.62	0.92	1.07	2.39	2.00
⑳ 公民館・集会所	1.85	1.13	1.12	2.69	3.00
㉑ お祭り・イベント	1.56	2.36	0.84	1.66	3.57
㉒ 隣人や地域の人たちとの人間関係	2.92	2.24	1.98	3.87	5.00
㉓ 移住・定住対策	3.44	2.53	3.57	3.74	3.89
㉔ 地域情報基盤（インターネット等）	3.33	3.09	3.95	2.87	4.50
㉕ 広報紙やホームページによる町の情報提供	3.41	2.53	2.92	4.08	5.50

①

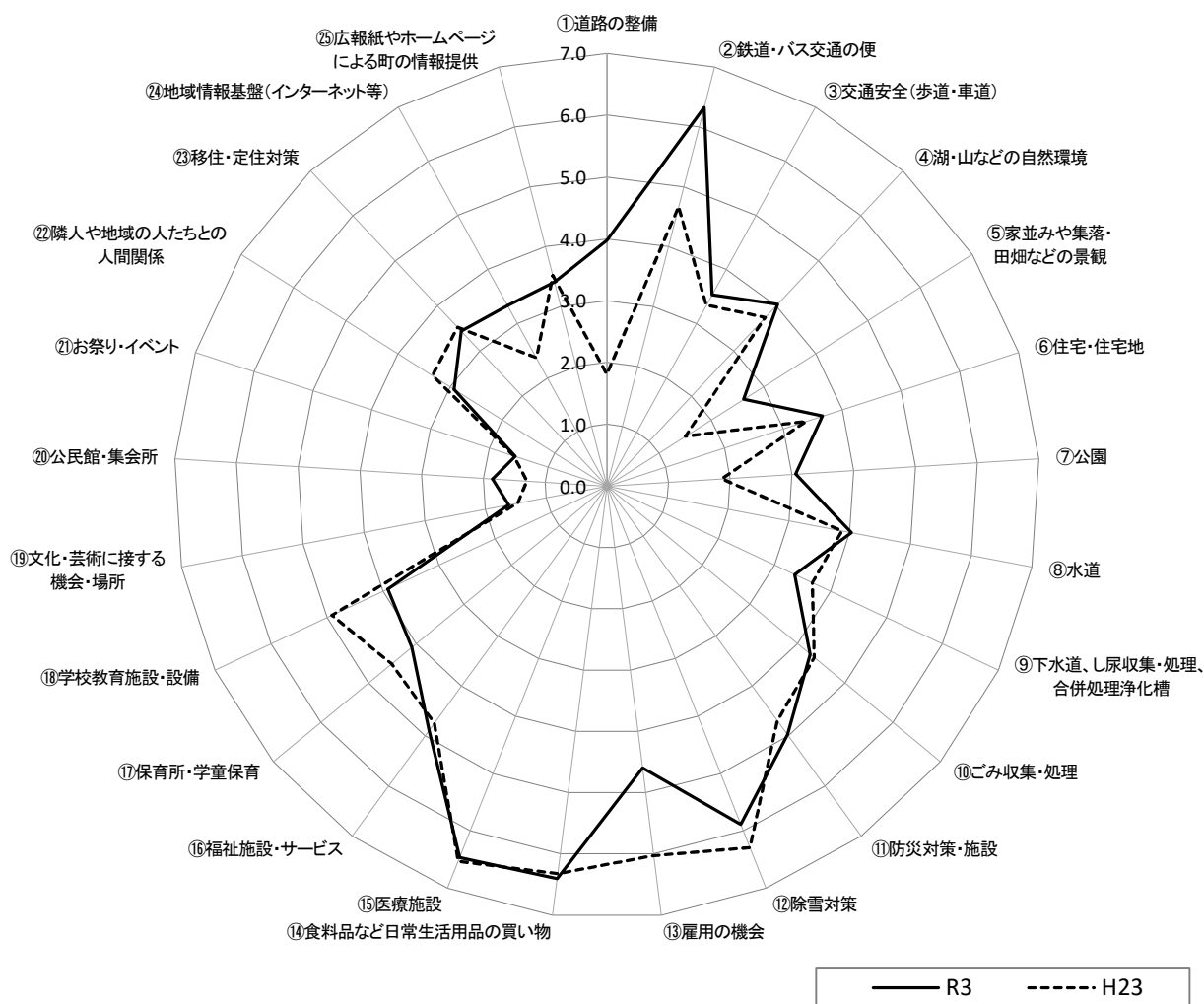
評価点による重要度においても、「⑮医療施設」が6.46で最も評価点が高く、次いで「⑭食料品など日常生活用品の買い物」（6.40）、「②鉄道・バス交通の便」（6.33）と続いています。

また、「⑳お祭り・イベント」は1.56で最も評価点が低く、次いで「⑲文化・芸術に接する機会・場所」（1.62）、「㉔公民館・集会所」（1.85）と続いています。

《重要度評価／全体》

上位5項目			
順位	項目	評価点	平成23年比
1	⑮医療施設	6.46	-0.07
2	⑭食料品など日常生活用品の買い物	6.40	0.08
3	②鉄道・バス交通の便	6.33	1.66
4	⑫除雪対策	5.88	-0.41
5	⑪防災対策・施設	4.97	0.28

下位5項目			
順位	項目	評価点	平成23年比
1	㉔お祭り・イベント	1.56	-0.03
2	⑲文化・芸術に接する機会・場所	1.62	0.16
3	㉔公民館・集会所	1.85	0.55
4	⑤家並みや集落・田畑などの景観	2.62	1.11
5	㉔隣人や地域の人たちとの人間関係	2.92	-0.42



(9) 今後力を入れるべき項目

町の各項目についての満足度と重要度に関して偏差値による分析*を行い、改善度を算出しました。また、改善度がプラスの項目を“改善の優先度が高いと思われる項目”、マイナスの項目を“改善の優先度が低いと思われる項目”として整理しました。

この分析によって、今後力を入れるべき施策として改善の必要性が高い上位3項目を抽出したところ、全体では「②鉄道・バス交通の便」「⑭食料品など日常生活用品の買い物」「⑮医療施設」となり、これらの項目は改善の優先度が非常に高いと考えられます。

年齢別の分析結果も全体とほぼ同様の結果となっていますが、60歳以上は「⑫除雪対策」の優先度が他の年齢と比べて高くなっています。

＜改善の優先度が非常に高い項目（改善度が高い上位3項目）＞

地 区		改善の優先度が非常に高い項目	改善度
全 体		②鉄道・バス交通の便	27.93
		⑭食料品など日常生活用品の買い物	26.90
		⑮医療施設	15.68
年 齢	18～39歳	⑭食料品など日常生活用品の買い物	27.43
		②鉄道・バス交通の便	25.83
		⑮医療施設	22.62
	40～59歳	②鉄道・バス交通の便	26.90
		⑭食料品など日常生活用品の買い物	26.29
		⑮医療施設	18.93
	60歳以上	②鉄道・バス交通の便	29.98
		⑭食料品など日常生活用品の買い物	21.36
		⑫除雪対策	10.26

※偏差値による分析について

満足度評価と重要度評価それぞれの偏差値を算出し、重要度偏差値を横軸に、満足度偏差値を縦軸にとり、散布図に各項目をプロットします。

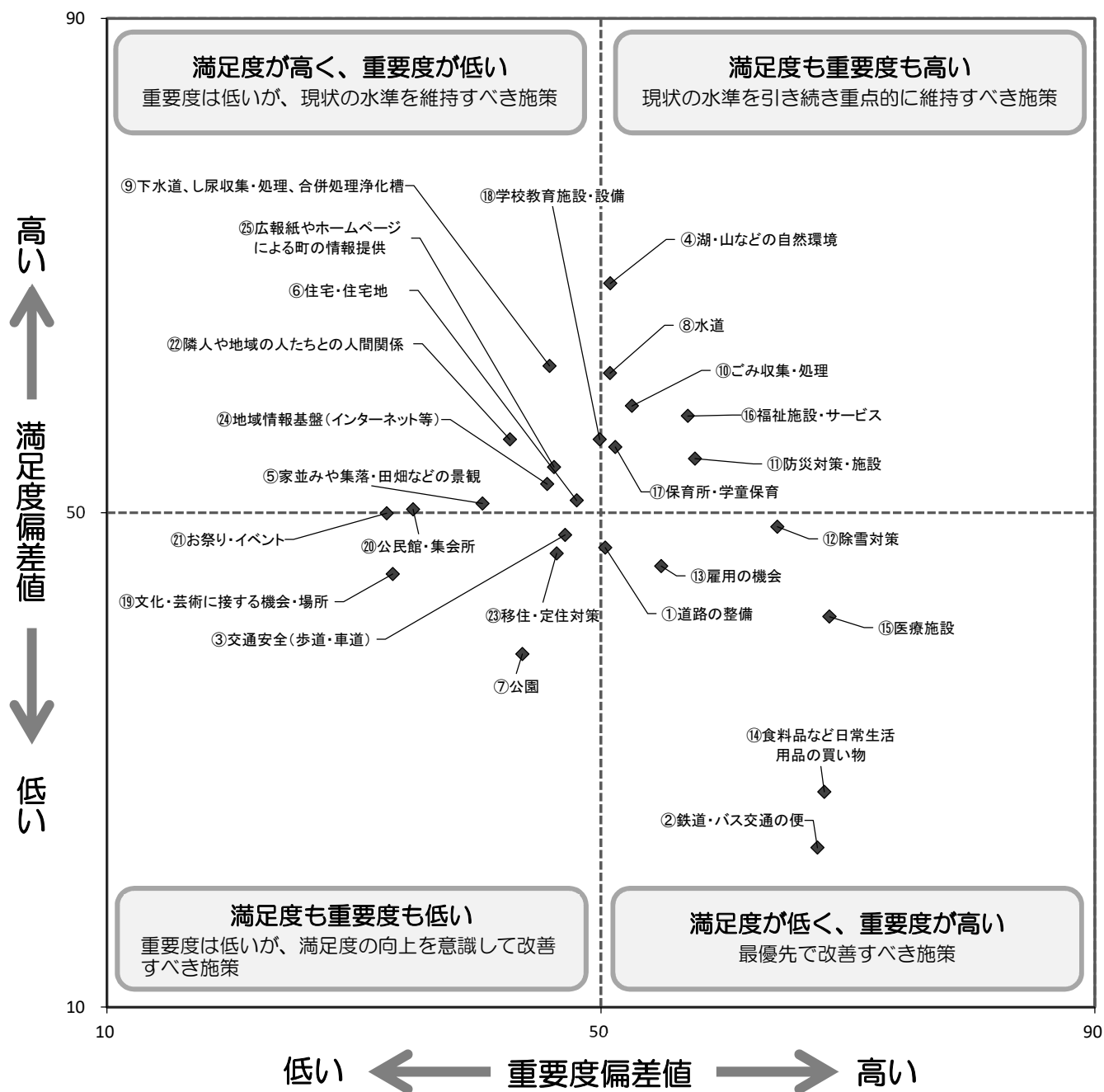
改善度は、プロットの原点（満足度偏差値 50 および重要度偏差値 50 の位置）からの距離×修正指数で算出し、原点からの距離、修正指数は以下の計算式で算出します。

$$\text{距離} = \sqrt{(x - \bar{x})^2 + (y - \bar{y})^2} \quad \text{修正指数 } r = \frac{90 - \text{角度}}{90}$$

①全体の満足度偏差値と重要度偏差値

項 目	全 体			
	満足度偏差値	重要度偏差値	改善度	改善の優先順
①道路の整備	47.18	50.36	1.65	7
②鉄道・バス交通の便	22.90	67.52	27.93	1
③交通安全（歩道・車道）	48.21	47.11	-0.50	11
④湖・山などの自然環境	68.56	50.76	-8.81	23
⑤家並みや集落・田畑などの景観	50.76	40.41	-5.29	19
⑥住宅・住宅地	50.99	48.05	-1.75	12
⑦公園	38.57	43.63	2.31	6
⑧水道	61.30	50.73	-5.19	17
⑨下水道、し尿収集・処理、合併処理浄化槽	61.88	45.84	-8.99	25
⑩ごみ収集・処理	58.65	52.51	-2.88	14
⑪防災対策・施設	54.38	57.63	1.48	8
⑫除雪対策	48.88	64.29	7.88	4
⑬雇用の機会	45.69	54.88	6.25	5
⑭食料品など日常生活用品の買い物	27.41	68.08	26.90	2
⑮医療施設	41.60	68.52	15.68	3
⑯福祉施設・サービス	57.83	57.04	-0.35	10
⑰保育所・学童保育	55.32	51.18	-1.97	13
⑱学校教育施設・設備	55.93	49.92	-3.02	15
⑲文化・芸術に接する機会・場所	45.03	33.14	-5.58	20
⑳公民館・集会所	50.28	34.80	-7.78	21
㉑お祭り・イベント	49.96	32.66	-8.64	22
㉒隣人や地域の人たちとの人間関係	55.94	42.65	-8.82	24
㉓移住・定住対策	46.72	46.42	-0.13	9
㉔地域情報基盤（インターネット等）	52.32	45.65	-4.01	16
㉕広報紙やホームページによる町の情報提供	53.70	46.21	-5.26	18

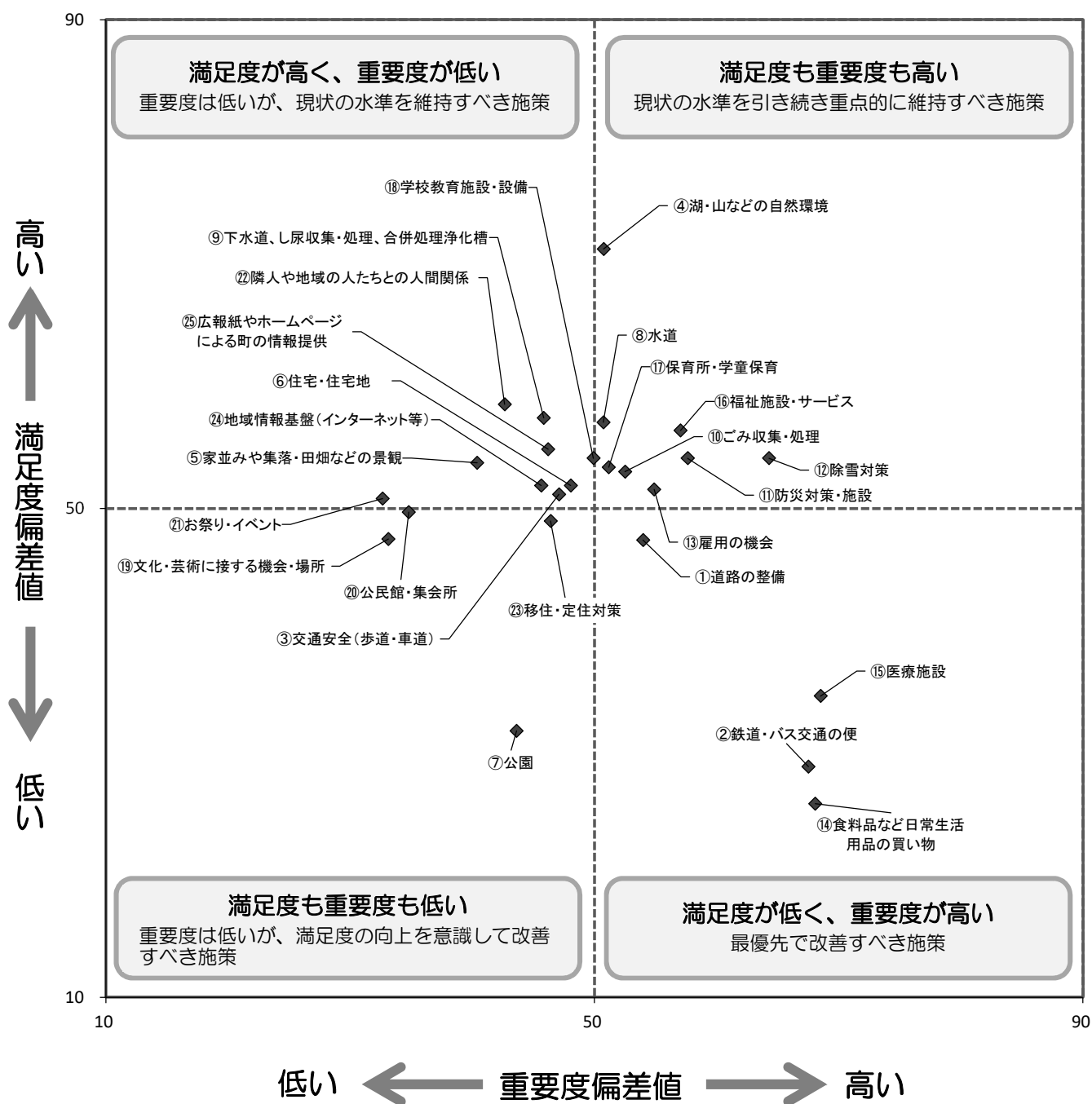
《満足度偏差値と重要度偏差値の相関（全体）》



②18～39歳の満足度偏差値と重要度偏差値

項 目	18～39歳			
	満足度偏差値	重要度偏差値	改善度	改善の優先順
①道路の整備	47.42	53.99	4.11	6
②鉄道・バス交通の便	28.87	67.52	25.83	2
③交通安全（歩道・車道）	51.14	47.11	-2.30	14
④湖・山などの自然環境	71.23	50.76	-10.14	24
⑤家並みや集落・田畑などの景観	53.75	40.41	-7.59	22
⑥住宅・住宅地	51.89	48.05	-2.69	15
⑦公園	31.80	43.63	5.51	4
⑧水道	57.05	50.73	-3.08	16
⑨下水道、し尿収集・処理、合併処理浄化槽	57.42	45.84	-7.02	20
⑩ごみ収集・処理	53.00	52.51	-0.22	10
⑪防災対策・施設	54.11	57.63	1.61	7
⑫除雪対策	54.12	64.29	4.78	5
⑬雇用の機会	51.54	54.88	1.56	8
⑭食料品など日常生活用品の買い物	25.85	68.08	27.43	1
⑮医療施設	34.65	68.52	22.62	3
⑯福祉施設・サービス	56.39	57.04	0.30	9
⑰保育所・学童保育	53.38	51.18	-1.03	11
⑱学校教育施設・設備	54.12	49.92	-2.11	13
⑲文化・芸術に接する機会・場所	47.51	33.14	-6.93	19
⑳公民館・集会所	49.71	34.80	-7.42	21
㉑お祭り・イベント	50.81	32.66	-9.20	23
㉒隣人や地域の人たちとの人間関係	58.52	42.65	-10.73	25
㉓移住・定住対策	48.97	46.42	-1.20	12
㉔地域情報基盤（インターネット等）	51.89	45.65	-3.61	17
㉕広報紙やホームページによる町の情報提供	54.85	46.21	-5.67	18

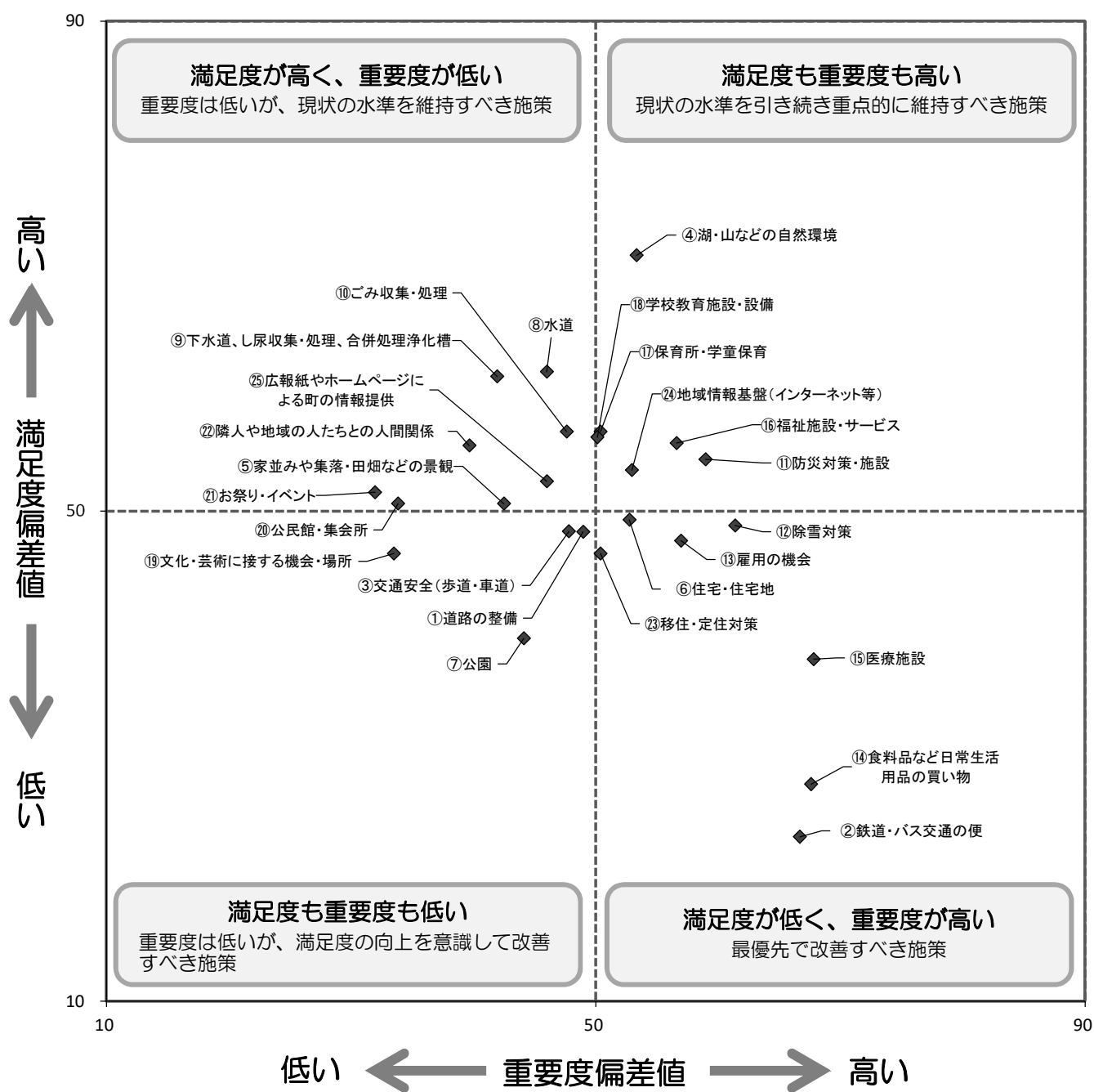
《満足度偏差値と重要度偏差値の相関（18～39歳）》



③40～59歳の満足度偏差値と重要度偏差値

項 目	40～59歳			
	満足度偏差値	重要度偏差値	改善度	改善の優先順
①道路の整備	48.31	48.97	0.30	11
②鉄道・バス交通の便	23.40	66.69	26.90	1
③交通安全（歩道・車道）	48.35	47.82	-0.24	13
④湖・山などの自然環境	70.89	53.34	-8.44	20
⑤家並みや集落・田畑などの景観	50.62	42.49	-4.16	17
⑥住宅・住宅地	49.28	52.75	1.88	9
⑦公園	39.61	44.12	2.06	7
⑧水道	61.37	46.00	-8.62	22
⑨下水道、し尿収集・処理、合併処理浄化槽	60.98	41.95	-12.29	25
⑩ごみ収集・処理	56.48	47.62	-5.00	18
⑪防災対策・施設	54.23	58.98	2.18	6
⑫除雪対策	48.83	61.38	6.47	4
⑬雇用の機会	47.59	56.97	5.25	5
⑭食料品など日常生活用品の買い物	27.71	67.60	26.29	2
⑮医療施設	37.92	67.81	18.93	3
⑯福祉施設・サービス	55.56	56.61	0.47	10
⑰保育所・学童保育	56.48	50.40	-2.99	15
⑱学校教育施設・設備	56.03	50.13	-2.94	14
⑲文化・芸術に接する機会・場所	46.53	33.52	-6.20	19
⑳公民館・集会所	50.62	33.85	-8.48	21
㉑お祭り・イベント	51.54	31.96	-10.04	24
㉒隣人や地域の人たちとの人間関係	55.36	39.68	-9.36	23
㉓移住・定住対策	46.53	50.40	2.00	8
㉔地域情報基盤（インターネット等）	53.33	52.96	-0.17	12
㉕広報紙やホームページによる町の情報提供	52.43	46.00	-3.97	16

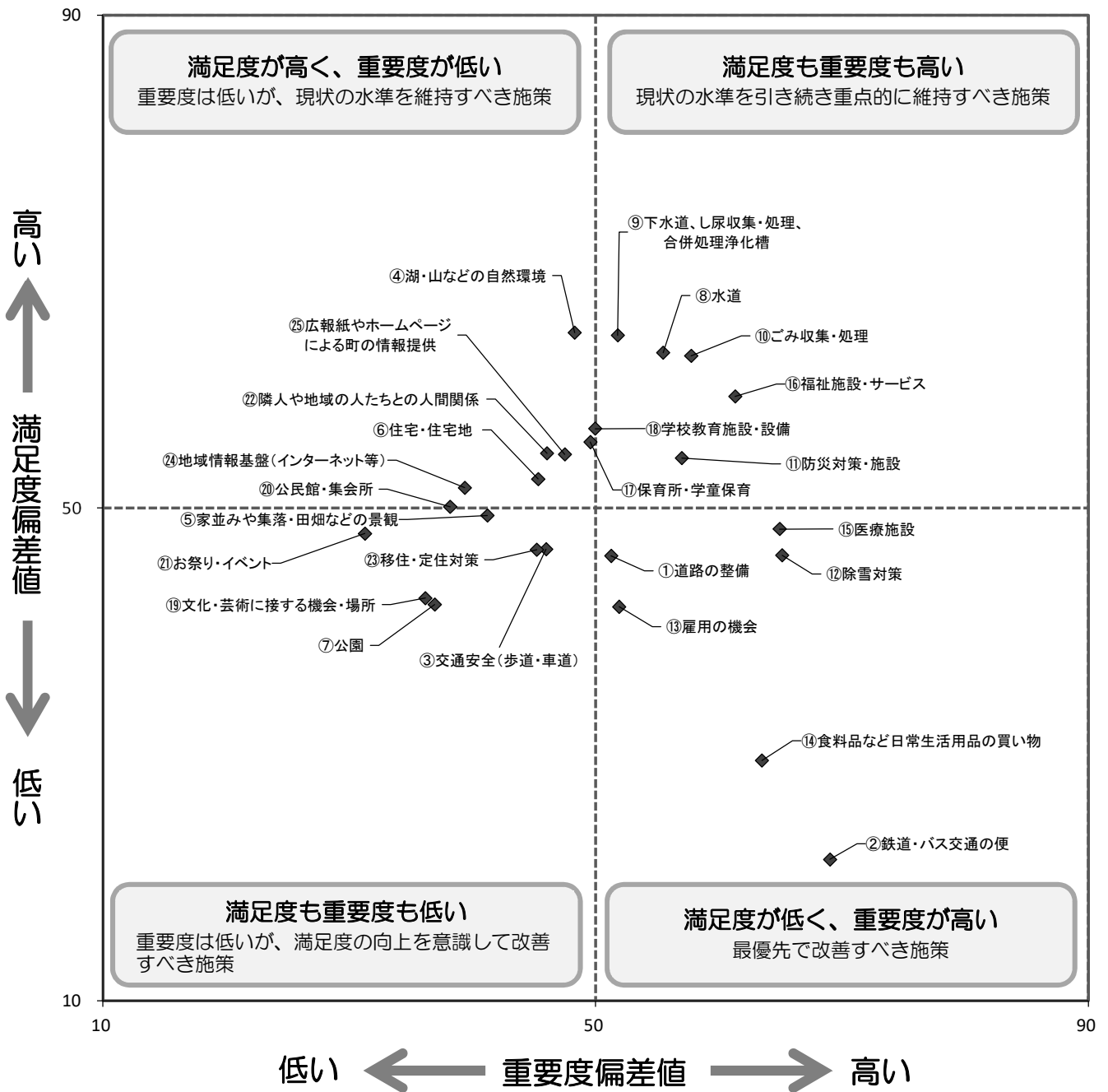
《満足度偏差値と重要度偏差値の相関（40～59歳）》



④60 歳以上の満足度偏差値と重要度偏差値

項 目	60歳以上			
	満足度偏差値	重要度偏差値	改善度	改善の優先順
①道路の整備	46.12	51.25	2.85	6
②鉄道・バス交通の便	21.46	69.01	29.98	1
③交通安全（歩道・車道）	46.65	45.97	-0.31	9
④湖・山などの自然環境	64.23	48.28	-8.27	25
⑤家並みや集落・田畑などの景観	49.40	41.20	-4.02	17
⑥住宅・住宅地	52.36	45.33	-4.17	18
⑦公園	42.17	36.92	-2.39	12
⑧水道	62.62	55.48	-3.29	16
⑨下水道、し尿収集・処理、合併処理浄化槽	64.03	51.79	-5.93	21
⑩ごみ収集・処理	62.35	57.74	-2.09	11
⑪防災対策・施設	54.05	56.98	1.33	7
⑫除雪対策	46.18	65.13	10.26	3
⑬雇用の機会	41.98	51.89	5.34	5
⑭食料品など日常生活用品の買い物	29.50	63.49	21.36	2
⑮医療施設	48.29	64.93	8.60	4
⑯福祉施設・サービス	59.06	61.33	1.02	8
⑰保育所・学童保育	55.35	49.57	-2.96	13
⑱学校教育施設・設備	56.44	49.95	-3.25	15
⑲文化・芸術に接する機会・場所	42.69	36.16	-2.99	14
⑳公民館・集会所	50.10	38.19	-5.97	22
㉑お祭り・イベント	47.93	31.27	-8.10	24
㉒隣人や地域の人たちとの人間関係	54.44	46.05	-5.72	20
㉓移住・定住対策	46.61	45.22	-0.63	10
㉔地域情報基盤（インターネット等）	51.65	39.37	-6.44	23
㉕広報紙やホームページによる町の情報提供	54.35	47.50	-4.17	19

《満足度偏差値と重要度偏差値の相関（60歳以上）》

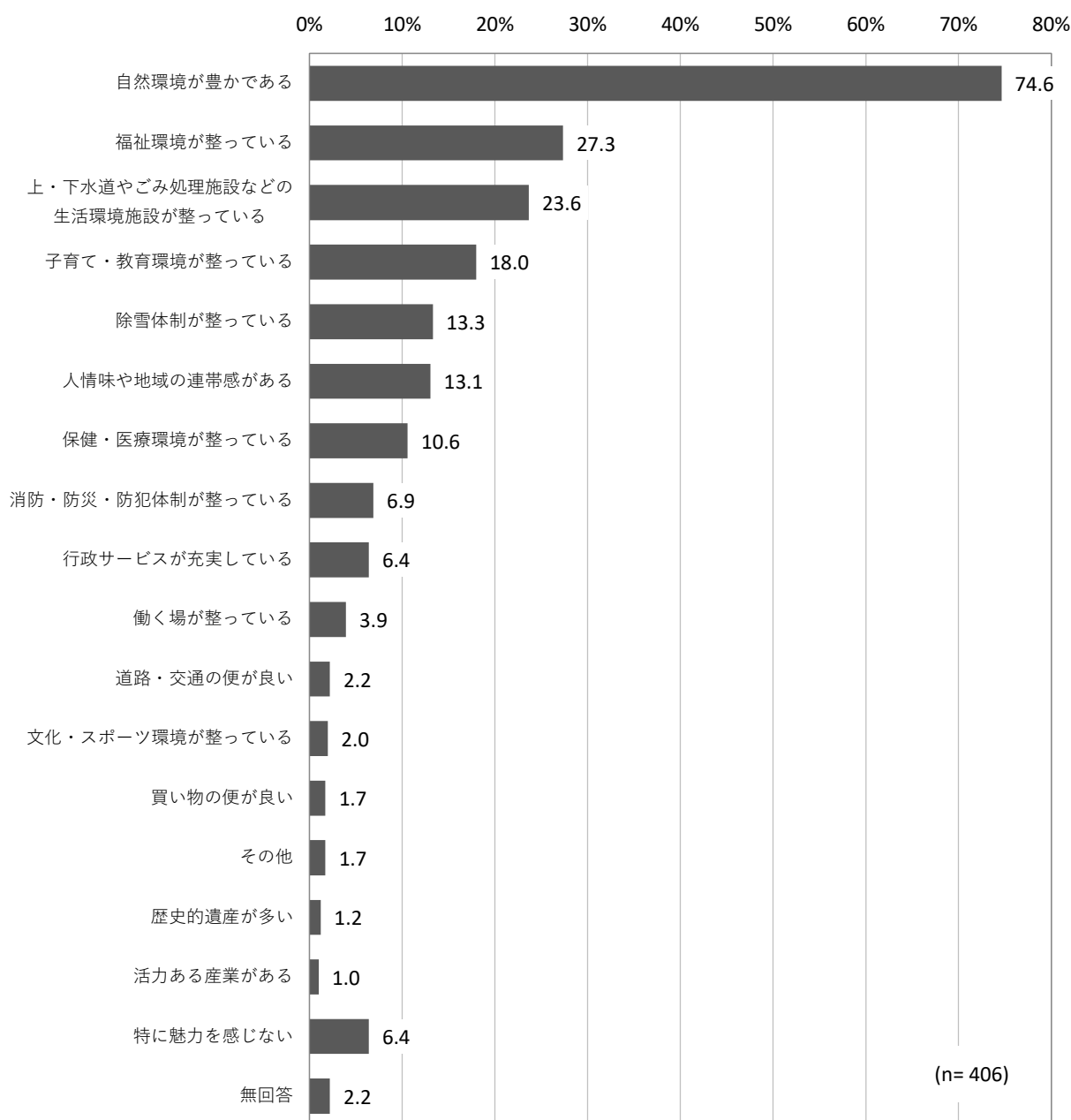


4. まちの魅力と将来像について

(1) 南富良野町の魅力について

南富良野町の魅力は「自然環境が豊かである」が74.6%を占めており、次いで「福祉環境が整っている」(27.3%)、「上下水道やごみ処理施設などの生活環境施設が整っている」(23.6%)が続いています。

問6 あなたは、南富良野町はどのようなところが魅力だと思いますか。(3つまで○印)



男女別・年齢別の集計

○男女別でも、男女ともに「自然環境が豊かである」が7割超を占めています。男女間で差異が大きかったのは「上・下水道やごみ処理施設などの生活環境施設が整っている」で、男性の30.0%に対し女性性は18.3%で11.7ポイント低くなっています。

○年齢別でも「自然環境が豊かである」が最も多くなっており、その割合は50歳以下が約80%と高くなっています。また、年齢が高くなるにつれて「福祉環境が整っている」の割合は高くなっており、70歳以上はその割合が39.4%となっています。

(%)

		n	自然環境が豊かである	福祉環境が整っている	上・下水道やごみ処理施設などの生活環境施設が整っている	子育て・教育環境が整っている	除雪体制が整っている	人情味や地域の連帯感がある	保健・医療環境が整っている	消防・防災・防犯体制が整っている	行政サービスが充実している
全体		406	74.6	27.3	23.6	18.0	13.3	10.6	6.9	6.4	13.1
性別	男性	200	76.5	25.0	30.0	19.0	15.5	11.0	6.0	6.0	10.5
	女性	186	73.7	30.6	18.3	16.7	12.4	8.6	7.5	4.8	16.1
年齢	18～29歳	30	80.0	6.7	20.0	20.0	16.7	0.0	0.0	6.7	20.0
	30～39歳	47	80.9	21.3	6.4	31.9	19.1	4.3	2.1	2.1	10.6
	40～49歳	62	80.6	17.7	12.9	27.4	12.9	4.8	4.8	3.2	11.3
	50～59歳	67	73.1	28.4	23.9	22.4	9.0	3.0	7.5	4.5	11.9
	60～69歳	75	76.0	33.3	24.0	14.7	9.3	8.0	4.0	6.7	12.0
	70歳以上	109	67.0	39.4	41.3	4.6	16.5	23.9	12.8	10.1	16.5

		n	働く場が整っている	道路・交通の便が良い	文化・スポーツ環境が整っている	買い物の便が良い	その他	歴史的遺産が多い	活力ある産業がある	特に魅力を感じない	無回答
全体		406	3.9	2.2	2.0	1.7	1.7	1.2	1.0	6.4	2.2
性別	男性	200	4.5	2.0	3.0	2.5	2.5	2.0	0.5	5.0	2.0
	女性	186	3.2	2.2	1.1	1.1	1.1	0.5	1.6	8.1	1.6
年齢	18～29歳	30	10.0	0.0	3.3	3.3	0.0	3.3	3.3	3.3	0.0
	30～39歳	47	8.5	2.1	6.4	2.1	4.3	0.0	2.1	4.3	0.0
	40～49歳	62	4.8	0.0	1.6	1.6	1.6	1.6	1.6	8.1	1.6
	50～59歳	67	4.5	3.0	0.0	1.5	3.0	0.0	0.0	7.5	3.0
	60～69歳	75	2.7	4.0	2.7	1.3	1.3	0.0	0.0	9.3	0.0
	70歳以上	109	0.9	1.8	0.9	1.8	0.9	2.8	0.9	3.7	4.6

※網掛け部は各分類の中で回答者が一番多い項目

居住地区別の集計

○居住地区別でも「自然環境が豊かである」が多数を占めており、その割合は北落合地区で86.7%と高くなっています。

(%)

		n	自然環境が豊かである	福祉環境が整っている	上・下水道やごみ処理施設などの生活環境施設が整っている	子育て・教育環境が整っている	除雪体制が整っている	人情味や地域の連帯感がある	保健・医療環境が整っている	消防・防災・防犯体制が整っている	行政サービスが充実している
全体		406	74.6	27.3	23.6	18.0	13.3	10.6	6.9	6.4	13.1
居住地区	下金山地区	35	77.1	20.0	14.3	17.1	11.4	14.3	2.9	11.4	28.6
	金山地区	29	79.3	20.7	13.8	20.7	20.7	0.0	10.3	3.4	17.2
	幾寅地区	288	73.6	28.5	27.1	17.7	12.2	10.8	7.3	6.3	11.1
	落合地区	27	70.4	25.9	25.9	11.1	25.9	11.1	7.4	3.7	7.4
	北落合地区	15	86.7	53.3	13.3	26.7	13.3	6.7	6.7	6.7	26.7

		n	働く場 が整っ ている	道路・交 通の便が 良い	文化・ス ポーツ環 境が整っ ている	買い物の 便が良い	その他	歴史的遺 産が多い	活力ある 産業が ある	特に魅力 を感じ ない	無回答
全体		406	3.9	2.2	2.0	1.7	1.7	1.2	1.0	6.4	2.2
居住 地区	下金山地区	35	0.0	0.0	0.0	0.0	2.9	0.0	2.9	8.6	5.7
	金山地区	29	0.0	10.3	0.0	0.0	3.4	0.0	0.0	3.4	3.4
	幾寅地区	288	4.5	1.0	2.4	2.1	1.4	1.4	0.7	6.6	1.7
	落合地区	27	11.1	7.4	3.7	3.7	3.7	3.7	3.7	7.4	0.0
	北落合地区	15	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

※網掛け部は各分類の中で回答者が一番多い項目

居住年数別の集計

○居住年数別でみて「自然環境が豊かである」が最も多く、特に5年未満の方はその割合が85.0%と高くなっています。

(%)

		n	自然環境が豊かである	福祉環境が整っている	上・下水道やごみ処理施設などの生活環境施設が整っている	子育て・教育環境が整っている	除雪体制が整っている	人情味や地域の連帯感がある	保健・医療環境が整っている	消防・防災・防犯体制が整っている	行政サービスが充実している
全体		406	74.6	27.3	23.6	18.0	13.3	10.6	6.9	6.4	13.1
居住年数	5年未満	40	85.0	17.5	17.5	20.0	15.0	0.0	0.0	7.5	17.5
	5～14 年	48	79.2	18.8	6.3	20.8	20.8	4.2	6.3	2.1	18.8
	15～29 年	84	79.8	23.8	11.9	28.6	13.1	4.8	3.6	4.8	10.7
	30 年以上	220	70.5	33.2	34.5	12.7	12.3	15.5	9.5	7.7	12.7

		n	働く場が 整って いる	道路・交 通の便 が良い	文化・ス ポーツ環 境が整っ ている	買い物の 便が良い	その他	歴史的 遺産が 多い	活力ある 産業が ある	特に魅 力を感じ ない	無回答
全体		406	3.9	2.2	2.0	1.7	1.7	1.2	1.0	6.4	2.2
居住 年数	5年未満	40	12.5	0.0	7.5	2.5	0.0	2.5	0.0	5.0	0.0
	5～14 年	48	8.3	2.1	2.1	2.1	4.2	0.0	0.0	10.4	0.0
	15～29 年	84	2.4	0.0	1.2	0.0	1.2	1.2	3.6	4.8	1.2
	30 年以上	220	2.3	3.2	1.4	2.3	1.8	1.4	0.5	5.9	3.2

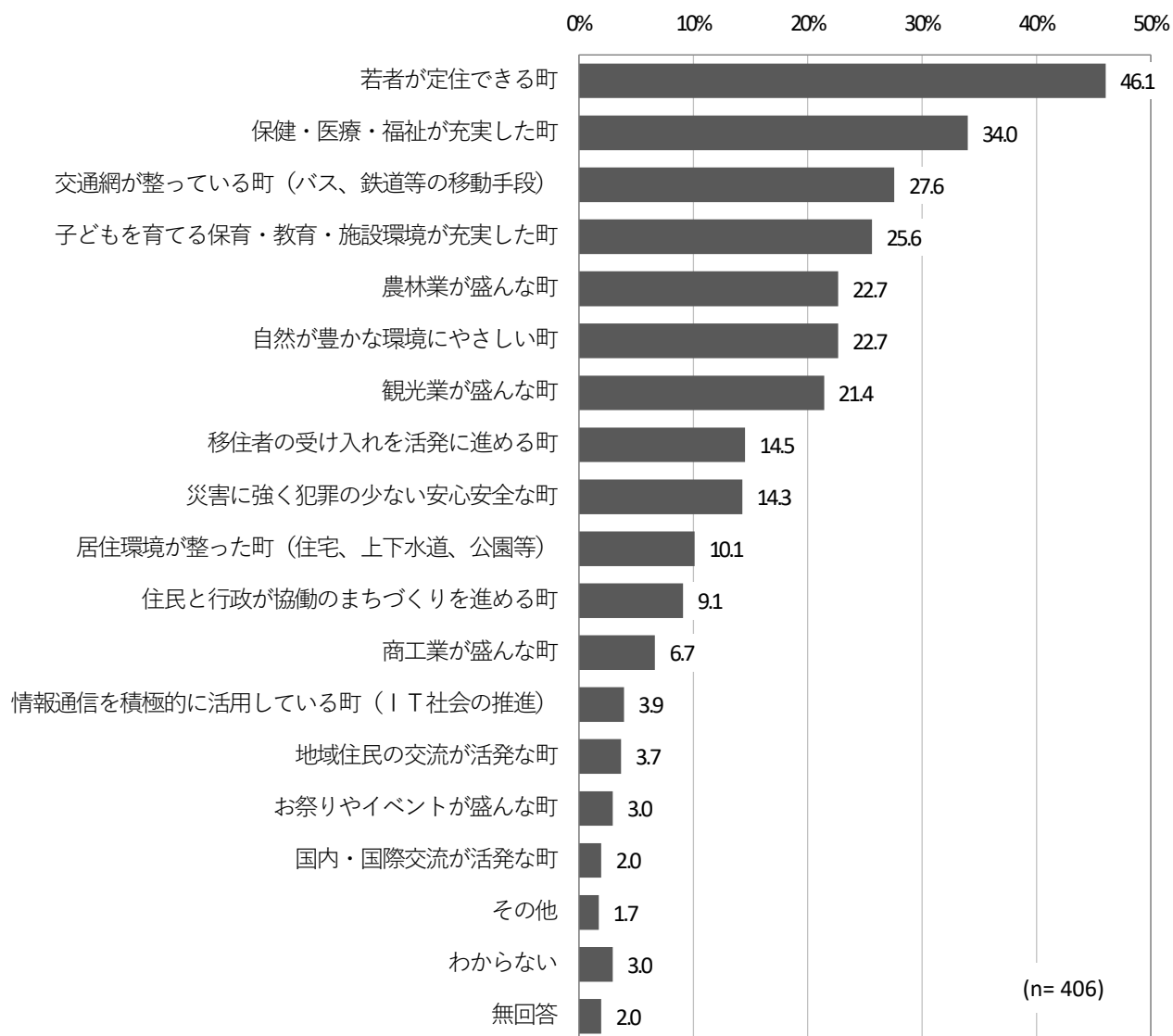
※網掛け部は各分類の中で回答者が一番多い項目

(2) 今後目指すべきまちづくりについて

今後、南富良野町が目指すべきまちづくりは、「若者が定住できる町」が46.1%で最も多く、次いで「保健・医療・福祉が充実した町」(34.0%)、「交通網が整っている町(バス、鉄道等の移動手段)」(27.6%)と続いています。

問7 あなたは、南富良野町がこれからどのようなまちづくりを目指すべきと考えていますか。

(3つまで○印)



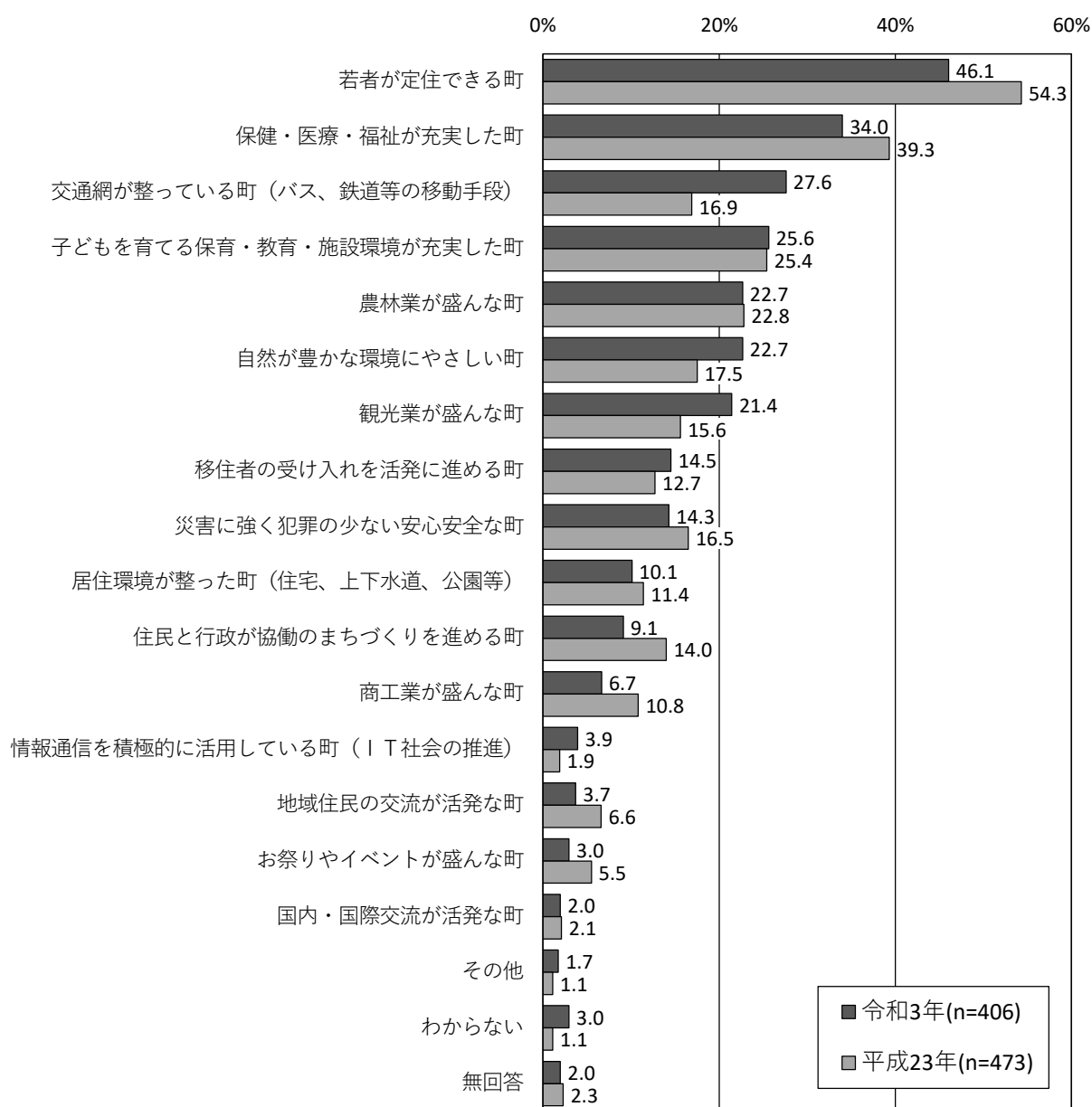
■「その他」の内容

- ・挨拶のできる明るい町
- ・起業を応援する町
- ・日常生活用品を地元で買える町
- ・自然を生かしたビジネスをする
- ・スポーツもしくは音楽に力をいれてほしい

過去の調査との比較

○平成23年の調査でも今回調査と同様に「若者が定住できる町」が最も多くなっていますが、今回調査はその割合が平成23年調査の54.3%を8.2ポイント下回りました。

○「交通網が整っている町（バス、鉄道等の移動手段）」は平成23年調査では16.9%でしたが、今回調査では27.6%で9.7ポイント上昇しています。



男女別・年齢別の集計

○男女別でみると、いずれも「若者が定住できる町」が最多回答となっています。

○年齢別でも「若者が定住できる町」が上位回答となっていますが、30～39歳は「子どもを育てる保育・教育・施設環境が充実した町」(55.3%)、70歳以上は「保健・医療・福祉が充実した町」(47.7%)が最も多くなっています。

(%)

		n	若者が定住できる町	保健・医療・福祉が充実した町	交通網が整っている町(バス、鉄道等の移動手段)	子どもを育てる保育・教育・施設環境が充実した町	農林業が盛んな町	自然が豊かな環境にやさしい町	観光業が盛んな町	移住者の受け入れを活発に進める町	災害に強く犯罪の少ない安心安全な町
全体		406	46.1	34.0	27.6	25.6	22.7	21.4	14.5	14.3	22.7
性別	男性	200	46.0	31.5	27.0	24.5	28.5	26.0	17.5	12.0	22.5
	女性	186	47.3	39.2	28.5	28.0	16.7	16.1	12.4	17.7	24.7
年齢	18～29歳	30	46.7	16.7	16.7	30.0	10.0	21.4	14.5	14.3	26.7
	30～39歳	47	42.6	34.0	17.0	55.3	19.1	43.3	16.7	13.3	14.9
	40～49歳	62	46.8	22.6	21.0	30.6	14.5	25.5	10.6	17.0	33.9
	50～59歳	67	49.3	34.3	28.4	19.4	20.9	29.0	14.5	11.3	23.9
	60～69歳	75	54.7	33.3	26.7	25.3	30.7	17.9	19.4	9.0	20.0
	70歳以上	109	42.2	47.7	39.4	12.8	26.6	17.3	17.3	14.7	22.0

		n	居住環境が整った町(住宅、上下水道、公園等)	住民と行政が協働のまちづくりを進める町	商工業が盛んな町	情報通信を積極的に活用している町(IT社会の推進)	地域住民の交流が活発な町	お祭りやイベントが盛んな町	国内・国際交流が活発な町	その他	わからない	無回答
全体		406	10.1	9.1	6.7	3.9	3.7	3.0	2.0	1.7	3.0	2.0
性別	男性	200	9.5	10.5	6.0	7.0	2.5	3.0	2.0	1.5	2.5	1.5
	女性	186	11.3	7.0	5.9	1.1	3.2	3.2	1.6	1.6	2.7	1.1
年齢	18～29歳	30	10.1	9.1	6.7	3.9	3.7	3.0	2.0	1.7	3.0	2.0
	30～39歳	47	10.0	0.0	10.0	10.0	0.0	3.3	3.3	0.0	3.3	0.0
	40～49歳	62	14.9	6.4	4.3	4.3	2.1	6.4	4.3	4.3	2.1	0.0
	50～59歳	67	11.3	8.1	11.3	3.2	0.0	1.6	3.2	1.6	1.6	1.6
	60～69歳	75	10.4	10.4	4.5	6.0	4.5	4.5	1.5	1.5	4.5	0.0
	70歳以上	109	14.7	6.7	5.3	4.0	1.3	1.3	0.0	1.3	2.7	0.0

※網掛け部は各分類の中で回答者が一番多い項目

居住地区別の集計

○居住地区別でみると、下金山地区、金山地区及び幾寅地区は「若者が定住できる町」が最も多く、落合地区は「災害に強く犯罪の少ない安心安全な町」(40.7%)、北落合地区は「農林業が盛んな町」(66.7%)がそれぞれ最も多くなっています。

(%)

	n	若者が定住できる町	保健・医療・福祉が充実した町	交通網が整っている町(バス、鉄道等の移動手段)	子どもを育てる保育・教育・施設環境が充実した町	農林業が盛んな町	自然が豊かな環境にやさしい町	観光業が盛んな町	移住者の受け入れを活発に進める町	災害に強く犯罪の少ない安心安全な町
全体	406	46.1	34.0	27.6	25.6	22.7	21.4	14.5	14.3	22.7
居住地区										
下金山地区	35	54.3	25.7	8.6	34.3	37.1	20.0	22.9	11.4	28.6
金山地区	29	51.7	37.9	13.8	24.1	10.3	20.7	17.2	20.7	24.1
幾寅地区	288	48.6	35.4	33.0	24.0	20.5	22.6	13.2	14.6	19.8
落合地区	27	22.2	33.3	14.8	37.0	11.1	14.8	11.1	14.8	40.7
北落合地区	15	20.0	26.7	13.3	20.0	66.7	13.3	26.7	13.3	40.0

	n	居住環境が整った町(住宅、上下水道、公園等)	住民と行政が協働のまちづくりを進める町	商工業が盛んな町	情報通信を積極的に活用している町(IT社会の推進)	地域住民の交流が活発な町	お祭りやイベントが盛んな町	国内・国際交流が活発な町	その他	わからない	無回答
全体	406	10.1	9.1	6.7	3.9	3.7	3.0	2.0	1.7	3.0	2.0
居住地区											
下金山地区	35	11.4	11.4	0.0	2.9	2.9	0.0	2.9	0.0	2.9	2.9
金山地区	29	6.9	6.9	0.0	0.0	0.0	3.4	3.4	0.0	3.4	3.4
幾寅地区	288	10.1	8.7	8.7	4.5	4.9	3.8	1.4	1.7	2.8	1.0
落合地区	27	14.8	14.8	0.0	7.4	0.0	0.0	7.4	0.0	7.4	3.7
北落合地区	15	13.3	6.7	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	6.7	0.0	0.0

※網掛け部は各分類の中で回答者が一番多い項目

居住年数別の集計

○居住年数別でも「若者が定住できる町」が最も多く、特に居住年数が5～14年の方はその割合が58.3%と高くなっています。また、5～14年の方は「子どもを育てる保育・教育・施設環境が充実した町」（43.8%）が他に比べて割合が高くなっています。

(%)

		n	若者が定住できる町	保健・医療・福祉が充実した町	交通網が整っている町(バス、鉄道等の移動手段)	子どもを育てる保育・教育・施設環境が充実した町	農林業が盛んな町	自然が豊かな環境にやさしい町	観光業が盛んな町	移住者の受け入れを活発に進める町	災害に強く犯罪の少ない安心安全な町
全体		406	46.1	34.0	27.6	25.6	22.7	21.4	14.5	14.3	22.7
居住年数	5年未満	40	40.0	15.0	12.5	35.0	17.5	35.0	17.5	12.5	37.5
	5～14年	48	58.3	35.4	22.9	43.8	6.3	20.8	18.8	12.5	25.0
	15～29年	84	50.0	25.0	23.8	26.2	16.7	36.9	13.1	10.7	21.4
	30年以上	220	43.6	41.8	32.7	20.5	29.1	12.3	14.1	16.8	20.9

		n	居住環境が整った町(住宅、上下水道、公園等)	住民と行政が協働のまちづくりを進める町	商工業が盛んな町	情報通信を積極的に活用している町(IT社会の推進)	地域住民の交流が活発な町	お祭りやイベントが盛んな町	国内・国際交流が活発な町	その他	わからない	無回答
全体		406	10.1	9.1	6.7	3.9	3.7	3.0	2.0	1.7	3.0	2.0
居住年数	5年未満	40	15.0	5.0	2.5	15.0	2.5	0.0	5.0	0.0	2.5	0.0
	5～14年	48	18.8	2.1	12.5	8.3	2.1	8.3	0.0	2.1	2.1	0.0
	15～29年	84	15.5	9.5	8.3	0.0	1.2	2.4	1.2	1.2	3.6	1.2
	30年以上	220	5.5	11.4	5.0	2.7	5.0	2.7	1.8	1.8	3.2	1.8

※網掛け部は各分類の中で回答者が一番多い項目

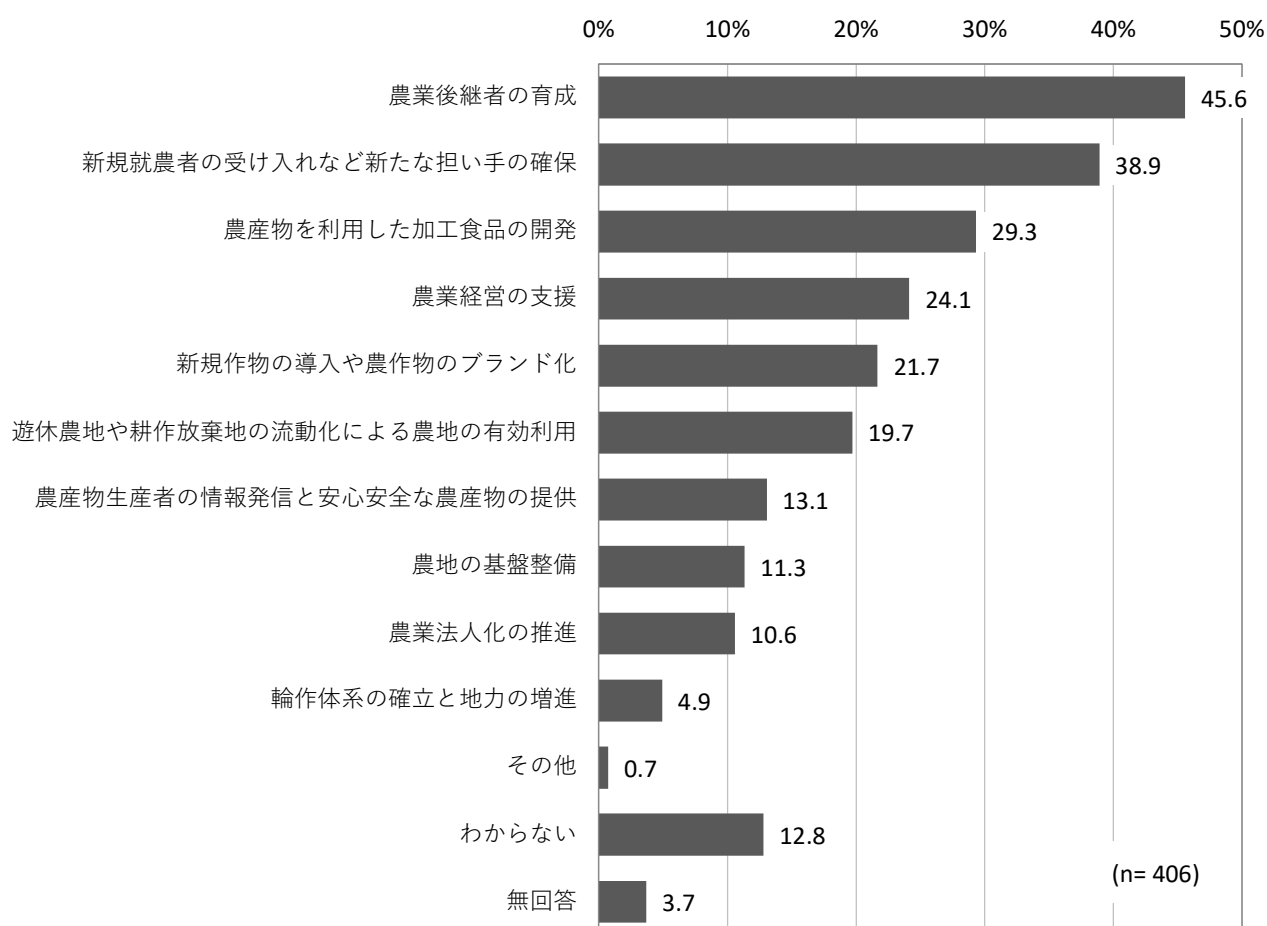
5. 町の進めるべき施策について

(1) 農業振興施策として力を入れるべきこと

力を入れるべき農業振興施策は、「農業後継者の育成」が45.6%で最も多く、次いで「新規就農者の受け入れなど新たな担い手の確保」(38.9%)、「農産物を利用した加工食品の開発」(29.3%)と続いています。

問 10 あなたは、農業振興施策として今後どのようなことに力を入れる必要があると思いますか。

(3つまで○印)



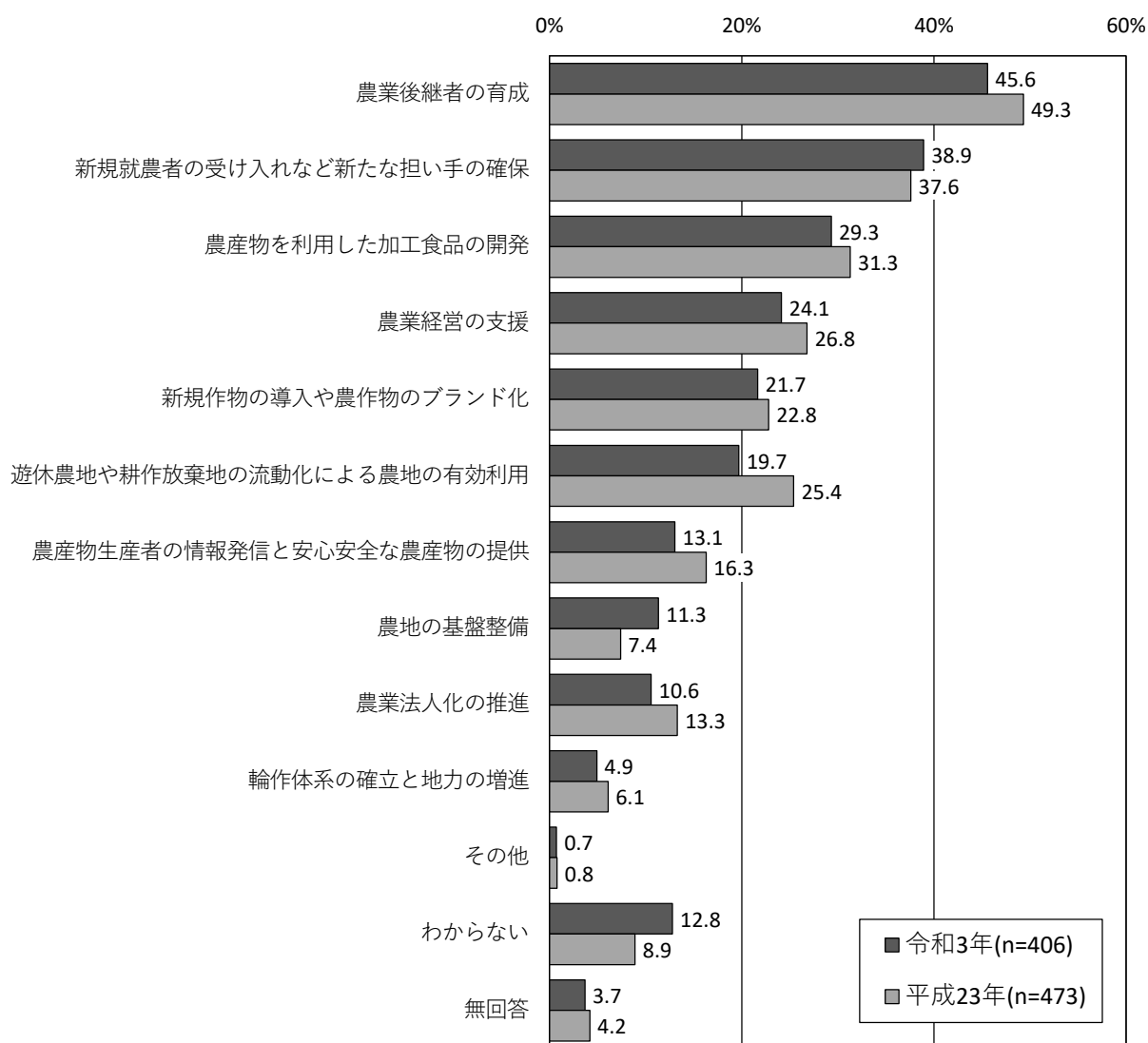
■「その他」の内容

- ・有機農業者の誘致
- ・町民用の畑を作ってほしい
- ・新規作物の導入と加工食品の開発
- ・スマート農業
- ・無農薬・減農薬などの付加価値の増強
- ・コロナ失業者を受け入れ人手不足の解消
- ・地域農業が持続可能なサプライチェーンの構築

過去の調査との比較

○平成23年調査においても「農業後継者の育成」が最も多く、次いで「新規就農者の受け入れなど新たな担い手の確保」、「農産物を利用した加工食品の開発」が続いており、今回調査と大きな差異はみられませんでした。

○平成23年調査から5ポイント以上減少したのは「遊休農地や耕作放棄地の流動化による農地の有効活用」で、平成23年調査時の25.4%から今回調査では19.7%に減少しています。



男女別・年齢別の集計

○男女別でも「農業後継者の育成」が最も多く、男女ともに40%を超えています。

○年齢別でみると、18～29歳は「新規就農者の受け入れなど新たな担い手の確保」、30歳以上は「農業後継者の育成」が最も多くなっています。また、30～39歳は「新規作物の導入や農作物のブランド化」が38.3%で他の年齢と比べて多い状況です。

(%)

		n	農業後継者の育成	新規就農者の受け入れなど新たな担い手の確保	農産物を利用した加工食品の開発	農業経営の支援	新規作物の導入や農作物のブランド化	遊休農地や耕作放棄地の流動化による農地の有効利用
全体		406	45.6	38.9	29.3	24.1	21.7	19.7
性別	男性	200	48.5	43.5	29.0	26.0	24.0	22.0
	女性	186	43.5	35.5	29.0	22.6	20.4	17.2
年齢	18～29 歳	30	33.3	40.0	23.3	33.3	20.0	10.0
	30～39 歳	47	46.8	44.7	36.2	21.3	38.3	10.6
	40～49 歳	62	43.5	33.9	32.3	25.8	19.4	14.5
	50～59 歳	67	44.8	41.8	23.9	25.4	22.4	22.4
	60～69 歳	75	58.7	36.0	29.3	26.7	18.7	22.7
	70 歳以上	109	45.0	42.2	25.7	21.1	16.5	24.8

		n	農産物生産者の情報発信と安心安全な農産物の提供	農地の基盤整備	農業法人化の推進	輪作体系の確立と地力の増進	その他	わからない	無回答
全体		406	13.1	11.3	10.6	4.9	0.7	12.8	3.7
性別	男性	200	10.0	14.5	14.5	6.0	1.0	9.0	2.5
	女性	186	15.6	8.6	6.5	3.8	0.5	16.7	4.3
年齢	18～29 歳	30	3.3	3.3	3.3	3.3	0.0	16.7	0.0
	30～39 歳	47	10.6	10.6	6.4	0.0	4.3	12.8	0.0
	40～49 歳	62	12.9	16.1	14.5	6.5	0.0	14.5	3.2
	50～59 歳	67	11.9	9.0	13.4	4.5	1.5	11.9	1.5
	60～69 歳	75	16.0	14.7	16.0	6.7	0.0	13.3	0.0
	70 歳以上	109	16.5	10.1	6.4	6.4	0.0	11.9	9.2

※網掛け部は各分類の中で回答者が一番多い項目

居住地区別の集計

○居住地区別でみると、下金山地区は「新規就農者の受け入れなど新たな担い手の確保」（45.7%）、北落合地区は「農業経営の支援」（53.3%）、それ以外の地区は「農業後継者の育成」が最も多くなっています。

○北落合地区は「新規作物の導入や農作物のブランド化」が40.0%で他の地区と比べて多くなっています。

(%)

	n	農業後継者の育成	新規就農者の受け入れなど新たな担い手の確保	農産物を利用した加工食品の開発	農業経営の支援	新規作物の導入や農作物のブランド化	遊休農地や耕作放棄地の流動化による農地の有効利用
全体	406	45.6	38.9	29.3	24.1	21.7	19.7
居住地区							
下金山地区	35	37.1	45.7	22.9	22.9	2.9	20.0
金山地区	29	44.8	24.1	31.0	24.1	13.8	27.6
幾寅地区	288	49.7	41.7	30.2	24.0	22.9	18.8
落合地区	27	37.0	33.3	22.2	14.8	25.9	33.3
北落合地区	15	13.3	20.0	26.7	53.3	40.0	0.0

	n	農産物生産者の情報発信と安心安全な農産物の提供	農地の基盤整備	農業法人化の推進	輪作体系の確立と地力の増進	その他	わからない	無回答
全体	406	13.1	11.3	10.6	4.9	0.7	12.8	3.7
居住地区								
下金山地区	35	17.1	25.7	14.3	8.6	2.9	8.6	2.9
金山地区	29	17.2	0.0	0.0	3.4	0.0	20.7	6.9
幾寅地区	288	13.2	9.4	11.8	4.2	0.0	12.2	2.8
落合地区	27	14.8	11.1	7.4	0.0	7.4	14.8	7.4
北落合地区	15	0.0	33.3	0.0	26.7	0.0	20.0	6.7

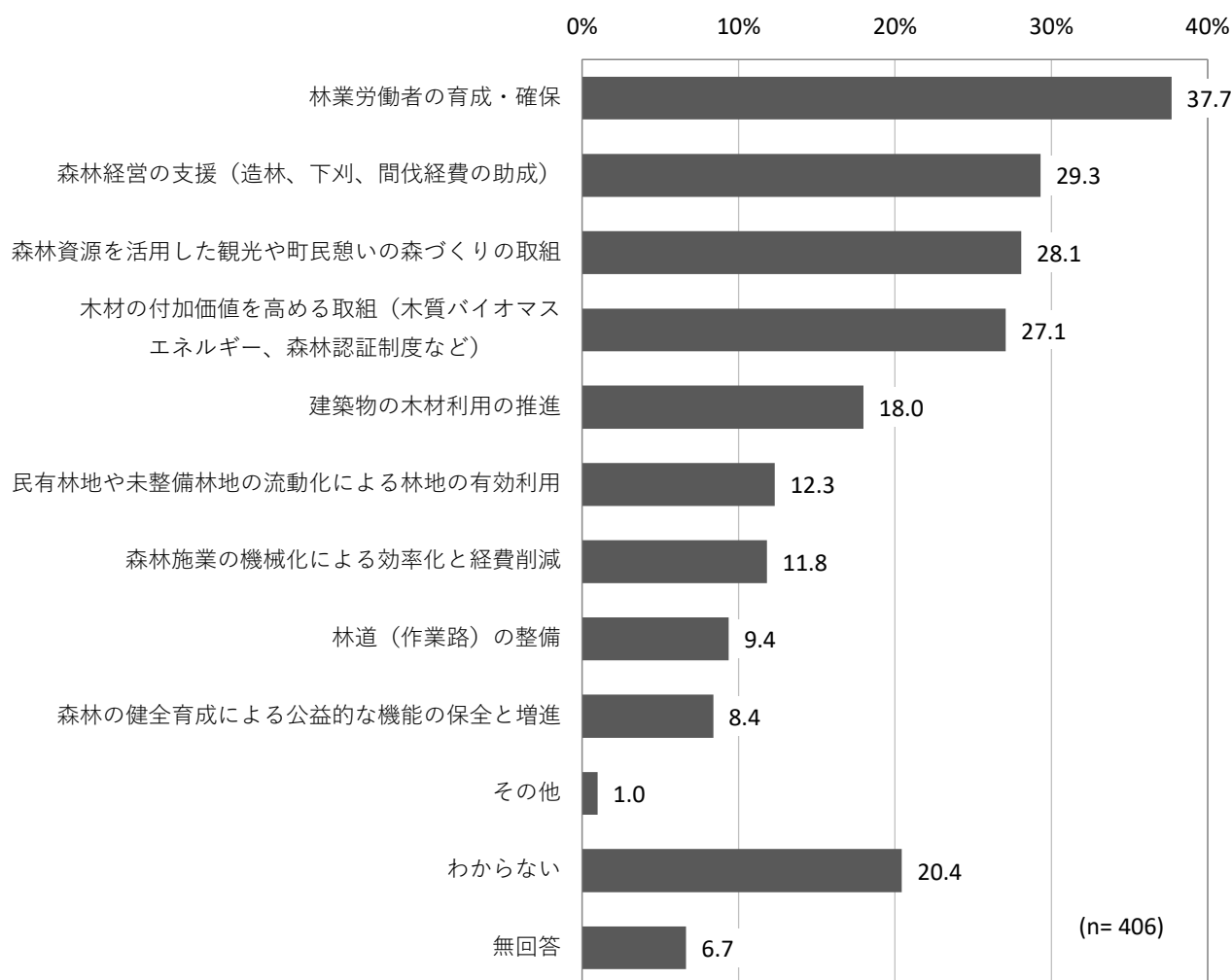
※網掛け部は各分類の中で回答者が一番多い項目

(2) 林業振興施策として力を入れるべきこと

力を入れるべき林業振興施策は、「林業労働者の育成・確保」が37.7%で最も多く、次いで「森林経営の支援（造林、下刈、間伐経費の助成）」（29.3%）、「森林資源を活用した観光や町民憩いの森づくりの取組」（28.1%）と続いています。

問 11 あなたは、林業振興施策として今後どのようなことに力を入れる必要があると思いますか。

(3つまで○印)

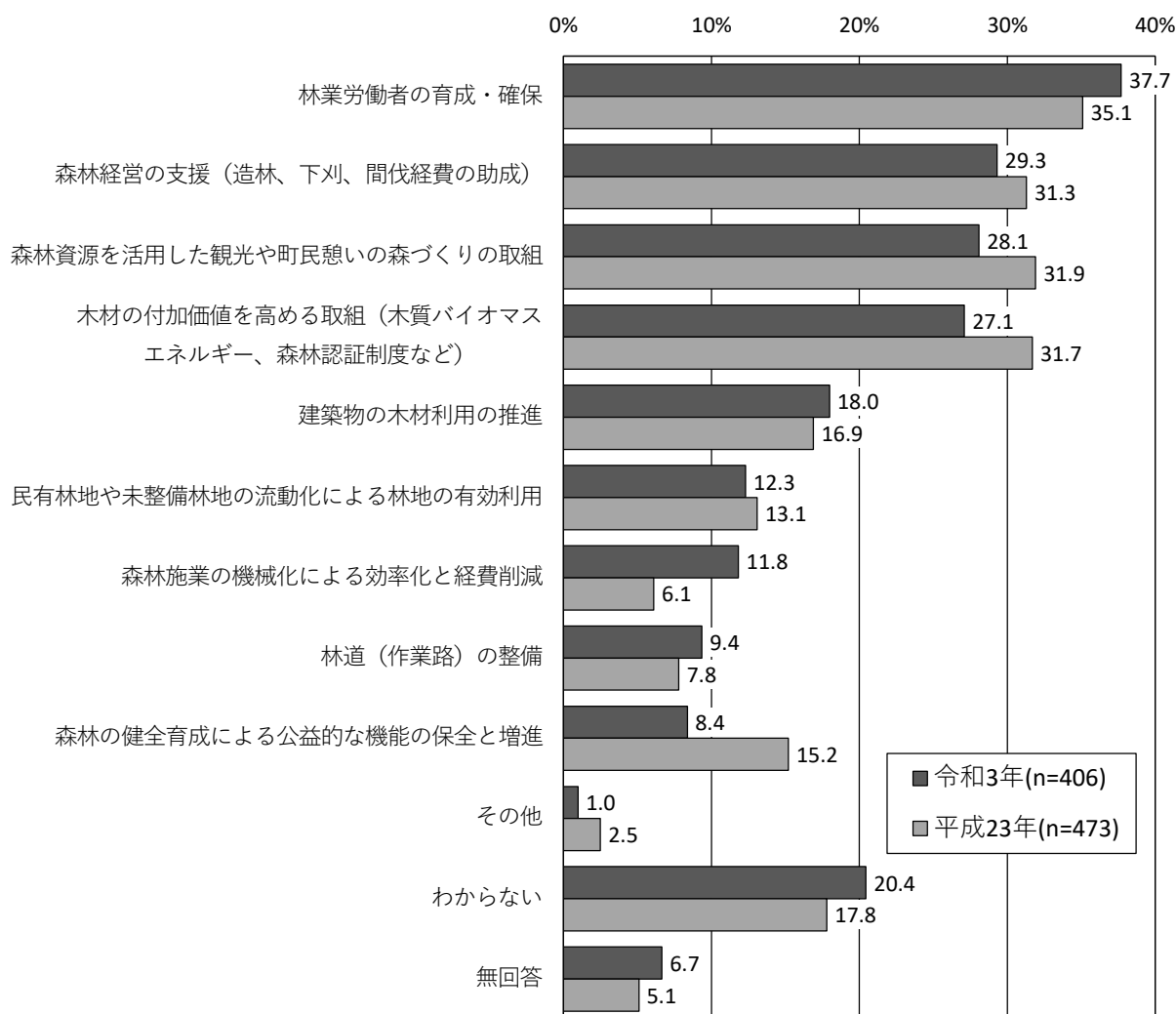


■「その他」の内容

- ・自伐型林業のような環境保全と持続的経営を可能にする林業者への支援
- ・森林資源が持続可能なサプライチェーンの構築
- ・SDGs と森林で何がこの町に必要なものであるのか考えて取り組むこと

過去の調査との比較

○平成23年調査においても「林業労働者の育成・確保」が35.1%で最も多く、「森林経営の支援（造林、下刈、間伐経費の助成）」「森林資源を活用した観光や町民憩いの森づくりの取組」「木材の付加価値を高める取組（木質バイオマスエネルギー、森林認証制度など）」が上位回答となっています。



男女別・年齢別の集計

○男女別でも「林業労働者の育成・確保」が最も多く、その割合は男性が45.0%、女性が31.2%となっています。

○年齢別でみると、18～29歳は「わからない」（30.0%）に次いで「森林資源を活用した観光や町民憩いの森づくりの取組」（23.3%）、30歳以上は「林業労働者の育成・確保」が最も多くなっています。

(%)

		n	林業労働者の 育成・確保	森林経営の 支援(造林、 下刈、間伐経 費の助成)	森林資源を活 用した観光や 町民憩いの森 づくりの取組	木材の付加価 値を高める取 組(木質バイオ マスエネルギー、森林認証 制度など)	建築物の木材 利用の推進	民有林地や 未整備林地 の流動化によ る林地の有効 利用
全体		406	37.7	29.3	28.1	27.1	18.0	12.3
性別	男 性	200	45.0	38.5	30.5	32.0	22.0	15.0
	女 性	186	31.2	19.9	26.3	23.1	15.1	10.2
年齢	18～29 歳	30	20.0	16.7	23.3	20.0	6.7	20.0
	30～39 歳	47	36.2	23.4	36.2	27.7	21.3	2.1
	40～49 歳	62	41.9	21.0	41.9	35.5	27.4	6.5
	50～59 歳	67	43.3	23.9	23.9	28.4	14.9	14.9
	60～69 歳	75	45.3	42.7	21.3	22.7	26.7	17.3
	70 歳以上	109	34.9	34.9	26.6	27.5	11.9	12.8

		n	森林施業の 機械化による 効率化と経費 削減	林道(作業 路)の整備	森林の健全育 成による公益 的な機能の保 全と増進	その他	わからない	無回答
全体		406	11.8	9.4	8.4	1.0	20.4	6.7
性別	男 性	200	16.5	13.0	10.0	1.0	11.5	3.5
	女 性	186	7.0	5.9	6.5	1.1	30.1	7.5
年齢	18～29 歳	30	16.7	20.0	3.3	0.0	30.0	3.3
	30～39 歳	47	14.9	12.8	4.3	2.1	25.5	0.0
	40～49 歳	62	14.5	12.9	11.3	0.0	16.1	1.6
	50～59 歳	67	7.5	6.0	10.4	1.5	25.4	3.0
	60～69 歳	75	13.3	8.0	9.3	0.0	14.7	5.3
	70 歳以上	109	9.2	6.4	7.3	0.0	20.2	12.8

※網掛け部は各分類の中で「無回答」を除き回答者が一番多い項目

居住地区別の集計

○居住地区別でみると、金山地区と落合地区は「森林資源を活用した観光や町民憩いの森づくりの取組」、それ以外の地区は「林業労働者の育成・確保」が最も多くなっています。また、北落合地区は「森林経営の支援（造林、下刈、間伐経費の助成）」も多い状況です。

(%)

	n	林業労働者の育成・確保	森林経営の支援（造林、下刈、間伐経費の助成）	森林資源を活用した観光や町民憩いの森づくりの取組	木材の付加価値を高める取組（木質バイオマスエネルギー、森林認証制度など）	建築物の木材利用の推進	民有林地や未整備林地の流動化による林地の有効利用
全体	406	37.7	29.3	28.1	27.1	18.0	12.3
居住地区	下金山地区	35	34.3	20.0	28.6	31.4	20.0
	金山地区	29	27.6	17.2	31.0	20.7	13.8
	幾寅地区	288	40.3	30.9	27.8	28.1	11.1
	落合地区	27	29.6	29.6	37.0	29.6	7.4
	北落合地区	15	33.3	33.3	26.7	20.0	33.3

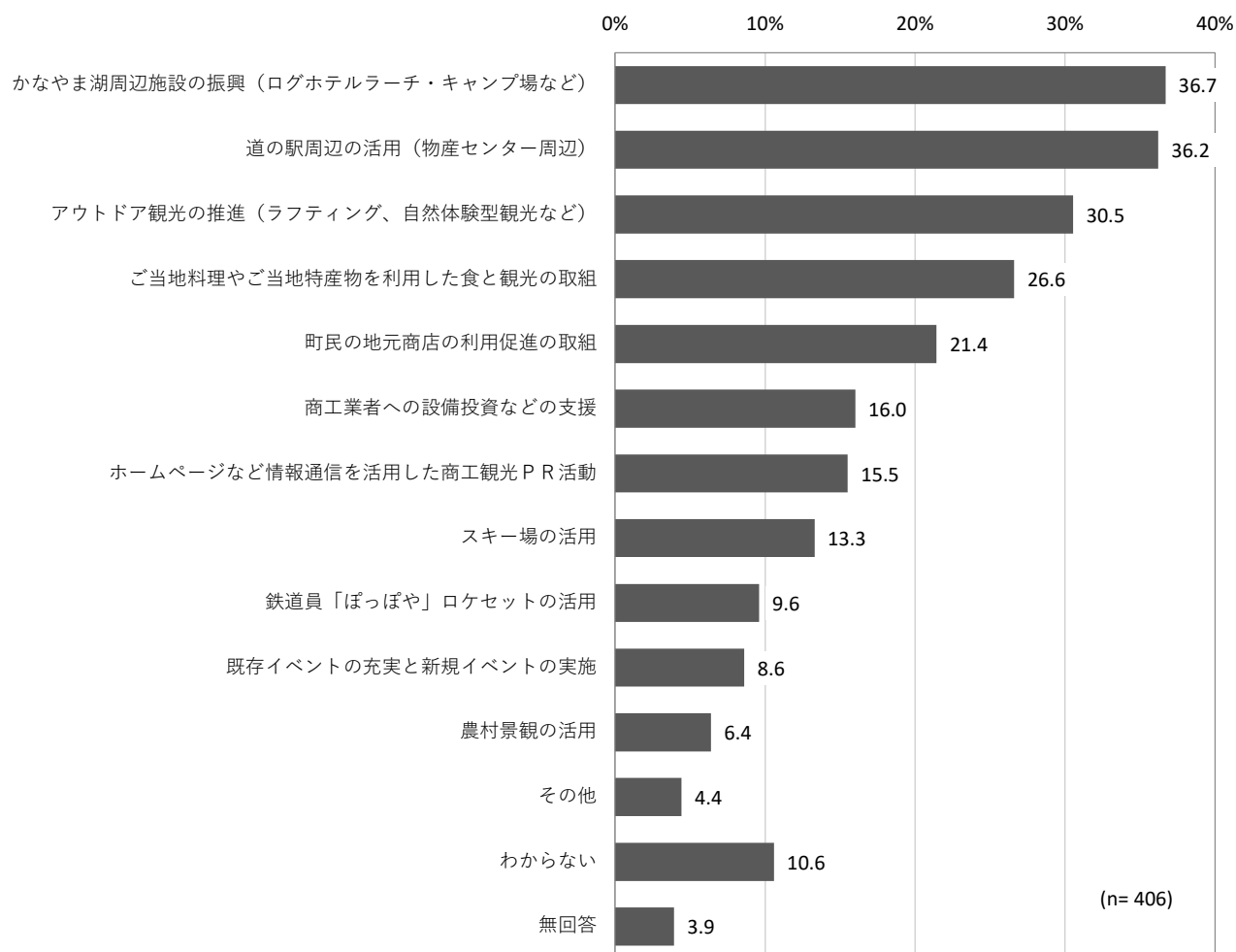
	n	森林施業の機械化による効率化と経費削減	林道（作業路）の整備	森林の健全育成による公益的な機能の保全と増進	その他	わからない	無回答
全体	406	11.8	9.4	8.4	1.0	20.4	6.7
居住地区	下金山地区	35	8.6	11.4	8.6	2.9	5.7
	金山地区	29	3.4	6.9	3.4	0.0	10.3
	幾寅地区	288	12.8	9.0	8.3	0.3	5.6
	落合地区	27	11.1	11.1	7.4	3.7	7.4
	北落合地区	15	13.3	13.3	13.3	0.0	6.7

※網掛け部は各分類の中で回答者が一番多い項目

(3) 商業・観光振興施策として力を入れるべきこと

力を入れるべき商業・観光振興施策は、「かなやま湖周辺施設の振興（ログホテルラーチ・キャンプ場など）」（36.7%）、「道の駅周辺の活用（物産センター周辺）」（36.2%）が上位回答となっています。

問 12 あなたは、商業・観光振興施策として今後どのようなことに力を入れる必要があると思いますか。（3つまで○印）



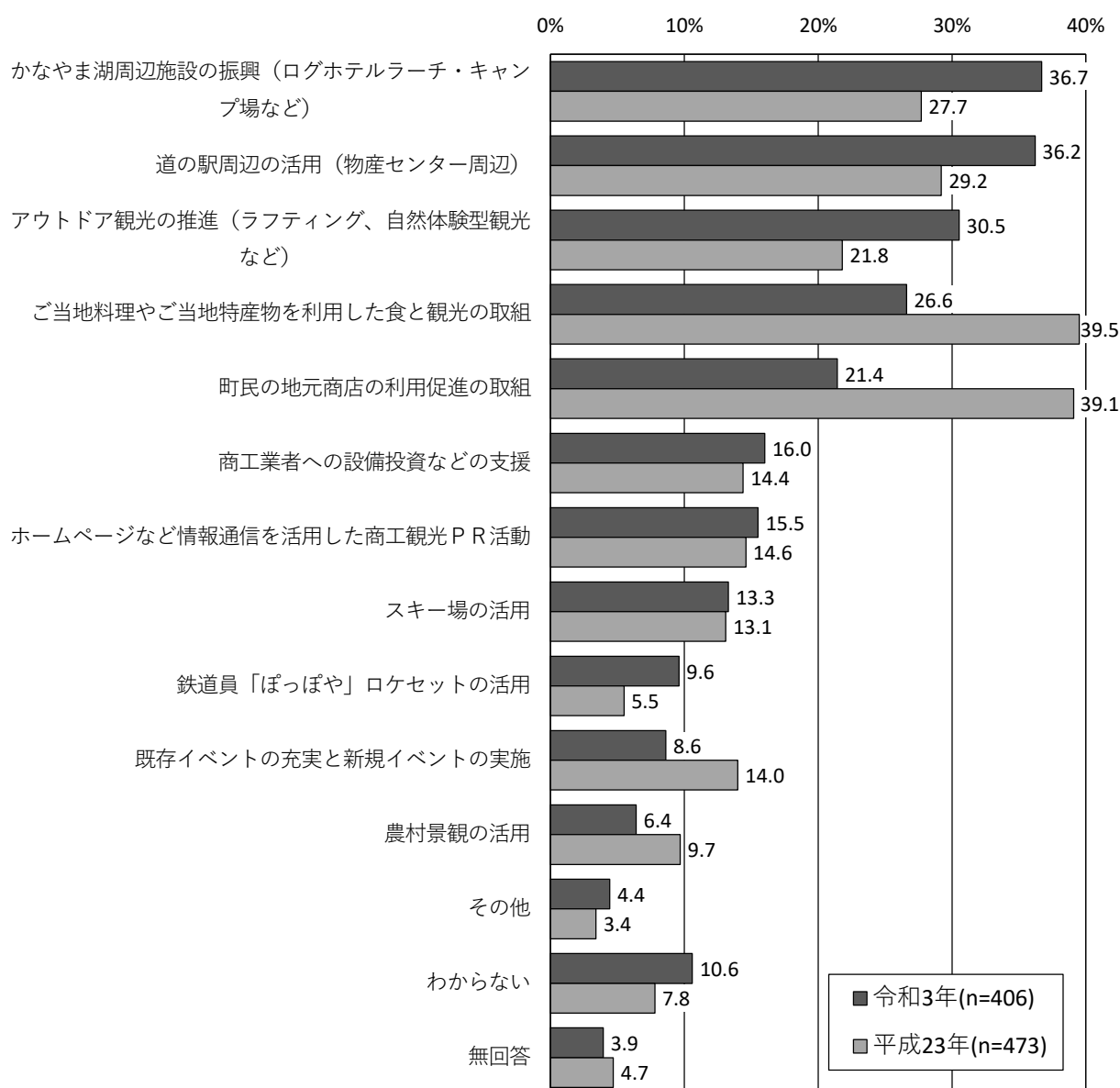
■「その他」の内容

- ・知名度の向上
- ・短期滞在型農業体験など
- ・ビジョンをもてるリーダー的人材を集める
- ・地域農業が持続可能なサプライチェーンの構築
- ・カーリング場の商業活用の推進。通年営業、合宿や観光客の誘致
- ・南富良野、占冠、新得の観光的連携。例えば、空知川・鷲川・十勝川の川のトライアングルを活用したラフティング

過去の調査との比較

○平成23年調査は「ご当地料理やご当地特産物を利用した食と観光の取組」（39.5%）、「町民の地元商店の利用促進の取組」（39.1%）が突出していましたが、今回調査ではその割合は10ポイント以上低くなっています。

○一方、今回調査で伸びたのは「かなやま湖周辺施設の振興（ログホテルラーチ・キャンプ場など）」「道の駅周辺の活用（物産センター周辺）」「アウトドア観光の推進（ラフティング、自然体験型観光など）」となっています。



男女別・年齢別の集計

○男女別でも、「かなやま湖周辺施設の振興（ログホテルラーチ・キャンプ場など）」「道の駅周辺の活用（物産センター周辺）」が上位回答となっており、その割合は男性の方が多くなっています。

○年齢別でも、「かなやま湖周辺施設の振興（ログホテルラーチ・キャンプ場など）」「道の駅周辺の活用（物産センター周辺）」が上位回答となっていますが、18～29歳及び40～49歳は「アウトドア観光の推進（ラフティング、自然体験型観光など）」が最も多くなっています。

(%)

		n	かなやま湖 周辺施設の 振興(ログ ホテルラ ーチ・キャン プ場など)	道の駅周 辺の活用(物 産センター 周辺)	アウトドア観 光の推進 (ラフティ ング、自然 体験型観 光など)	ご当地料理 やご当地特 産物を利用 した食と観 光の取組	町民の地元 商店の利用 促進の取組	商工業者へ の設備投資 などの支援	ホームペー ジなど情報 通信を活用 した商工観 光PR活動
全体		406	36.7	36.2	30.5	26.6	21.4	16.0	15.5
性別	男 性	200	41.0	40.5	34.5	24.5	22.5	23.0	16.0
	女 性	186	33.3	33.3	26.9	29.0	21.5	8.1	16.1
年齢	18～29 歳	30	30.0	36.7	43.3	26.7	20.0	26.7	20.0
	30～39 歳	47	40.4	40.4	38.3	25.5	21.3	10.6	21.3
	40～49 歳	62	41.9	35.5	46.8	21.0	16.1	21.0	12.9
	50～59 歳	67	44.8	37.3	34.3	22.4	13.4	10.4	22.4
	60～69 歳	75	38.7	38.7	18.7	34.7	21.3	24.0	9.3
	70 歳以上	109	27.5	33.9	19.3	28.4	32.1	11.9	13.8

		n	スキー場の 活用	鉄道員「ぼ ぽや」ロケ セットの活用	既存イベント の充実と新 規イベントの 実施	農村景観の 活用	その他	わからない	無回答
全体		406	13.3	9.6	8.6	6.4	4.4	10.6	3.9
性別	男 性	200	13.5	13.0	8.5	6.5	6.0	8.5	1.5
	女 性	186	13.4	6.5	8.6	6.5	3.2	11.8	4.8
年齢	18～29 歳	30	13.3	20.0	6.7	6.7	0.0	6.7	0.0
	30～39 歳	47	10.6	4.3	17.0	4.3	10.6	6.4	0.0
	40～49 歳	62	19.4	9.7	16.1	8.1	4.8	8.1	0.0
	50～59 歳	67	13.4	13.4	4.5	4.5	11.9	11.9	0.0
	60～69 歳	75	16.0	9.3	5.3	8.0	2.7	9.3	4.0
	70 歳以上	109	9.2	7.3	5.5	5.5	0.0	14.7	10.1

※網掛け部は各分類の中で回答者が一番多い項目

居住地区別の集計

○居住地区別でみると、下金山地区及び金山地区は「かなやま湖周辺施設の振興（ログホテルラーチ・キャンプ場など）」、幾寅地区は「道の駅周辺の活用（物産センター周辺）」、落合地区及び北落合地区は「アウトドア観光の推進（ラフティング、自然体験型観光など）」がそれぞれ最も多くなっています。

(%)

	n	かなやま湖 周辺施設の 振興(ログ ホテルラ ーチ・カ ンプ場 など)	道の駅周 辺の活用 (物産セ ンター 周辺)	アウトド ア観光の 推進 (ラフティ ング、自 然体験 型観光 など)	ご当地料 理やご当 地特産物 を利用し た食と観 光の取組	町民の地 元商店の 利用促進 の取組	商工業者 への設備 投資など の支援	ホームペ ージなど 情報通信 を活用し た商工観 光PR活動
全体	406	36.7	36.2	30.5	26.6	21.4	16.0	15.5
居住 地区	下金山地区	35	51.4	25.7	28.6	31.4	14.3	14.3
	金山地区	29	41.4	31.0	31.0	24.1	20.7	3.4
	幾寅地区	288	36.5	38.2	26.7	28.8	24.0	16.7
	落合地区	27	14.8	37.0	55.6	18.5	7.4	25.9
	北落合地区	15	33.3	33.3	53.3	13.3	26.7	6.7

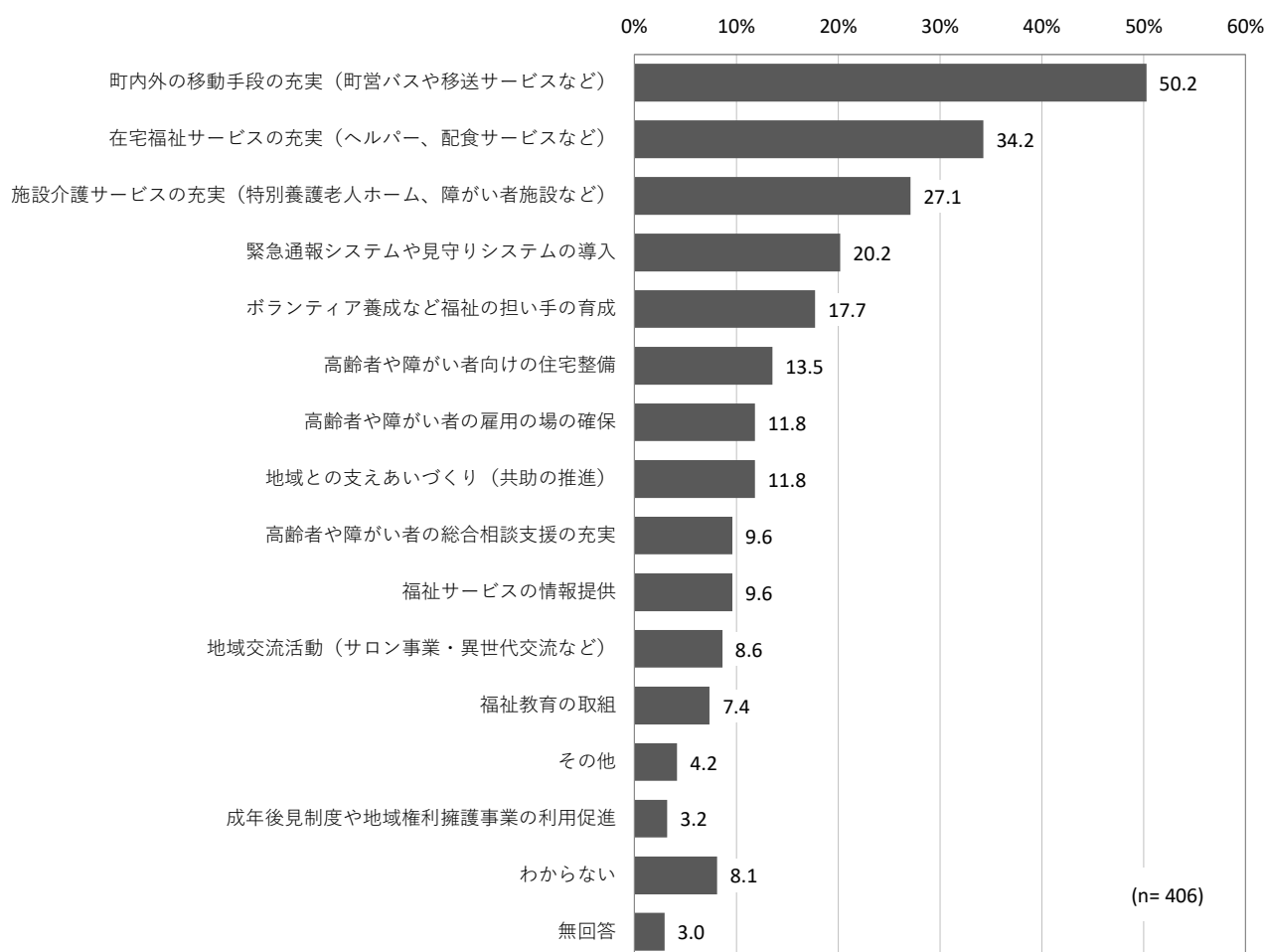
		n	スキー場の活用	鉄道員「ぽっぽや」ロケセットの活用	既存イベントの充実と新規イベントの実施	農村景観の活用	その他	わからない	無回答
全体		406	13.3	9.6	8.6	6.4	4.4	10.6	3.9
居住 地区	下金山地区	35	8.6	5.7	5.7	11.4	2.9	11.4	5.7
	金山地区	29	3.4	6.9	13.8	0.0	3.4	20.7	6.9
	幾寅地区	288	15.6	11.5	9.0	5.9	3.8	8.7	2.8
	落合地区	27	11.1	3.7	3.7	3.7	11.1	14.8	7.4
	北落合地区	15	6.7	0.0	6.7	20.0	13.3	13.3	6.7

※網掛け部は各分類の中で回答者が一番多い項目

（４）高齢者・障がい者福祉振興施策として力を入れるべきこと

力を入れるべき高齢者・障がい者福祉振興策は、「町内外の移動手段の充実（町営バスや移送サービスなど）」が 50.2%で突出しており、次いで「在宅福祉サービスの充実（ヘルパー、配食サービスなど）」（34.2%）、「施設介護サービスの充実（特別養護老人ホーム、障がい者施設など）」（27.1%）と続いています。

問 13 あなたは、高齢者や障がい者福祉施策として今後どのようなことに力を入れる必要があると思いますか。
(3つまで○印)

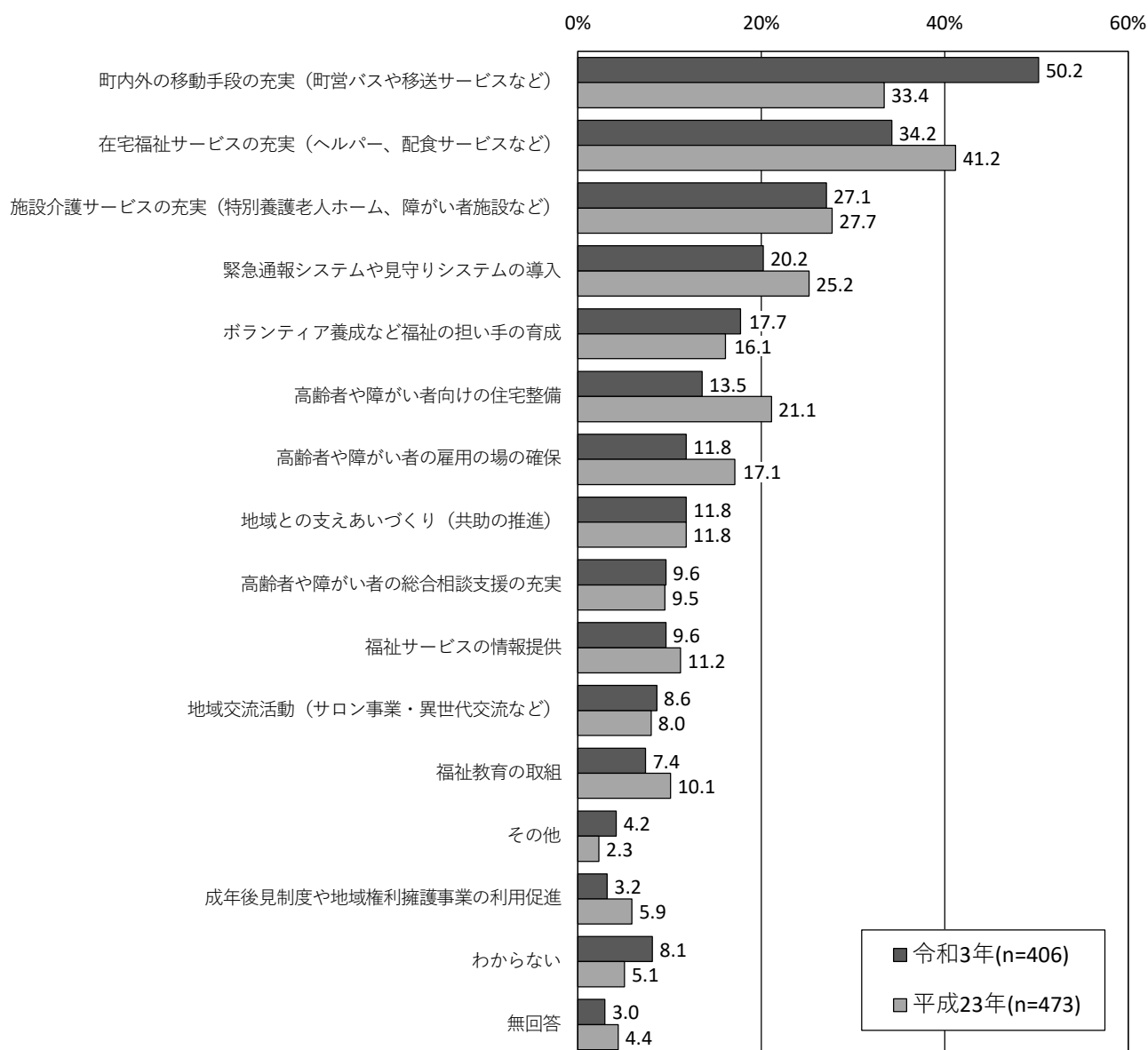


■「その他」の内容

- ・人材確保。学生インターン、外国人労働者の受入れ。給料面の改善
- ・指導や問題解決できるリーダーが必要
- ・特養より軽い介護施設の確保
- ・高齢者の運動できる場所を充実させる
- ・高齢者施設、デイサービスの統一

過去の調査との比較

○平成23年調査では「在宅福祉サービスの充実（ヘルパー、配食サービスなど）」が41.2%で最も多くなっていましたが、今回調査では34.2%と少なくなっています。逆に平成23年調査で33.4%だった「町内外の移動手段の充実（町営バスや移送サービスなど）」が、今回調査では50.2%と16.8ポイント増加している状況です。



男女別・年齢別の集計

○男女別でも「町内外の移動手段の充実（町営バスや移送サービスなど）」が最も多い状況です。

○年齢別でも「町内外の移動手段の充実（町営バスや移送サービスなど）」が最も多く、その割合は70歳以上で57.8%と高くなっています。また、70歳以上は「在宅福祉サービスの充実（ヘルパー、配食サービスなど）」も44.0%と高い状況です。

(%)

		n	町内外の移動手段の充実(町営バスや移送サービスなど)	在宅福祉サービスの充実(ヘルパー、配食サービスなど)	施設介護サービスの充実(特別養護老人ホーム、障がい者施設など)	緊急通報システムや見守りシステムの導入	ボランティア養成など福祉の担い手の育成	高齢者や障がい者向けの住宅整備	高齢者や障がい者の雇用の場の確保	地域との支えあいづくり(共助の推進)
全体		406	50.2	34.2	27.1	20.2	13.5	11.8	11.8	17.7
性別	男性	200	49.0	35.0	25.0	23.0	14.0	13.0	13.5	20.0
	女性	186	52.7	33.3	29.6	18.8	13.4	10.8	9.7	15.6
年齢	18～29歳	30	53.3	30.0	13.3	16.7	3.3	10.0	6.7	23.3
	30～39歳	47	42.6	29.8	21.3	23.4	8.5	17.0	12.8	17.0
	40～49歳	62	50.0	30.6	22.6	19.4	11.3	19.4	12.9	16.1
	50～59歳	67	43.3	34.3	31.3	20.9	16.4	9.0	10.4	16.4
	60～69歳	75	53.3	29.3	38.7	29.3	20.0	13.3	10.7	20.0
	70歳以上	109	57.8	44.0	27.5	13.8	12.8	8.3	13.8	17.4

		n	高齢者や障がい者の総合相談支援の充実	福祉サービスの情報提供	地域交流活動(サロン事業・異世代交流など)	福祉教育の取組	その他	成年後見制度や地域権利擁護事業の利用促進	わからない	無回答
全体		406	9.6	9.6	8.6	7.4	4.2	3.2	8.1	3.0
性別	男性	200	10.0	8.0	8.0	6.0	4.5	3.0	8.5	1.5
	女性	186	9.7	11.8	9.7	9.7	4.3	3.8	8.1	2.2
年齢	18～29歳	30	3.3	0.0	13.3	3.3	0.0	0.0	16.7	0.0
	30～39歳	47	6.4	10.6	4.3	17.0	6.4	2.1	8.5	0.0
	40～49歳	62	6.5	8.1	12.9	9.7	8.1	3.2	9.7	1.6
	50～59歳	67	11.9	9.0	3.0	6.0	7.5	4.5	10.4	0.0
	60～69歳	75	6.7	9.3	6.7	9.3	1.3	6.7	4.0	1.3
	70歳以上	109	16.5	14.7	11.9	3.7	0.9	1.8	5.5	4.6

※網掛け部は各分類の中で回答者が一番多い項目

居住地区別の集計

○居住地区別でみると、北落合地区は「在宅福祉サービスの充実（ヘルパー、配食サービスなど）」（46.7%）、それ以外の地区は「町内外の移動手段の充実（町営バスや移送サービスなど）」が最も多くなっています。

(%)

		n	町内外の 移動手段 の充実(町 営バスや 移送サー ビスなど)	在宅福祉 サービスの 充実(ヘル パー、配 食サービ スなど)	施設介護 サービスの 充実(特 別養護老 人ホーム、 障がい者 施設など)	緊急通報 システムや 見守りシ ステムの導 入	ボランティ ア養成な ど福祉の 担い手の 育成	高齢者や 障がい者 向けの住 宅整備	高齢者や 障がい者 の雇用の 場の確保	地域との 支えあい づくり (共助の 推進)
全体		406	50.2	34.2	27.1	20.2	13.5	11.8	11.8	17.7
居住	下金山地区	35	65.7	40.0	20.0	25.7	8.6	14.3	8.6	17.1
地区	金山地区	29	44.8	37.9	13.8	10.3	10.3	10.3	6.9	13.8
	幾寅地区	288	52.8	33.3	30.6	20.8	13.2	11.8	12.8	19.1
	落合地区	27	33.3	29.6	14.8	25.9	18.5	11.1	3.7	14.8
	北落合地区	15	26.7	46.7	33.3	0.0	20.0	13.3	26.7	20.0

		n	高齢者や 障がい者 の総合相 談支援の 充実	福祉サー ビスの情 報提供	地域交流 活動(サロ ン事業・異 世代交流 など)	福祉教育 の取組	その他	成年後見 制度や地 域権利擁 護事業の 利用促進	わから ない	無回答
全体		406	9.6	9.6	8.6	7.4	4.2	3.2	8.1	3.0
居住	下金山地区	35	8.6	8.6	5.7	8.6	2.9	8.6	2.9	0.0
地区	金山地区	29	20.7	13.8	10.3	0.0	0.0	0.0	13.8	6.9
	幾寅地区	288	9.0	9.4	8.0	8.0	4.5	3.5	6.3	2.4
	落合地区	27	14.8	14.8	14.8	11.1	7.4	0.0	22.2	0.0
	北落合地区	15	0.0	6.7	13.3	6.7	0.0	0.0	20.0	0.0

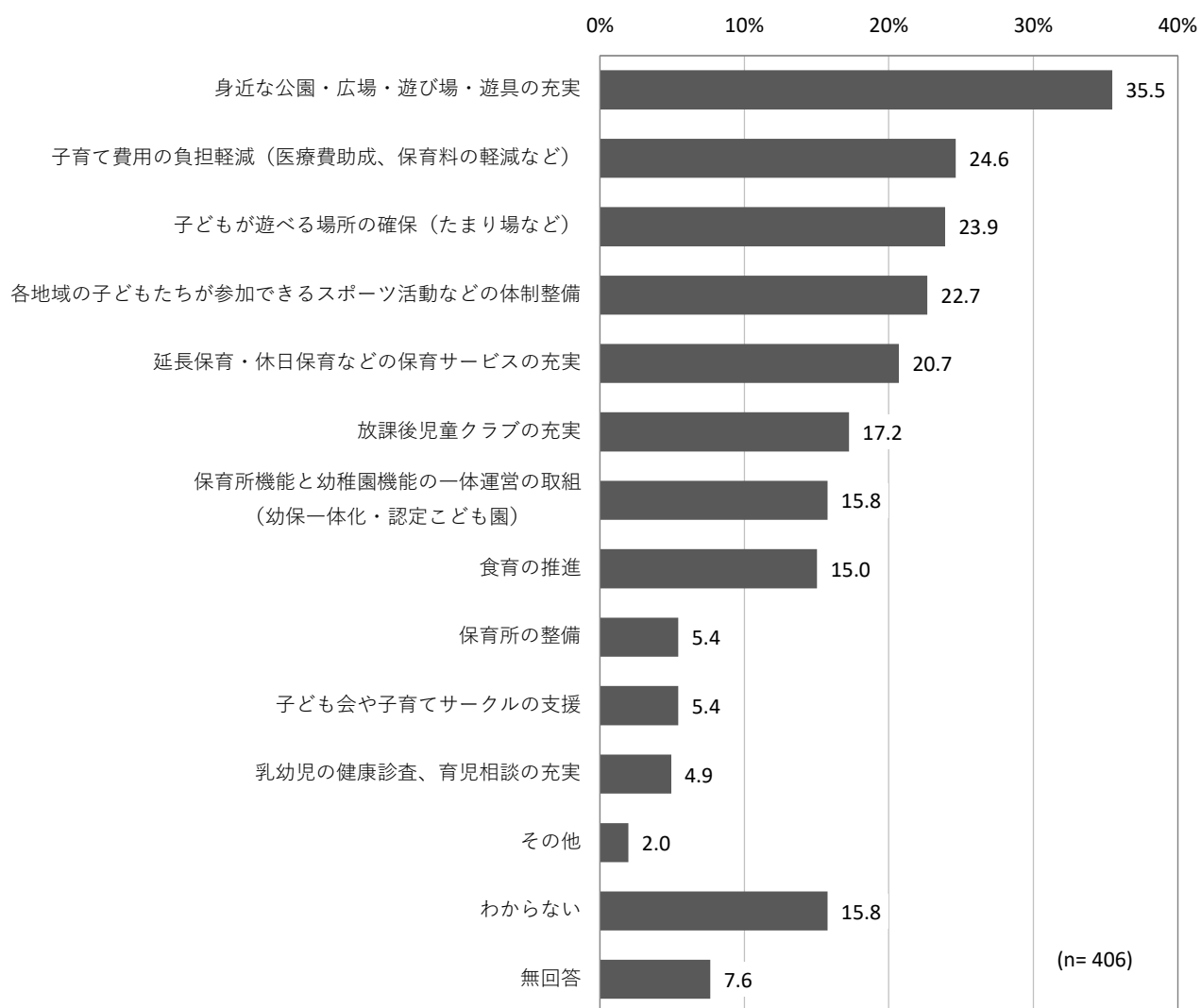
※網掛け部は各分類の中で回答者が一番多い項目

(5) 子育て支援振興施策として力を入れるべきこと

力を入れるべき子育て支援振興施策は、「身近な公園・広場・遊び場・遊具の充実」が35.5%で最も多く、次いで「子育て費用の負担軽減（医療費助成、保育料の軽減など）」（24.6%）、「子どもが遊べる場所の確保（たまり場など）」（23.9%）と続いています。

問 14 あなたは、子育て支援施策として今後どのようなことに力を入れる必要があると思いますか。

(3つまで○印)



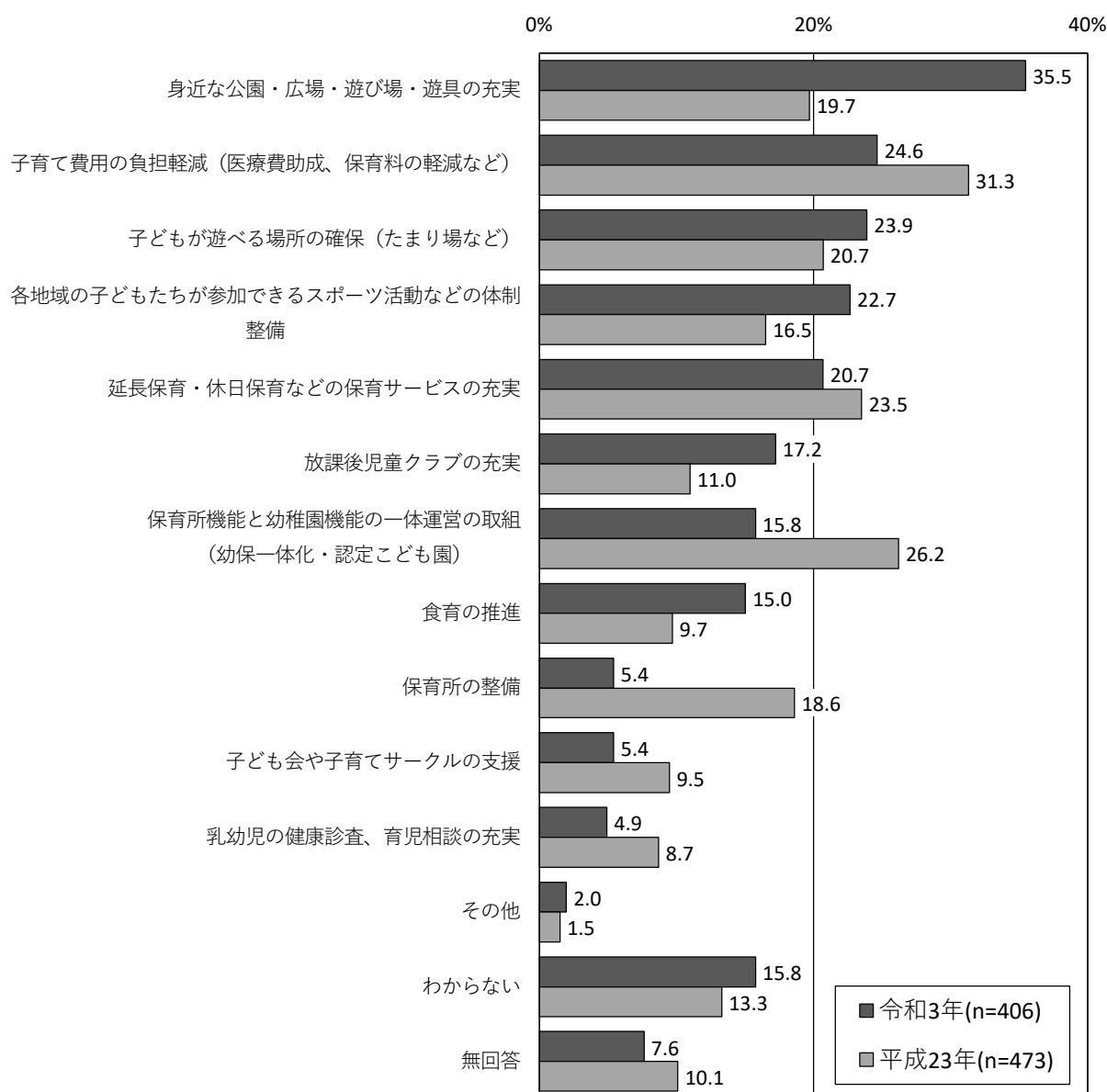
■「その他」の内容

- ・0～3 歳の未満児保育の充実
- ・ファミサポの定着
- ・保育従事者への教育と支援
- ・図書館の整備
- ・モンテッソーリの教育機関設立してほしい

過去の調査との比較

○平成23年調査では「子育て費用の負担軽減（医療費助成、保育料の軽減など）」が31.3%で最も多くなっていましたが、今回調査では24.6%と低くなっています。また、平成23年調査で上位回答となっていた「保育所機能と幼稚園機能の一体運営の取組（幼保一体化・認定こども園）」は、今回調査で10.4ポイント低くなり15.8%となっています。

○一方、平成23年調査で19.7%だった「身近な公園・広場・遊び場・遊具の充実」は、今回調査では35.5%と15.8ポイント増加しています。



男女別・年齢別の集計

○男女別でも「身近な公園・広場・遊び場・遊具の充実」が最も多く、30%を超えている状況です。

○年齢別でも「身近な公園・広場・遊び場・遊具の充実」が最も多く、特に30～39歳はその割合が70.2%と非常に高くなっています。

(%)

		n	身近な公園・広場・遊び場・遊具の充実	子育て費用の負担軽減 (医療費助成、保育料の軽減など)	子どもが遊べる場所の確保(たまり場など)	各地域の子どもたちが参加できるスポーツ活動などの体制整備	延長保育・休日保育などの保育サービスの充実	放課後児童クラブの充実	保育所機能と幼稚園機能の一体運営の取組 (幼保一体化・認定こども園)
全体		406	35.5	24.6	23.9	22.7	20.7	17.2	15.8
性別	男性	200	34.0	29.0	22.5	24.5	22.0	20.5	20.5
	女性	186	38.7	21.0	26.3	22.0	19.4	15.1	11.3
年齢	18～29歳	30	46.7	30.0	40.0	20.0	16.7	10.0	20.0
	30～39歳	47	70.2	34.0	36.2	31.9	27.7	12.8	19.1
	40～49歳	62	43.5	30.6	35.5	32.3	27.4	27.4	16.1
	50～59歳	67	31.3	16.4	16.4	19.4	25.4	13.4	13.4
	60～69歳	75	28.0	25.3	24.0	17.3	18.7	22.7	14.7
	70歳以上	109	22.0	21.1	12.8	20.2	13.8	14.7	16.5

		n	食育の推進	保育所の整備	子ども会や子育てサークルの支援	乳幼児の健康診査、育児相談の充実	その他	わからない	無回答
全体		406	15.0	5.4	5.4	4.9	2.0	15.8	7.6
性別	男性	200	15.0	8.0	5.5	6.0	2.0	12.5	6.0
	女性	186	15.6	2.7	5.4	4.3	1.6	18.8	6.5
年齢	18～29歳	30	20.0	20.0	0.0	3.3	3.3	10.0	0.0
	30～39歳	47	10.6	6.4	4.3	2.1	4.3	6.4	0.0
	40～49歳	62	11.3	6.5	3.2	9.7	1.6	6.5	1.6
	50～59歳	67	16.4	4.5	7.5	7.5	1.5	14.9	3.0
	60～69歳	75	26.7	4.0	9.3	4.0	2.7	16.0	6.7
	70歳以上	109	10.1	1.8	5.5	3.7	0.0	27.5	15.6

※網掛け部は各分類の中で「わからない」「無回答」を除き回答者が一番多い項目

居住地区別の集計

○居住地区別でみると、下金山地区、金山地区及び幾寅地区は「身近な公園・広場・遊び場・遊具の充実」、落合地区は「延長保育・休日保育などの保育サービスの充実」、北落合地区は「子育て費用の負担軽減（医療費助成、保育料の軽減など）」がそれぞれ最も多くなっています。

(%)

	n	身近な公園・広場・遊び場・遊具の充実	子育て費用の負担軽減（医療費助成、保育料の軽減など）	子どもが遊べる場所の確保（たまり場など）	各地域の子どもたちが参加できるスポーツ活動などの体制整備	延長保育・休日保育などの保育サービスの充実	放課後児童クラブの充実	保育所機能と幼稚園機能の一体運営の取組（幼保一体化・認定こども園）
全体	406	35.5	24.6	23.9	22.7	20.7	17.2	15.8
居住地区								
下金山地区	35	25.7	20.0	11.4	22.9	20.0	25.7	17.1
金山地区	29	24.1	17.2	20.7	17.2	17.2	6.9	24.1
幾寅地区	288	39.9	24.7	27.1	25.0	19.8	18.1	13.9
落合地区	27	25.9	25.9	11.1	11.1	37.0	11.1	25.9
北落合地区	15	20.0	46.7	33.3	20.0	6.7	20.0	20.0

	n	食育の推進	保育所の整備	子ども会や子育てサークルの支援	乳幼児の健康診査、育児相談の充実	その他	わからない	無回答
全体	406	15.0	5.4	5.4	4.9	2.0	15.8	7.6
居住地区								
下金山地区	35	17.1	2.9	5.7	2.9	2.9	20.0	8.6
金山地区	29	17.2	6.9	3.4	3.4	0.0	20.7	13.8
幾寅地区	288	15.6	6.3	6.6	5.6	1.7	13.5	5.9
落合地区	27	7.4	0.0	0.0	0.0	3.7	29.6	7.4
北落合地区	15	20.0	0.0	0.0	13.3	0.0	20.0	0.0

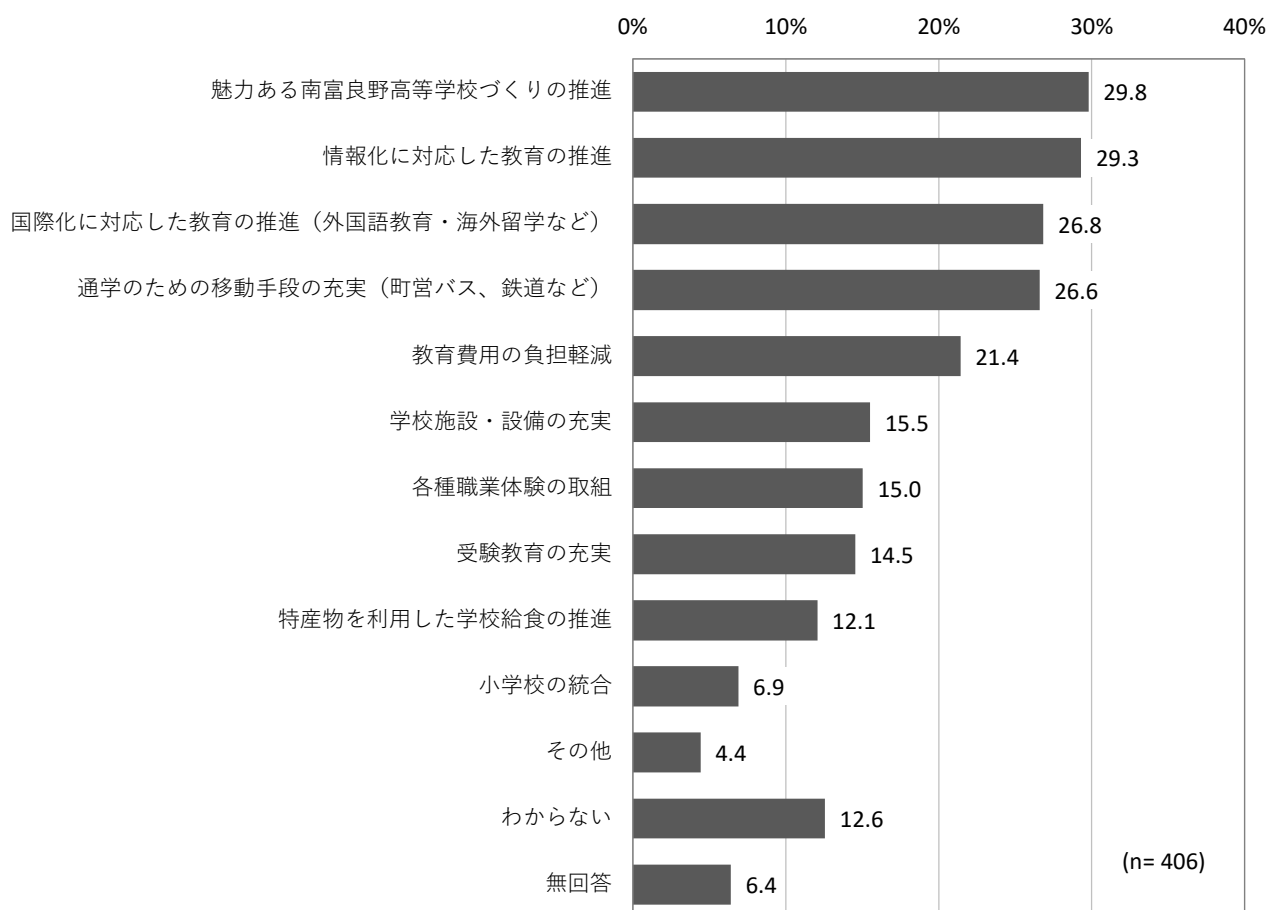
※網掛け部は各分類の中で回答者が一番多い項目

（６）学校教育施策として力を入れるべきこと

力を入れるべき学校教育施策は、「魅力ある南富良野高等学校づくりの推進」（29.8%）、「情報化に対応した教育の推進」（29.3%）が上位回答となっています。

問 15 あなたは、学校教育施策として今後どのようなことに力を入れる必要があると思いますか。

（3つまで〇印）



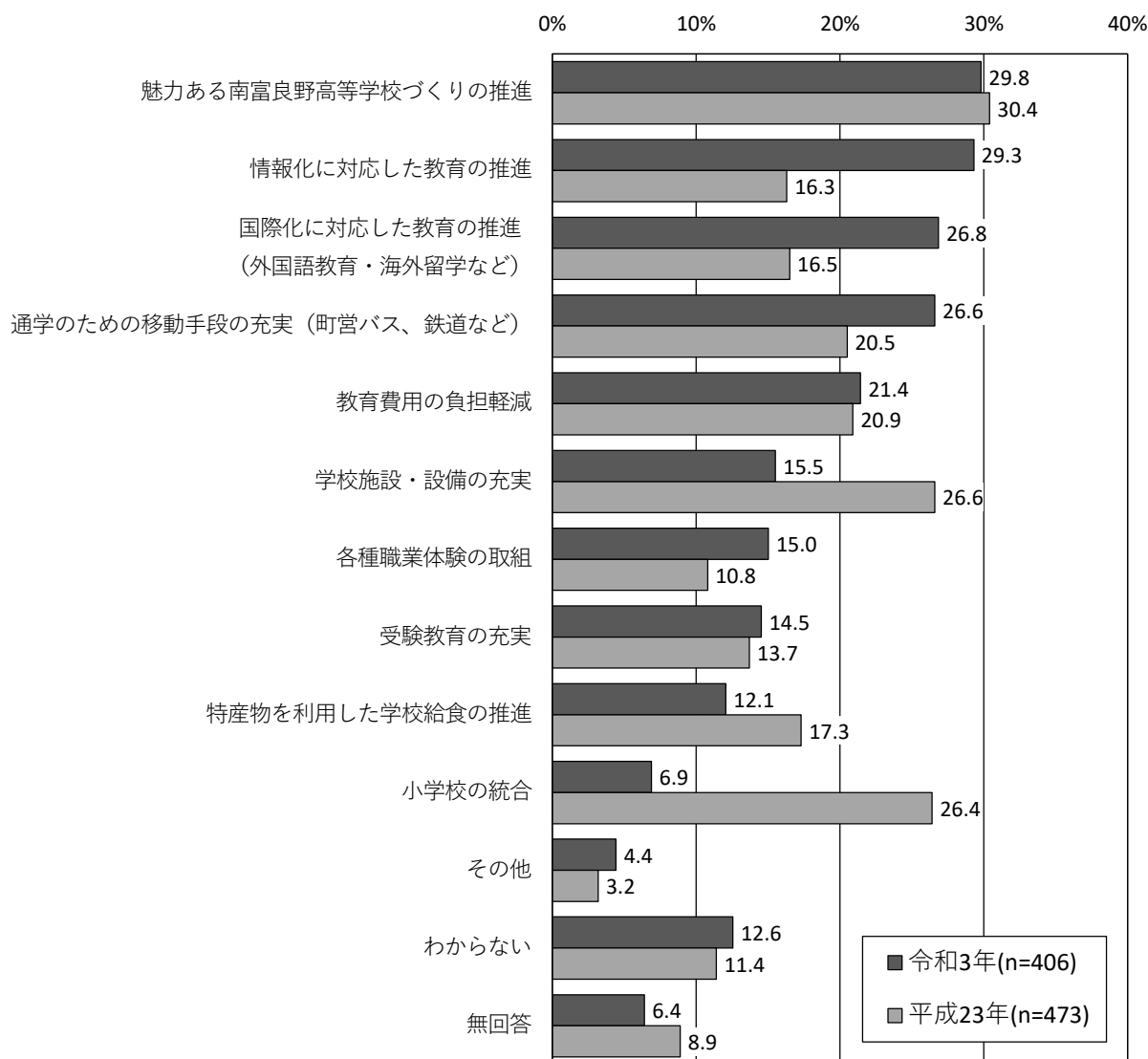
■「その他」の内容

- ・地元に愛着を持てる教育の充実
- ・教員の質向上
- ・学力、コミュニケーションの向上
- ・図書館の整備
- ・小中一貫校の設立
- ・自由進度学習
- ・バスなど一つにしぼり、乗り換え不要にするなどの移動手段の向上
- ・パソコンなど、ＩＴの時代に沿った環境や授業の取入れ
- ・各世代の先生の配置、若い先生ばかりで不安
- ・スクールカウンセラーなど子どもの「こころ」のサポートの充実

過去の調査との比較

○「魅力ある南富良野高等学校づくりの推進」は平成23年調査及び今回調査ともに最も多く、その割合にも大きな変化はありませんでしたが、平成23年調査で上位回答となっていた「学校施設・設備の充実」「小学校の統合」は今回調査で10ポイント以上少なくなっています。

○一方、「情報化に対応した教育の推進」「国際化に対応した教育の推進（外国語教育・海外留学など）」は今回調査で10ポイント以上増加がみられました。



男女別・年齢別の集計

○男女別でみると、男性は「情報化に対応した教育の推進」（34.0%）、女性は「魅力ある南富良野高等学校づくりの推進」（26.3%）がそれぞれ最も多くなっています。

○年齢別でみると、18～29歳は「通学のための移動手段の充実（町営バス、鉄道など）」（40.0%）、30～39歳は「国際化に対応した教育の推進（外国語教育・海外留学など）」（40.4%）、40～49歳では「情報化に対応した教育の推進」と「国際化に対応した教育の推進（外国語教育・海外留学など）」がそれぞれ最も多く、全体と違う傾向となっています。

(%)

		n	魅力ある南富良野高等学校づくりの推進	情報化に対応した教育の推進	国際化に対応した教育の推進(外国語教育・海外留学など)	通学のための移動手段の充実(町営バス、鉄道など)	教育費用の負担軽減	学校施設・設備の充実
全体		406	29.8	29.3	26.8	26.6	21.4	15.5
性別	男性	200	33.0	34.0	28.5	30.0	26.5	18.5
	女性	186	26.3	25.3	25.3	24.7	16.7	13.4
年齢	18～29歳	30	20.0	23.3	33.3	40.0	23.3	20.0
	30～39歳	47	27.7	29.8	40.4	10.6	25.5	19.1
	40～49歳	62	14.5	35.5	35.5	30.6	27.4	21.0
	50～59歳	67	31.3	29.9	26.9	31.3	23.9	10.4
	60～69歳	75	38.7	30.7	18.7	26.7	24.0	22.7
	70歳以上	109	38.5	26.6	17.4	26.6	13.8	8.3

		n	各種職業体験の取組	受験教育の充実	特産物を利用した学校給食の推進	小学校の統合	その他	わからない	無回答
全体		406	15.0	14.5	12.1	6.9	4.4	12.6	6.4
性別	男性	200	17.5	15.0	8.0	10.0	4.5	9.0	3.5
	女性	186	12.9	14.0	15.1	4.3	4.3	16.7	7.5
年齢	18～29歳	30	10.0	10.0	13.3	3.3	3.3	6.7	0.0
	30～39歳	47	23.4	17.0	10.6	8.5	10.6	8.5	0.0
	40～49歳	62	22.6	24.2	6.5	8.1	8.1	8.1	1.6
	50～59歳	67	11.9	13.4	17.9	7.5	6.0	7.5	6.0
	60～69歳	75	17.3	9.3	10.7	12.0	0.0	14.7	2.7
	70歳以上	109	10.1	13.8	10.1	2.8	0.9	22.0	13.8

※網掛け部は各分類の中で回答者が一番多い項目

居住地区別の集計

○居住地区別でみると、下金山地区は「通学のための移動手段の充実（町営バス、鉄道など）」が最も多く、「魅力ある南富良野高等学校づくりの推進」は14.3%で他の地区と比べて少なくなっています。また、金山地区、幾寅地区は「魅力ある南富良野高等学校づくりの推進」、落合地区、北落合地区は「国際化に対応した教育の推進（外国語教育・海外留学など）」がそれぞれ最も多くなっています。

(%)

	n	魅力ある南富良野高等学校づくりの推進	情報化に対応した教育の推進	国際化に対応した教育の推進（外国語教育・海外留学など）	通学のための移動手段の充実（町営バス、鉄道など）	教育費用の負担軽減	学校施設・設備の充実
全体	406	29.8	29.3	26.8	26.6	21.4	15.5
居住地区							
下金山地区	35	14.3	25.7	22.9	31.4	28.6	5.7
金山地区	29	27.6	24.1	27.6	24.1	13.8	17.2
幾寅地区	288	33.0	30.9	24.0	28.1	21.5	17.4
落合地区	27	29.6	22.2	44.4	14.8	18.5	3.7
北落合地区	15	20.0	26.7	46.7	13.3	26.7	20.0

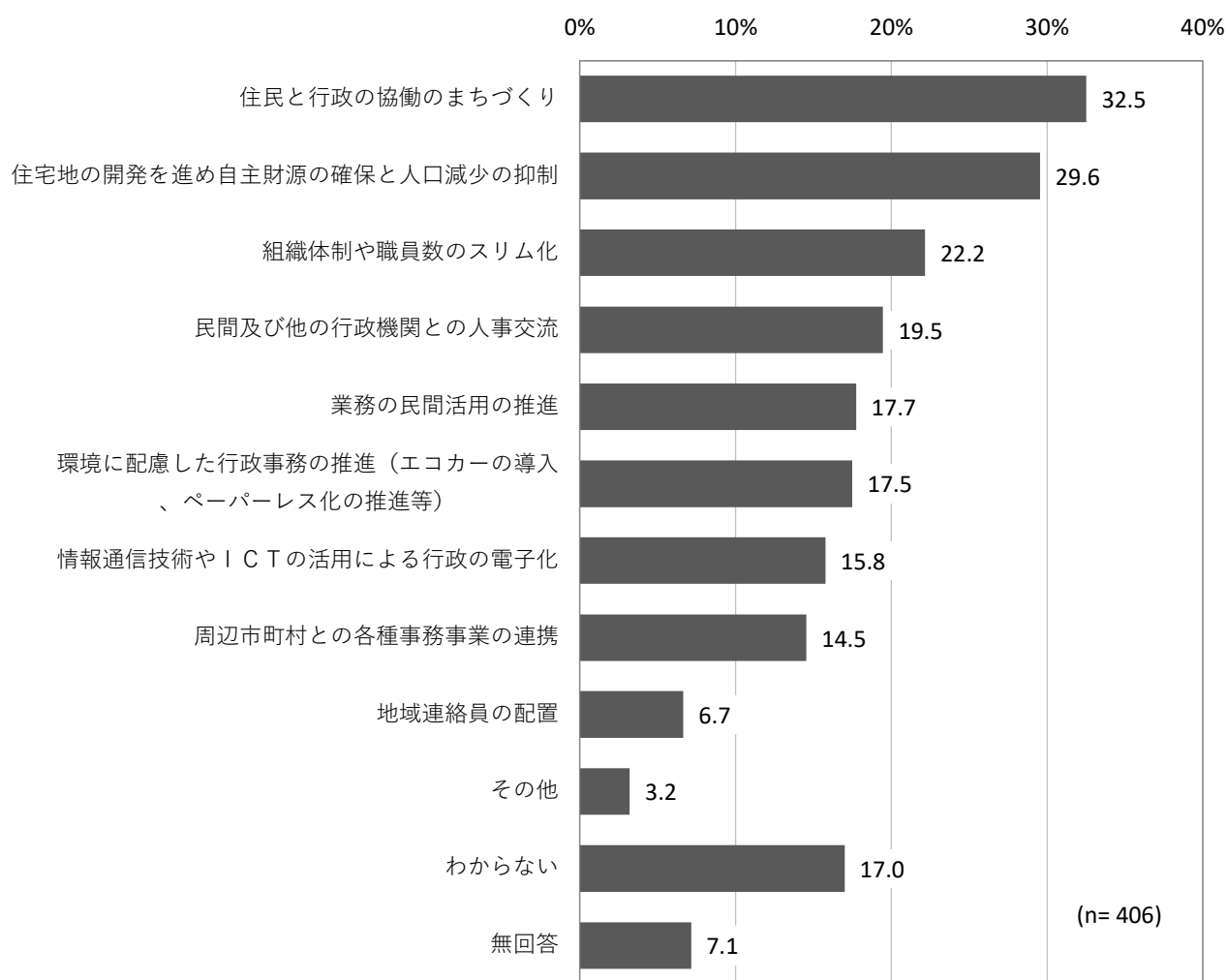
	n	各種職業体験の取組	受験教育の充実	特産物を利用した学校給食の推進	小学校の統合	その他	わからない	無回答
全体	406	15.0	14.5	12.1	6.9	4.4	12.6	6.4
居住地区								
下金山地区	35	20.0	8.6	20.0	5.7	5.7	8.6	8.6
金山地区	29	6.9	13.8	10.3	3.4	3.4	13.8	13.8
幾寅地区	288	15.3	16.0	11.5	7.6	3.5	12.8	4.9
落合地区	27	14.8	14.8	7.4	3.7	11.1	22.2	7.4
北落合地区	15	20.0	13.3	13.3	0.0	6.7	6.7	0.0

※網掛け部は各分類の中で回答者が一番多い項目

(7) 行政・財政運営で力を入れるべきこと

行政・財政運営で力を入れるべきことは、「住民と行政の協働のまちづくり」が32.5%で最も多く、次いで「住宅地の開発を進め自主財源の確保と人口減少の抑制」が29.6%が続いています。

問 16 あなたは、行政・財政運営について今後どのようなことに力を入れる必要があると思いますか。
(3つまで○印)



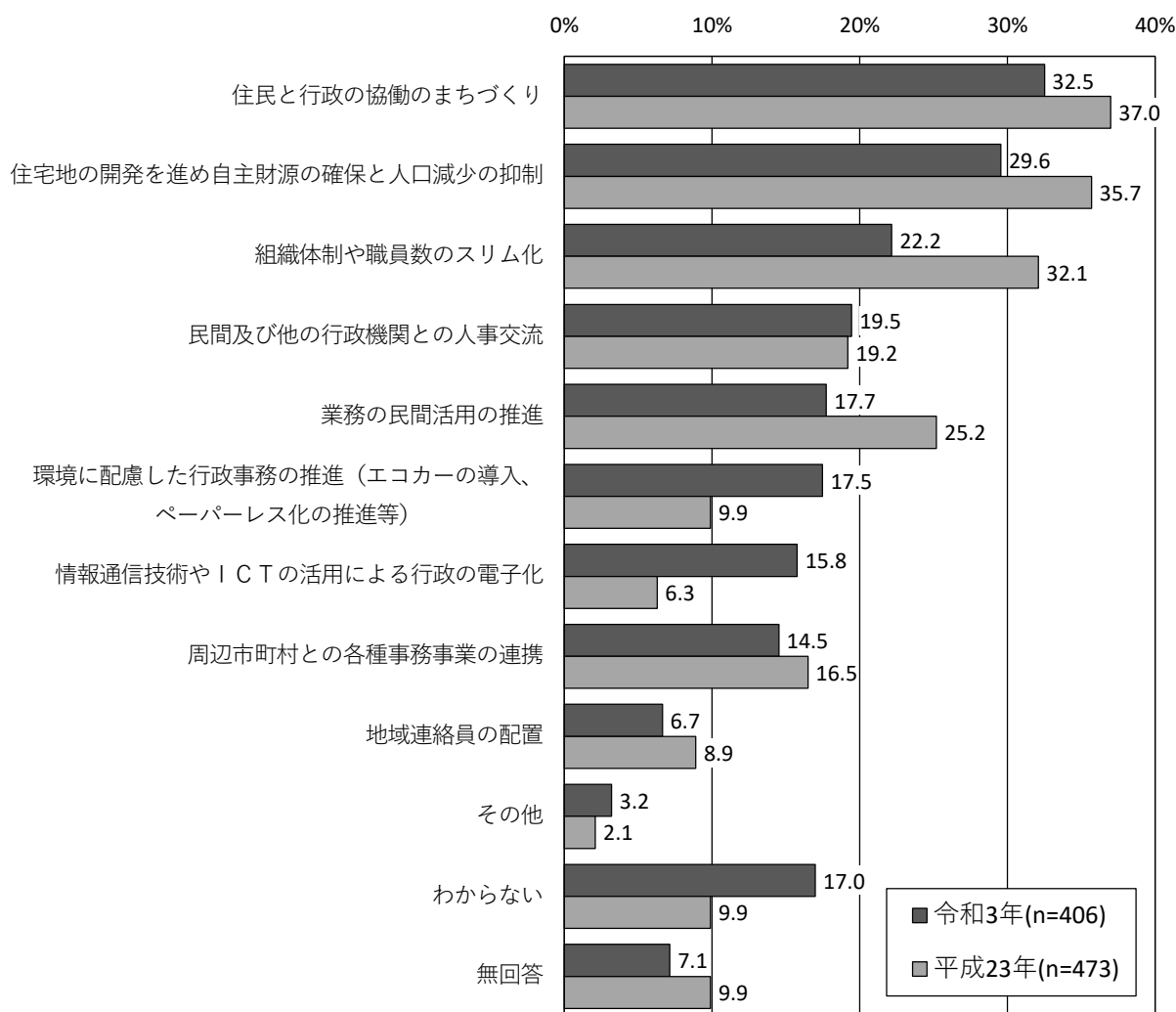
■「その他」の内容

- ・職員研修の充実、職員の意識改革
- ・業務体制の見直し、行政事務のスピード化
- ・財源のわかりやすい情報提供と第三者の定期監査
- ・かなやま湖ラーチを住宅として売却もしくは賃貸として活用
- ・地域課題に対する ESG 投資の有効利用
- ・「ファシリテーション」を取り入れた会議を行う

過去の調査との比較

○平成23年調査においても「住民と行政の協働のまちづくり」が最も多く、次いで「住宅地の開発を進め自主財源の確保と人口減少の抑制」「組織体制や職員数のスリム化」が続いており、今回調査は平成23年調査と同様の傾向となっています。

○「情報通信技術やＩＣＴの活用による行政の電子化」は平成23年調査と比べて10ポイント近く増加しています。



男女別・年齢別の集計

○男女別でも「住民と行政の協働のまちづくり」が最も多く、男性は36.0%、女性は29.0%となっています。

○年齢別でみると、18～29歳、30～39歳及び50～59歳は「住宅地の開発を進め自主財源の確保と人口減少の抑制」、40～49歳及び60歳以上は「住民と行政の協働のまちづくり」がそれぞれ最も多くなっています。

(%)

		n	住民と行政 の協働の まちづくり	住宅地の開 発を進め自主 財源の確保と 人口減少の 抑制	組織体制や 職員数の スリム化	民間及び他の 行政機関との 人事交流	業務の民間活 用の推進	環境に配慮し た行政事務の 推進(エコカー の導入、ペー パーレス化の 推進等)
全体		406	32.5	29.6	22.2	19.5	17.7	17.5
性別	男 性	200	36.0	32.0	25.0	25.5	23.5	18.5
	女 性	186	29.0	27.4	19.9	14.0	12.4	17.7
年齢	18～29 歳	30	23.3	36.7	23.3	16.7	10.0	23.3
	30～39 歳	47	29.8	31.9	29.8	23.4	10.6	21.3
	40～49 歳	62	30.6	29.0	25.8	16.1	30.6	29.0
	50～59 歳	67	29.9	31.3	13.4	19.4	23.9	17.9
	60～69 歳	75	36.0	32.0	30.7	17.3	21.3	24.0
	70 歳以上	109	37.6	25.7	19.3	22.9	11.9	3.7

		n	情報通信技術 やICTの活用 による行政の 電子化	周辺市町村と の各種事務 事業の連携	地域連絡員 の配置	その他	わからない	無回答
全体		406	15.8	14.5	6.7	3.2	17.0	7.1
性別	男 性	200	21.5	21.0	7.0	5.0	10.5	3.0
	女 性	186	10.2	7.5	5.4	1.6	24.2	9.7
年齢	18～29 歳	30	30.0	16.7	3.3	0.0	16.7	0.0
	30～39 歳	47	14.9	14.9	2.1	6.4	19.1	2.1
	40～49 歳	62	25.8	21.0	6.5	4.8	11.3	1.6
	50～59 歳	67	16.4	9.0	6.0	3.0	14.9	3.0
	60～69 歳	75	14.7	17.3	6.7	1.3	16.0	5.3
	70 歳以上	109	6.4	12.8	9.2	1.8	22.0	15.6

※網掛け部は各分類の中で回答者が一番多い項目

居住地区別の集計

○居住地区別でみると、落合地区は「環境に配慮した行政事務の推進（エコカーの導入、ペーパーレス化の推進等）」、落合地区以外は「住民と行政の協働のまちづくり」がそれぞれ最も多くなっています。

(%)

	n	住民と行政 の協働の まちづくり	住宅地の開発 を進め自主財 源の確保と人 口減少の抑制	組織体制や 職員数の スリム化	民間及び他の 行政機関との 人事交流	業務の民間活 用の推進	環境に配慮し た行政事務の 推進（エコカー の導入、ペー パーレス化の 推進等）
全体	406	32.5	29.6	22.2	19.5	17.7	17.5
居住 地区	下金山地区	35	31.4	25.7	8.6	8.6	14.3
	金山地区	29	34.5	27.6	17.2	6.9	24.1
	幾寅地区	288	33.0	31.3	26.0	19.8	16.3
	落合地区	27	22.2	22.2	14.8	25.9	29.6
	北落合地区	15	33.3	26.7	20.0	13.3	26.7

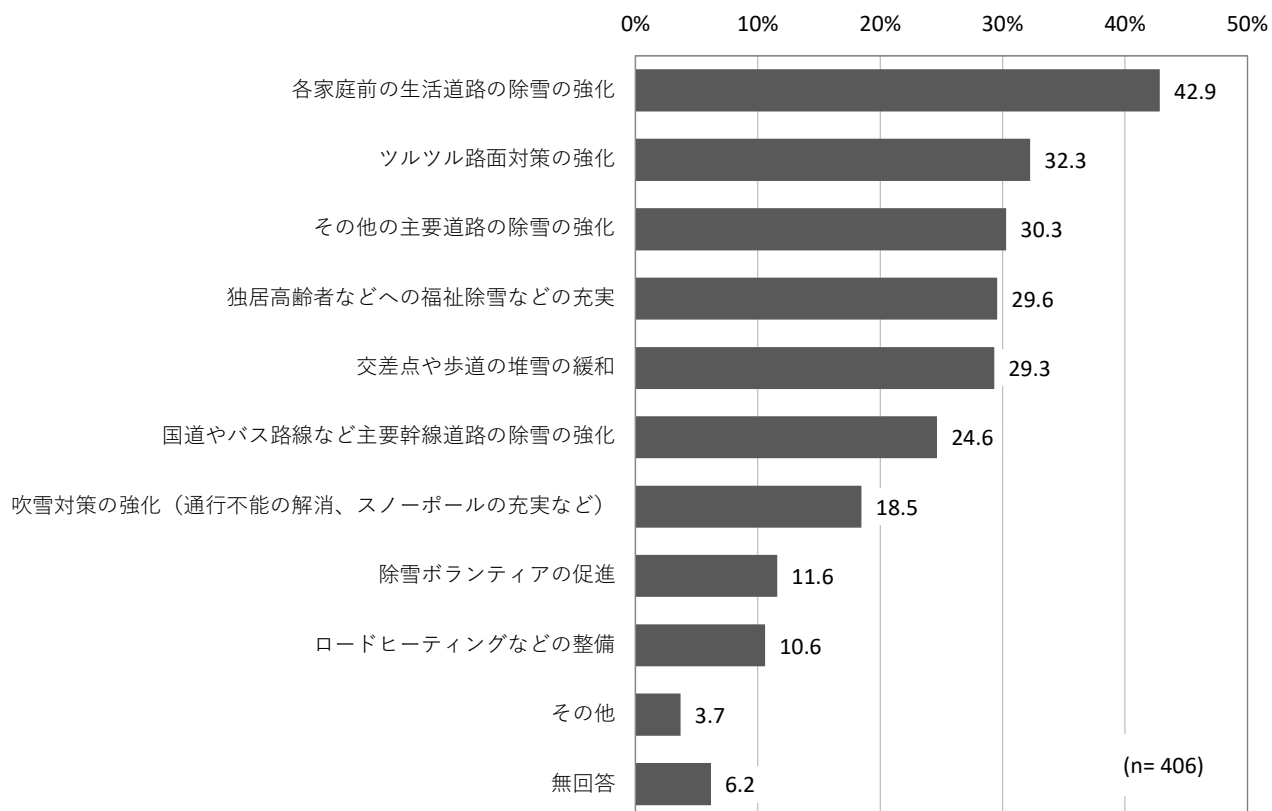
	n	情報通信技術 やICTの活用 による行政の 電子化	周辺市町村と の各種事務事 業の連携	地域連絡員 の配置	その他	わからない	無回答
全体	406	15.8	14.5	6.7	3.2	17.0	7.1
居住 地区	下金山地区	35	17.1	14.3	14.3	2.9	14.3
	金山地区	29	13.8	6.9	3.4	0.0	13.8
	幾寅地区	288	16.3	16.0	4.9	2.8	17.7
	落合地区	27	11.1	3.7	7.4	7.4	22.2
	北落合地区	15	13.3	26.7	20.0	6.7	20.0

※網掛け部は各分類の中で回答者が一番多い項目

（８）冬場の生活環境のために力を入れるべきこと

冬場の生活環境のために力を入れるべきことは、「各家庭前の生活道路の除雪の強化」が42.9%で最も多く、「ツルツル路面对策の強化」（32.3%）、「その他の主要道路の除雪の強化」（30.3%）と続いています。

問 17 あなたは、冬場の生活環境について今後どのようなことに力を入れる必要があると思いますか。
(3つまで○印)



■「その他」の内容

- ・重機を所持している企業に、補助金を使って除雪をしてもらう
- ・カーブ、日陰などに砂まき
- ・荒天時の休校、出勤停止など、道路情報を早く連絡してもらえるシステムなどの環境整備
- ・除雪後のガタガタの軽減
- ・公住周りの排雪
- ・冬場の停電など災害等にそなえた暮らし方の推進（薪ストーブ、ポータブル電源、自家発電など）
- ・暖房費の助成
- ・臨機応変な除雪、無駄を減らす

男女別・年齢別の集計

○男女別でも「各家庭前の生活道路の除雪の強化」が最も多い状況です。

○年齢別でみると、18～29歳は「ツルツル路面对策の強化」、それ以外の年齢は「各家庭前の生活道路の除雪の強化」がそれぞれ最も多くなっています。また、「独居高齢者などへの福祉除雪などの充実」は年齢が高くなるにつれてその割合が高くなり、70歳以上は37.6%となっています。

(%)

		n	各家庭前の生活道路の除雪の強化	ツルツル路面对策の強化	その他の主要道路の除雪の強化	独居高齢者などへの福祉除雪などの充実	交差点や歩道の堆雪の緩和
全体		406	42.9	32.3	30.3	29.6	29.3
性別	男性	200	43.0	32.0	34.5	28.0	31.5
	女性	186	43.5	33.3	26.9	31.7	29.0
年齢	18～29歳	30	33.3	40.0	33.3	13.3	23.3
	30～39歳	47	44.7	34.0	31.9	17.0	29.8
	40～49歳	62	48.4	35.5	25.8	21.0	30.6
	50～59歳	67	35.8	35.8	25.4	35.8	32.8
	60～69歳	75	44.0	33.3	37.3	33.3	33.3
	70歳以上	109	46.8	29.4	31.2	37.6	28.4

		n	国道やバス路線など主要幹線道路の除雪の強化	吹雪対策の強化(通行不能の解消、スノーポールの充実など)	除雪ボランティアの促進	ロードヒーティングなどの整備	その他	無回答
全体		406	24.6	18.5	11.6	10.6	3.7	6.2
性別	男性	200	29.0	21.0	12.0	11.0	4.5	3.0
	女性	186	21.5	15.6	8.6	10.8	3.2	7.5
年齢	18～29歳	30	30.0	20.0	6.7	33.3	3.3	0.0
	30～39歳	47	23.4	34.0	0.0	6.4	10.6	2.1
	40～49歳	62	30.6	21.0	12.9	14.5	4.8	1.6
	50～59歳	67	20.9	22.4	6.0	13.4	6.0	3.0
	60～69歳	75	20.0	17.3	14.7	8.0	1.3	4.0
	70歳以上	109	26.6	9.2	16.5	5.5	0.9	11.0

※網掛け部は各分類の中で回答者が一番多い項目

居住地区別の集計

○居住地区別でみると、下金山地区及び幾寅地区は「各家庭前の生活道路の除雪の強化」、金山地区は「独居高齢者などへの福祉除雪などの充実」、落合地区は「独居高齢者などへの福祉除雪などの充実」及び「交差点や歩道の堆雪の緩和」が最も多くなっています。また、北落合地区は「吹雪対策の強化（通行不能の解消、スノーボールの充実など）」が60.0%で他の地区と比べて多くなっています。

(%)

	n	各家庭前の生活道路の除雪の強化	ツルツル路面対策の強化	その他の主要道路の除雪の強化	独居高齢者などへの福祉除雪などの充実	交差点や歩道の堆雪の緩和
全体	406	42.9	32.3	30.3	29.6	29.3
居住地区						
下金山地区	35	57.1	25.7	25.7	31.4	20.0
金山地区	29	34.5	24.1	20.7	41.4	24.1
幾寅地区	288	45.1	36.1	33.3	28.5	32.6
落合地区	27	25.9	25.9	18.5	29.6	29.6
北落合地区	15	26.7	20.0	20.0	40.0	13.3

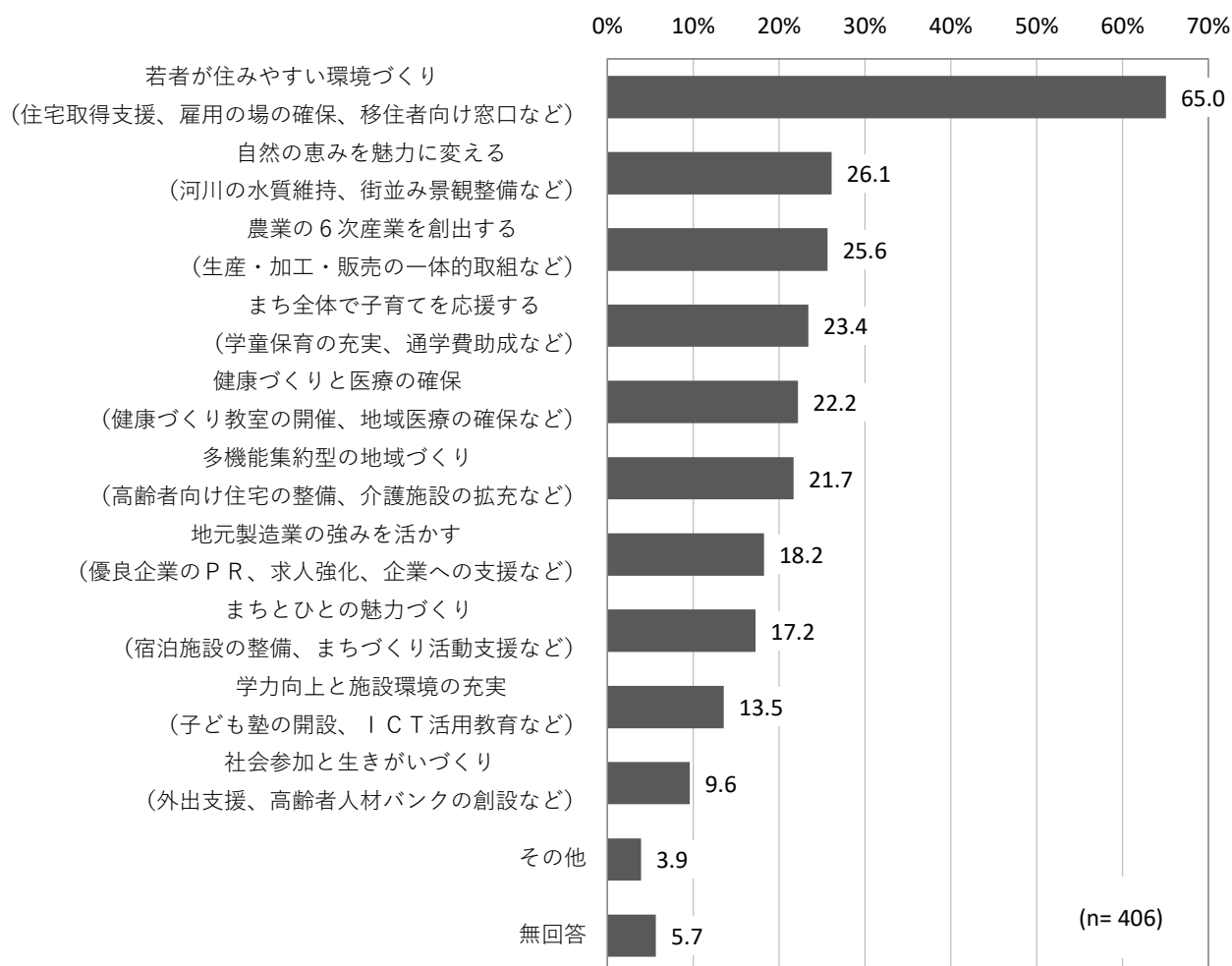
	n	国道やバス路線など主要幹線道路の除雪の強化	吹雪対策の強化（通行不能の解消、スノーボールの充実など）	除雪ボランティアの促進	ロードヒーティングなどの整備	その他	無回答
全体	406	24.6	18.5	11.6	10.6	3.7	6.2
居住地区							
下金山地区	35	20.0	8.6	20.0	11.4	2.9	11.4
金山地区	29	24.1	10.3	6.9	3.4	10.3	10.3
幾寅地区	288	26.0	18.1	10.4	12.2	2.4	3.5
落合地区	27	25.9	14.8	14.8	3.7	11.1	11.1
北落合地区	15	13.3	60.0	13.3	13.3	6.7	6.7

※網掛け部は各分類の中で回答者が一番多い項目

(9) 今後のまちづくりのために力を入れるべきこと

今後のまちづくりのために力を注ぐべきことは、「若者が住みやすい環境づくり（住宅取得支援、雇用の場の確保、移住者向け窓口など）」が65.0%で突出しており、今後のまちづくりの上でも注力していくことが求められてると考えられます。

問 18 南富良野町に住み続けたい、移り住みたいと思えるような、特色を活かしたまちづくりを進めるためには、今後どのようなことに力を注ぐべきと考えますか。（3つまで〇印）



■「その他」の内容

- ・ 体育館、カーリング場、スキー場の整備
- ・ 雇用の場を増やす
- ・ 水がおいしいので酒造企業の誘致
- ・ 役場職員に意見が言える環境を
- ・ 病院、買い物で他市に行かなくてもいいこと。日用品、食材等が揃った店の建設
- ・ ユニクロ、イオン、生鮮市場、ツルハがほしい
- ・ 多様な働き方（職業）が共存できるまちづくり
- ・ 移住者の多い他市町村の取組み策を勉強する
- ・ 日本で1つしかない学校や会社を作る

男女別・年齢別の集計

○男女別でも「若者が住みやすい環境づくり（住宅取得支援、雇用の場の確保、移住者向け窓口など）」が突出しており、男女ともに60%を超えている状況です。

○年齢別でも「若者が住みやすい環境づくり（住宅取得支援、雇用の場の確保、移住者向け窓口など）」が最も多く、特に60～69歳はその割合が81.3%と非常に高くなっています。

○また、子育て世代の中心的年代である30～49歳は「まち全体で子育てを応援する（学童保育の充実、通学費助成など）」が30%を超えており、他の年齢よりも高くなっています。

(%)

		n	若者が住みやすい環境づくり (住宅取得支援、雇用の場の確保、移住者向け窓口など)	自然の恵みを魅力に変える (河川の水質維持、街並み景観整備など)	農業の6次産業を創出する (生産・加工・販売の一体的取組など)	まち全体で子育てを応援する (学童保育の充実、通学費助成など)	健康づくりと医療の確保 (健康づくり教室の開催、地域医療の確保など)	多機能集約型の地域づくり (高齢者向け住宅の整備、介護施設の拡充など)
全体		406	65.0	26.1	25.6	23.4	22.2	21.7
性別	男性	30	69.0	29.5	27.0	24.5	20.0	20.5
	女性	47	63.4	23.7	24.2	23.1	25.3	23.1
年齢	18～29 歳	62	56.7	40.0	10.0	13.3	10.0	10.0
	30～39 歳	67	68.1	34.0	17.0	42.6	19.1	6.4
	40～49 歳	75	67.7	25.8	27.4	37.1	14.5	14.5
	50～59 歳	109	64.2	37.3	23.9	23.9	19.4	23.9
	60～69 歳	406	81.3	22.7	24.0	17.3	25.3	32.0
	70 歳以上	30	56.9	16.5	37.6	13.8	30.3	29.4

		n	地元製造業の強みを活かす (優良企業のPR、求人強化、企業への支援など)	まちとひとの魅力づくり (宿泊施設の整備、まちづくり活動支援など)	学力向上と施設環境の充実 (子ども塾の開設、ICT活用教育など)	社会参加と生きがいづくり (外出支援、高齢者人材バンクの創設など)	その他	無回答
全体		406	18.2	17.2	13.5	9.6	3.9	5.7
性別	男性	30	21.5	21.0	12.5	8.5	4.5	3.0
	女性	47	14.5	12.4	15.6	10.2	3.8	6.5
年齢	18～29 歳	62	23.3	33.3	20.0	0.0	3.3	3.3
	30～39 歳	67	19.1	17.0	34.0	4.3	8.5	2.1
	40～49 歳	75	25.8	30.6	14.5	4.8	6.5	1.6
	50～59 歳	109	16.4	14.9	9.0	7.5	4.5	6.0
	60～69 歳	406	18.7	10.7	8.0	14.7	1.3	4.0
	70 歳以上	30	13.8	10.1	9.2	14.7	1.8	7.3

※網掛け部は各分類の中で回答者が一番多い項目

居住地区別の集計

○居住地区別でも「若者が住みやすい環境づくり（住宅取得支援、雇用の場の確保、移住者向け窓口など）」が突出している状況です。また、北落合地区は「自然の恵みを魅力に変える（河川の水質維持、街並み景観整備など）」が40.0%で他の地区と比べて高い割合になっています。

(%)

		n	若者が住みやすい環境づくり (住宅取得支援、雇用の場の確保、移住者向け窓口など)	自然の恵みを魅力に変える (河川の水質維持、街並み景観整備など)	農業の6次産業を創出する (生産・加工・販売の一体的取組など)	まち全体で子育てを応援する (学童保育の充実、通学費助成など)	健康づくりと医療の確保 (健康づくり教室の開催、地域医療の確保など)	多機能集約型の地域づくり (高齢者向け住宅の整備、介護施設の拡充など)
全体		406	65.0	26.1	25.6	23.4	22.2	21.7
居住地区	下金山地区	35	60.0	22.9	45.7	20.0	14.3	34.3
	金山地区	29	58.6	24.1	27.6	24.1	6.9	27.6
	幾寅地区	288	67.4	26.0	22.6	22.6	26.0	20.1
	落合地区	27	59.3	25.9	29.6	29.6	18.5	14.8
	北落合地区	15	53.3	40.0	46.7	26.7	0.0	33.3

		n	地元製造業の強みを活かす (優良企業のPR、求人強化、企業への支援など)	まちとひとの魅力づくり (宿泊施設の整備、まちづくり活動支援など)	学力向上と施設環境の充実 (子ども塾の開設、ICT活用教育など)	社会参加と生きがいのづくり (外出支援、高齢者人材バンクの創設など)	その他	無回答
全体		406	18.2	17.2	13.5	9.6	3.9	5.7
居住地区	下金山地区	35	11.4	14.3	11.4	11.4	5.7	2.9
	金山地区	29	17.2	20.7	13.8	3.4	3.4	10.3
	幾寅地区	288	19.4	17.7	14.6	10.8	3.5	4.5
	落合地区	27	14.8	14.8	14.8	0.0	7.4	11.1
	北落合地区	15	26.7	6.7	6.7	13.3	0.0	0.0

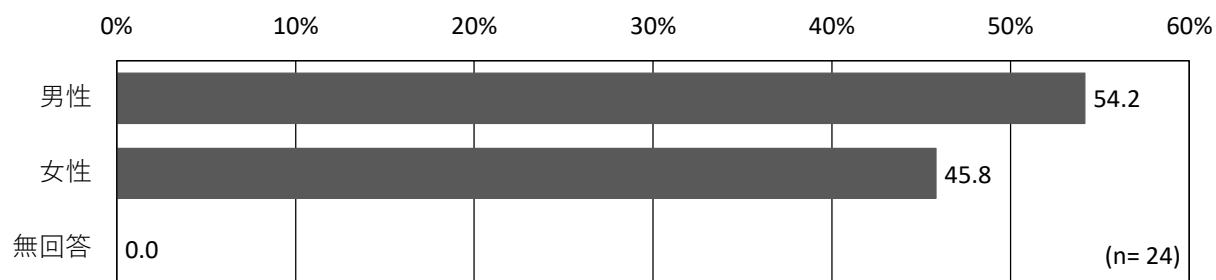
※網掛け部は各分類の中で回答者が一番多い項目

第3章 中学生向けアンケート集計結果

1. 回答者の属性

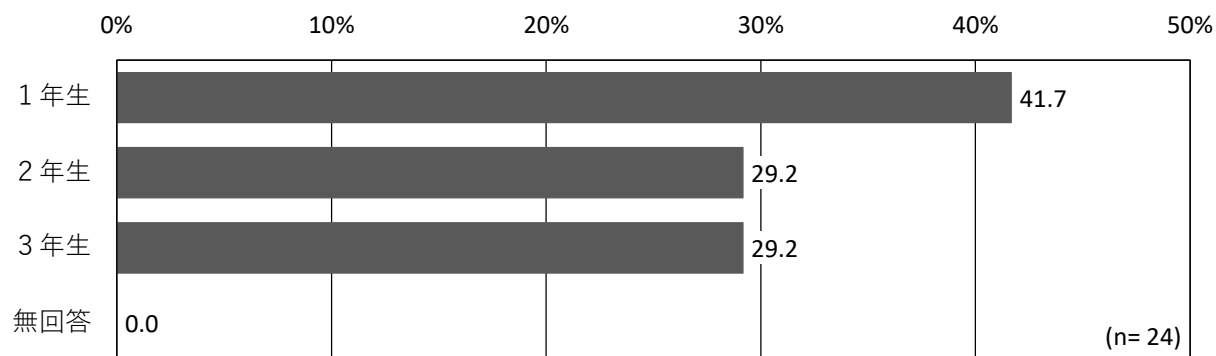
(1) 回答者の性別

回答者の性別は「男性」が54.2%、「女性」が45.8%となっています。



(2) 回答者の学年

回答者の学年は1年生が41.7%、2年生、3年生が29.2%となっています。



2. 愛着度と定住意向

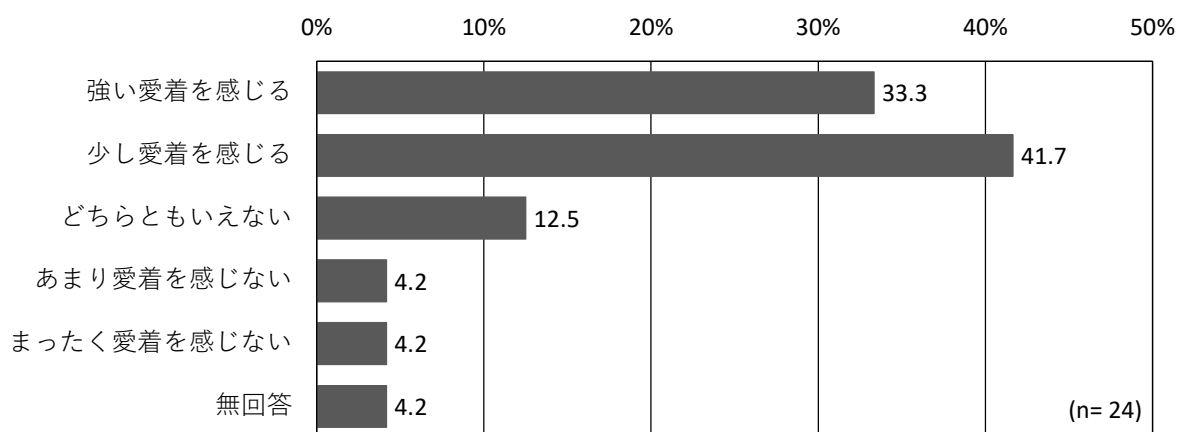
(1) 南富良野町への愛着度

南富良野町への愛着度は、「強い愛着を感じる」(33.3%)と「少し愛着を感じる」(41.7%)の合計が75.0%で一般向けアンケート調査結果(68.0%)と比べて7.0ポイント高くなっています。

一方、「あまり愛着を感じない」(4.2%)と「まったく愛着を感じない」(4.2%)の合計は8.4%で、一般向けアンケート調査結果(12.3%)と比べて愛着を感じていない人の割合は3.9ポイント低い状況です。

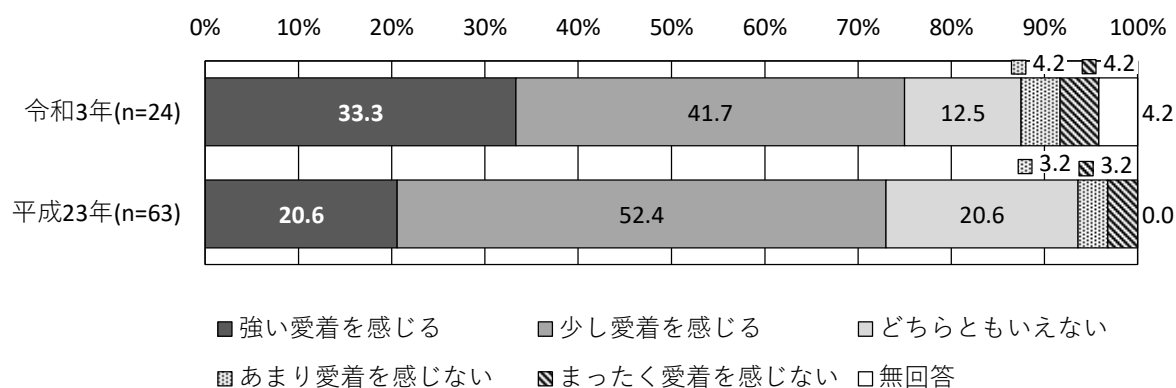
問1 あなたは、南富良野町に「自分のまち」としての愛着をどの程度感じていますか。

(1つに○印)



過去の調査との比較

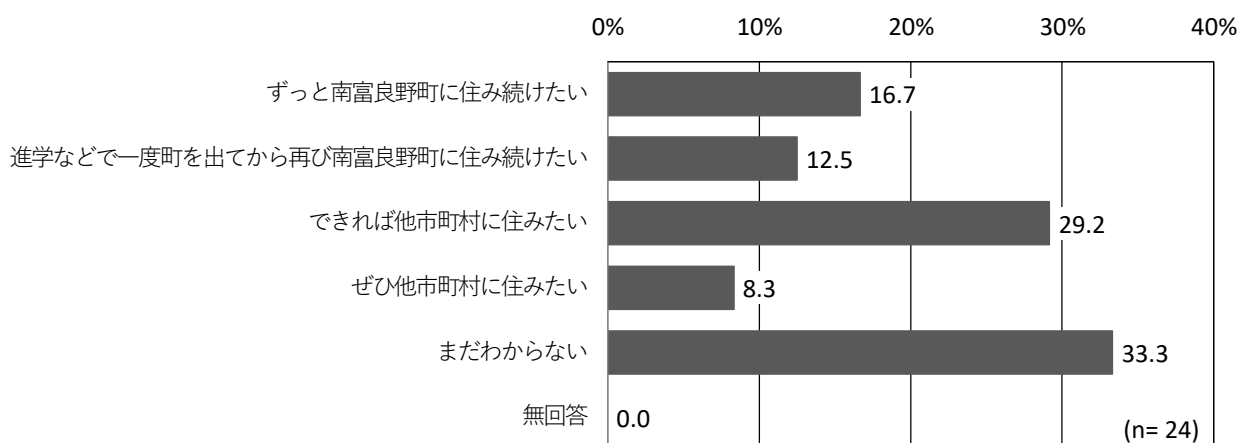
○「強い愛着を感じる」「少し愛着を感じる」の合計でみると、平成23年調査と今回調査で大きな差異はみられませんが、今回調査は「強い愛着を感じる」が33.3%で平成23年調査よりも12.7ポイント高くなっています。



(2) 今後の定住意向

今後の南富良野町への定住意向は、転出意向のある生徒（「できれば他市町村に住みたい」「ぜひ他市町村に住みたい」の合計割合）が37.5%となっており、定住意向のある生徒（「ずっと南富良野町に住みたい」「進学などで一度町を出てから再び南富良野町に住みたい」の合計割合）の29.2%を上回っている状況です。

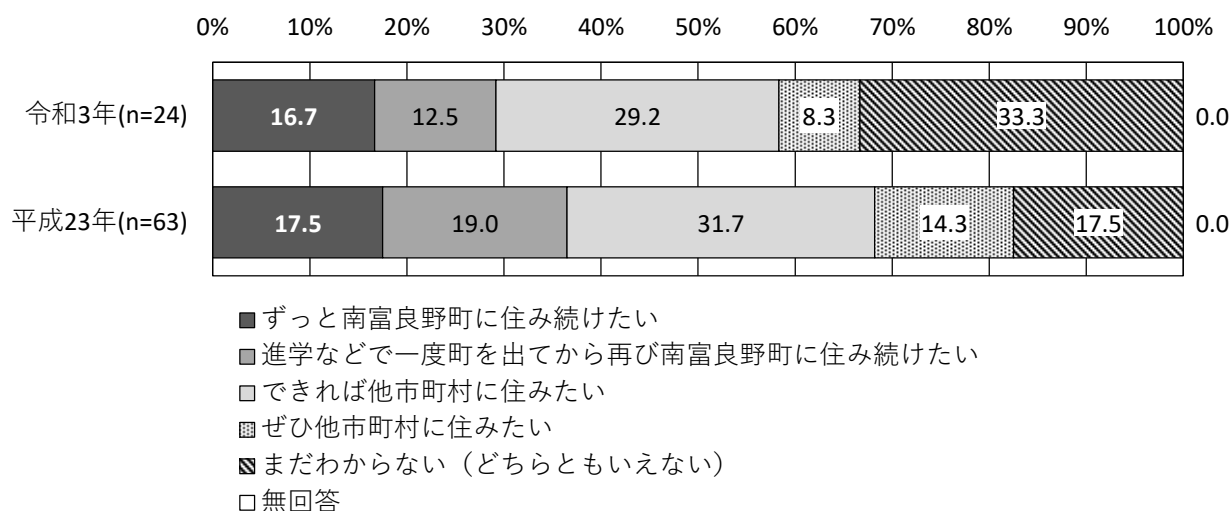
問2 あなたは、これからも南富良野町に住みたいと思いますか。（1つに○印）



過去の調査との比較

○「ずっと南富良野町に住みたい」「進学などで一度町を出てから再び富良野町に住みたい」の合計をみると、平成23年調査の36.5%から今回調査では29.2%と7.3ポイント減少しています。

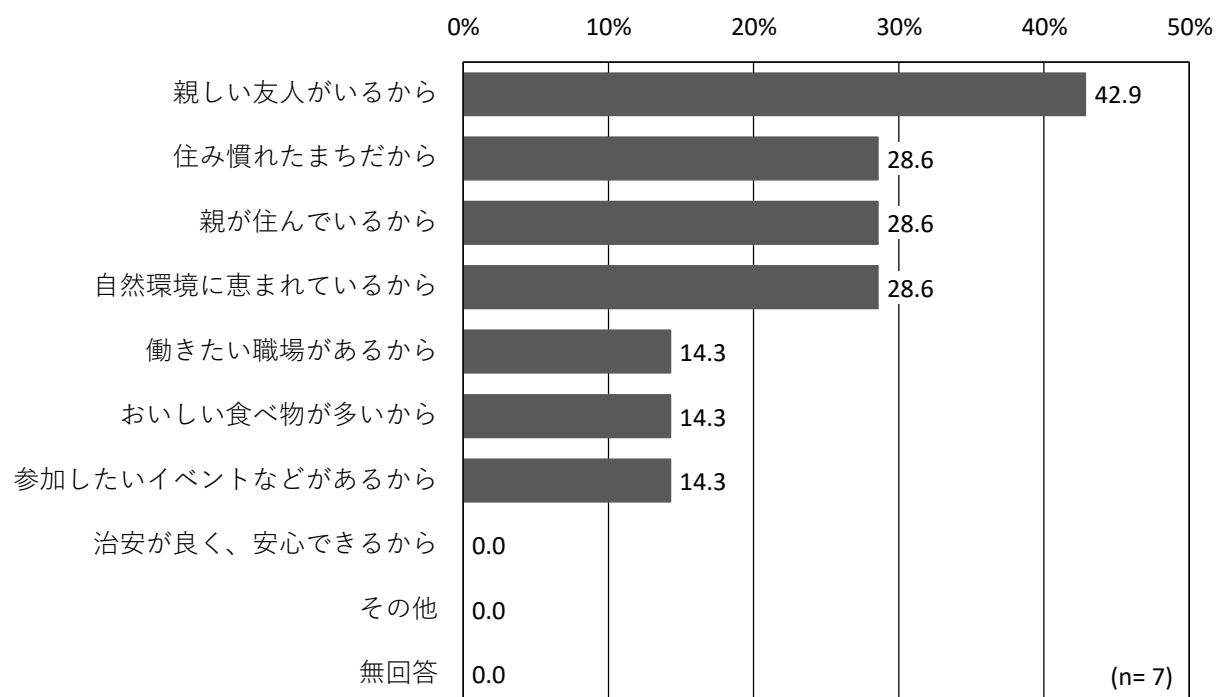
○一方、「ぜひ他市町村に住みたい」は平成23年調査の14.3%から6.0ポイント減少し、今回調査は8.3%となっています。



(3) 南富良野町に住み続けたい理由

今後も南富良野町に住みたいと思うかどうかの設問で「ずっと南富良野町に住み続けたい」「進学などで一度町を出てから再び南富良野町に住み続けたい」と回答した生徒にその理由をたずねたところ、「親しい友人がいるから」が42.9%で最も多く、次いで「住み慣れたまちだから」「親が住んでいるから」「自然環境に恵まれているから」（いずれも28.6%）が続いています。

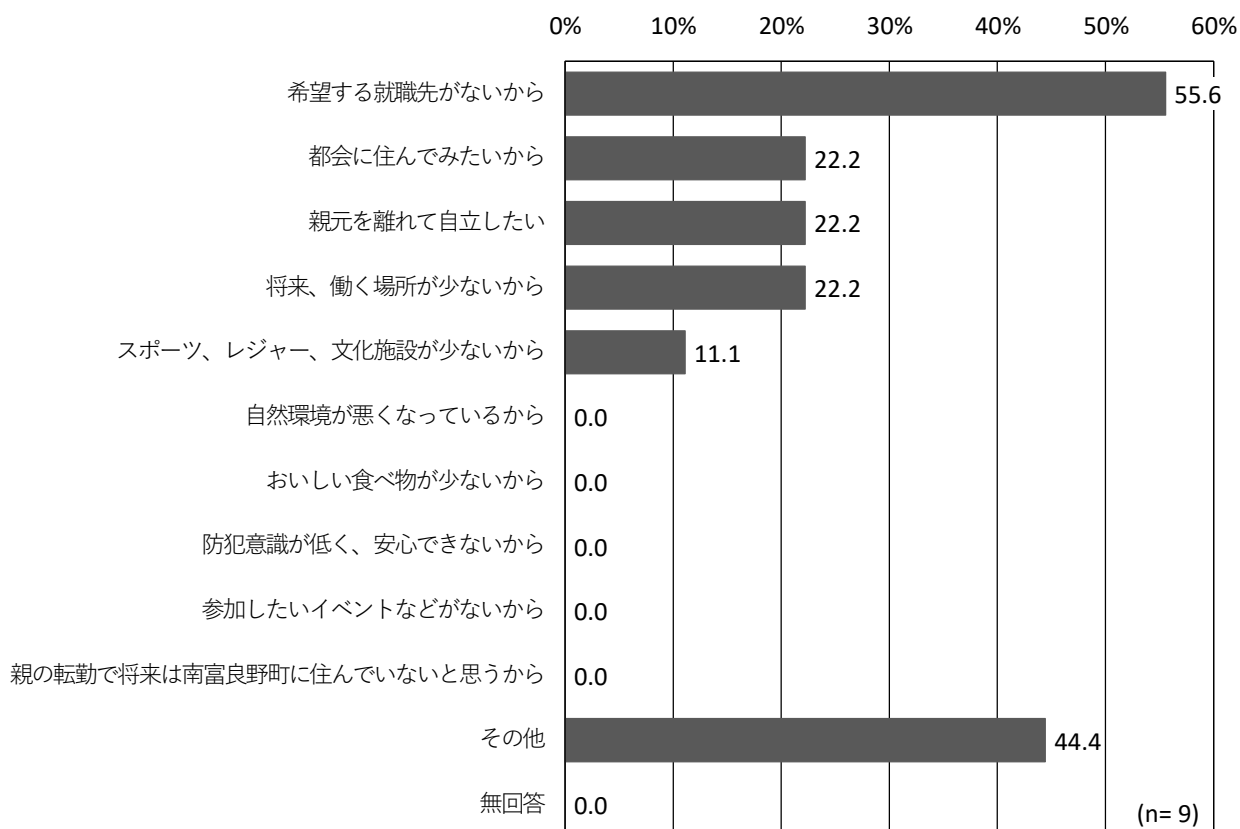
問2-1 南富良野町に住み続けたい主な理由は何ですか。（2つまで〇印）



（４）他の市町村に住みたい理由

今後も南富良野町に住みたいと思うかどうかの設問で「できれば他市町村に住みたい」「ぜひ他市町村に住みたい」と回答した生徒にその理由をたずねたところ、「希望する就職先がないから」が55.6%で最も多く、次いで「都会に住んでみたいから」「親元を離れて自立したい」「将来、働く場所が少ないから」がいずれも22.2%で続いている状況です。

問2-2 他の市町村に住みたい主な理由は何ですか。（2つまで○印）



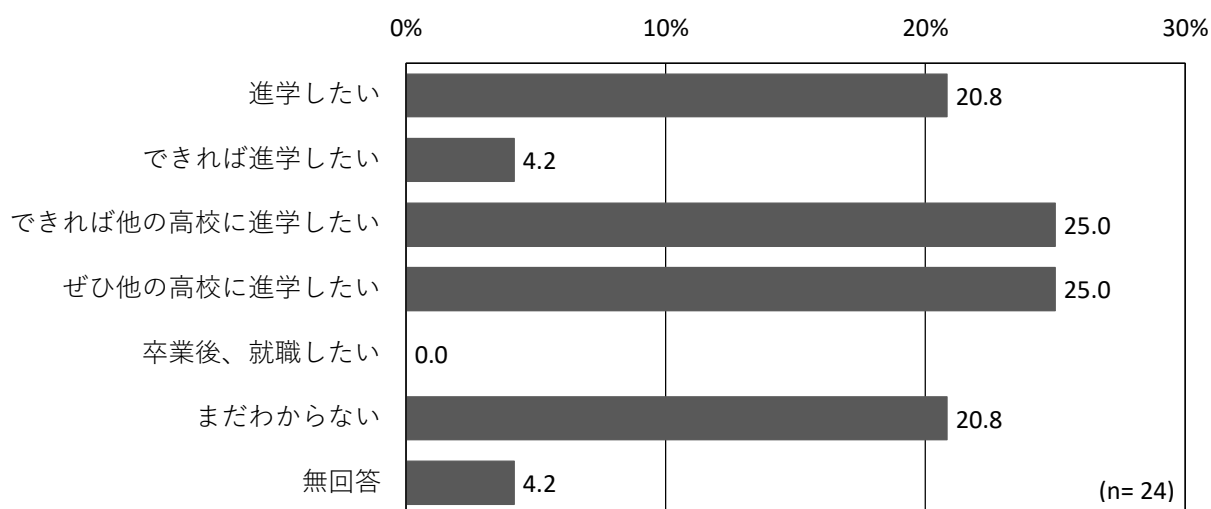
■「その他」の内容

- ・なりたい職業上。この町だと視野がせますぎるから
- ・いろんな地域に住んでみたいから
- ・地元以外にも興味があるから

(5) 南富良野高等学校への進学意向

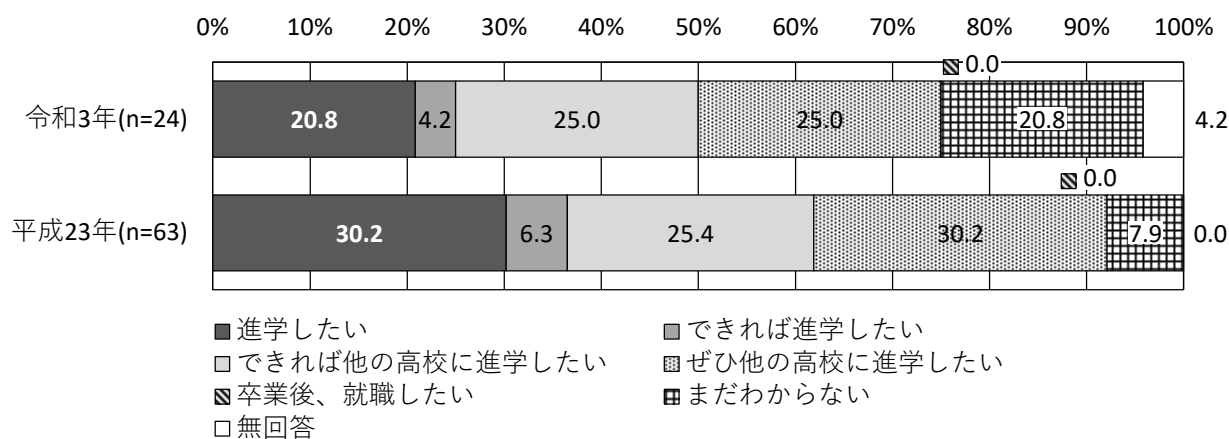
南富良野高等学校への進学意向は、「進学したい」「できれば進学したい」の合計が25.0%となっている一方、「できれば他の高校に進学したい」「ぜひほかの高校に進学したい」の合計が50.0%の状況です。

問3 あなたは、中学校卒業後、南富良野高等学校に進学したいですか。（1つに○印）



過去の調査との比較

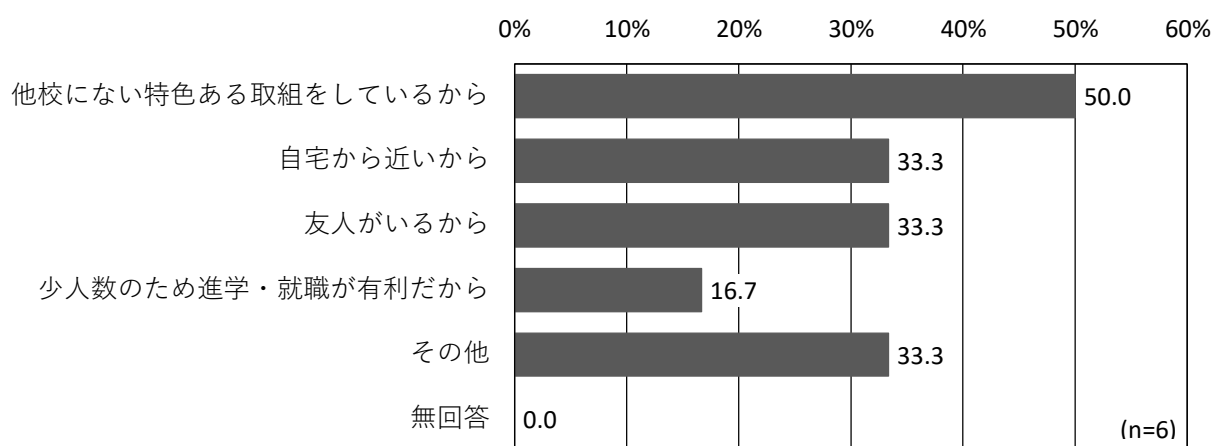
○「進学したい」「できれば進学したい」の合計をみると、平成23年調査は36.5%でしたが今回調査は25.0%で11.5ポイント減少している状況です。



(6) 南富良野高等学校に進学したい理由

南富良野高等学校に「進学したい」「できれば進学したい」と回答した生徒にその理由をたずねたところ、「他校にない特色ある取組をしているから」が50.0%で最も多く、次いで「自宅から近いから」「友人がいるから」「その他」がともに33.3%が続いています。

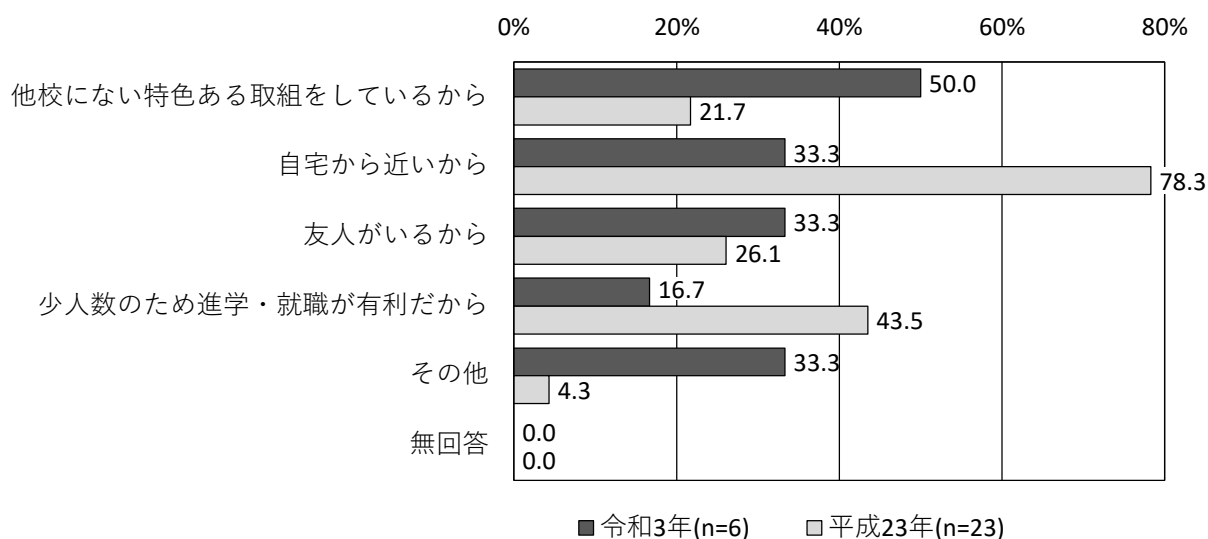
問3-1 南富良野高等学校に進学したい理由は何ですか。(2つまで○印)



■「その他」の内容
 ・地元で働きたいから
 ・公立高校唯一のカーリング部があるから

過去の調査との比較

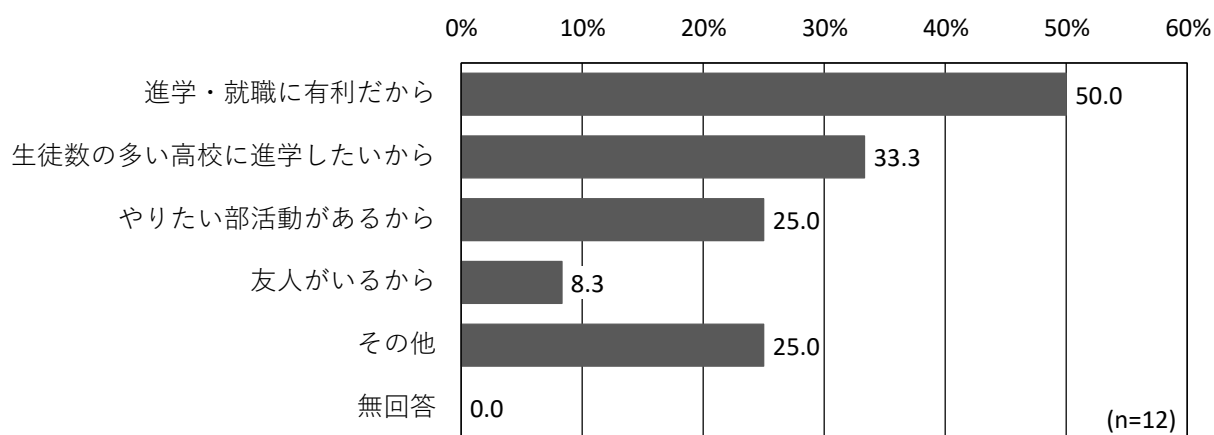
○平成23年調査では「自宅から近いから」が78.3%を占めていましたが、今回調査ではその割合が33.3%と低く、「他校にない特色ある取組をしているから」が50.0%で最も多くなっています。



(7) 他の高校に進学したい理由

「できれば他の高校に進学したい」「ぜひほかの高校に進学したい」と回答した生徒にその理由をたずねたところ、「進学・就職に有利だから」が50.0%で最も多く、次いで「生徒数の多い高校に進学したいから」(33.3%)が続いています。

問3-2 他の高校に進学したい理由は何ですか。(2つまで○印)

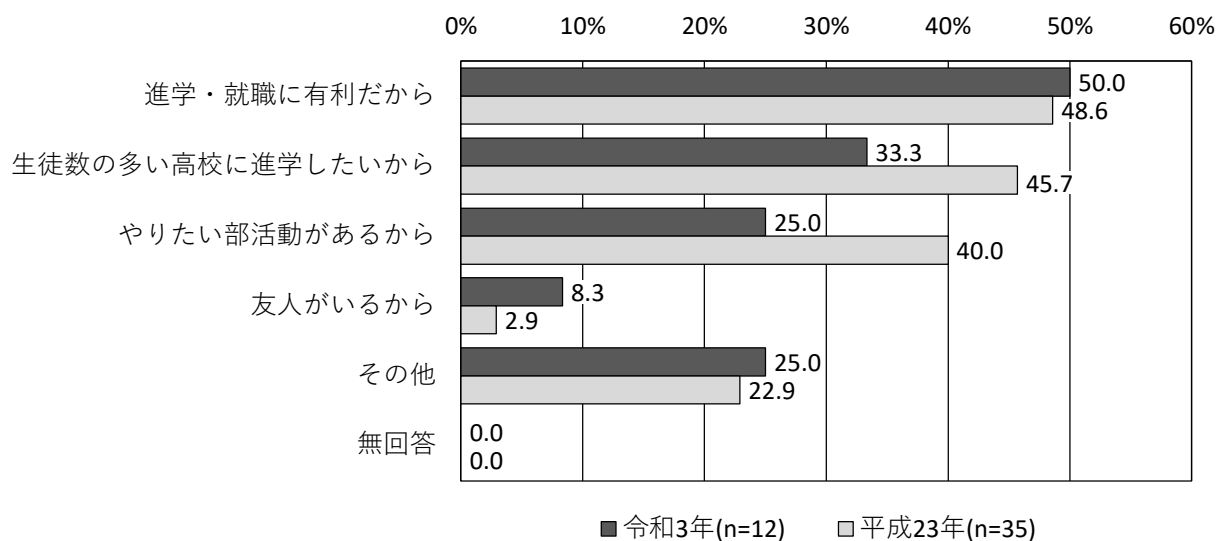


■「その他」の内容

- ・他の町も見たいから
- ・そこで学べるものが、将来につながってくるから。

過去の調査との比較

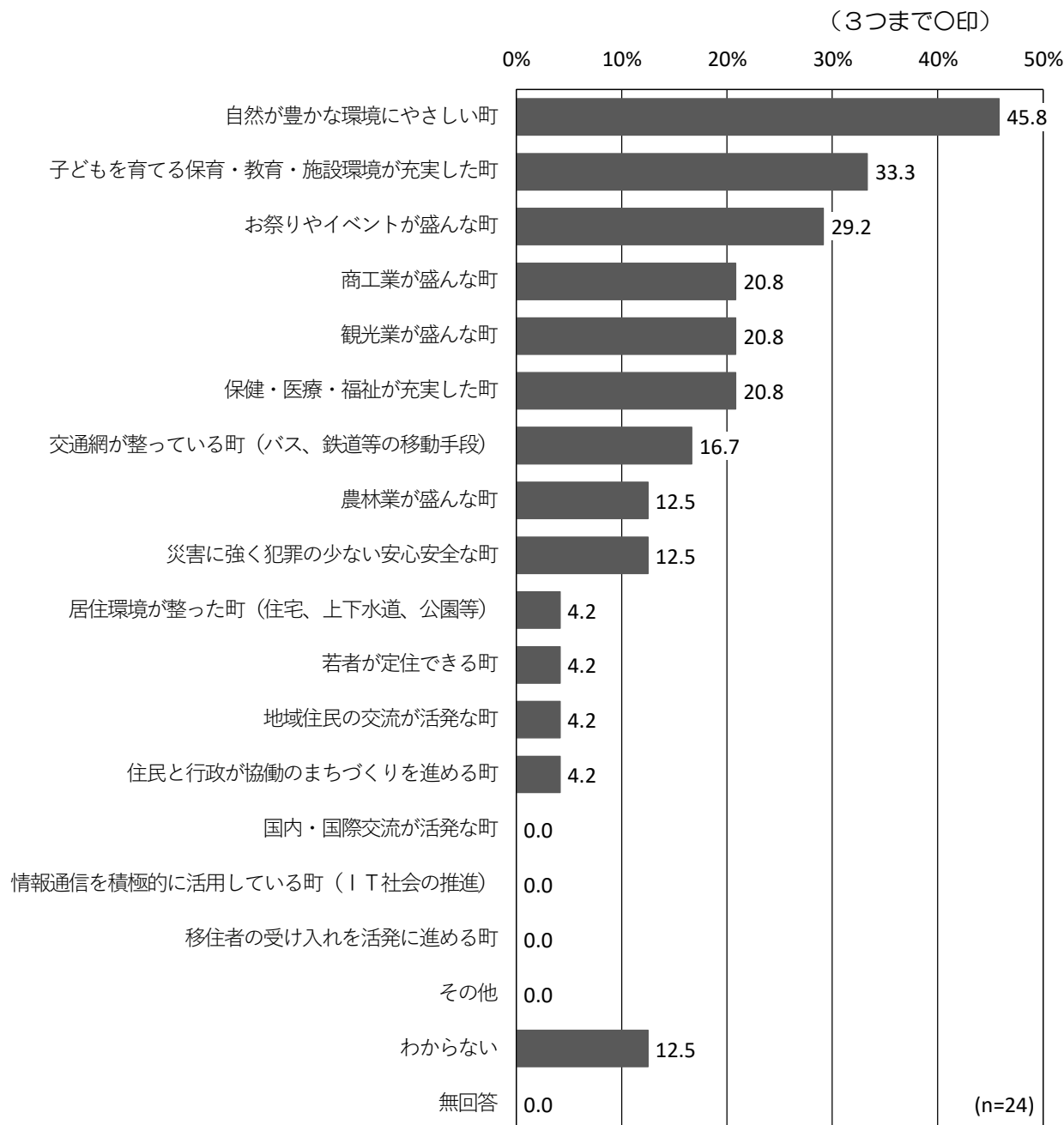
○平成23年調査においても「進学・就職に有利だから」が最も多く、今回調査でもその割合に大きな差異はない状況です。



3. 将来に希望する南富良野町の姿

将来に希望する南富良野町の姿は「自然が豊かな環境にやさしい町」が45.8%で突出しており、次いで「子どもを育てる保育・教育・施設環境が充実した町」（33.3%）、「お祭りやイベントが盛んな町」（29.2%）が続いています。

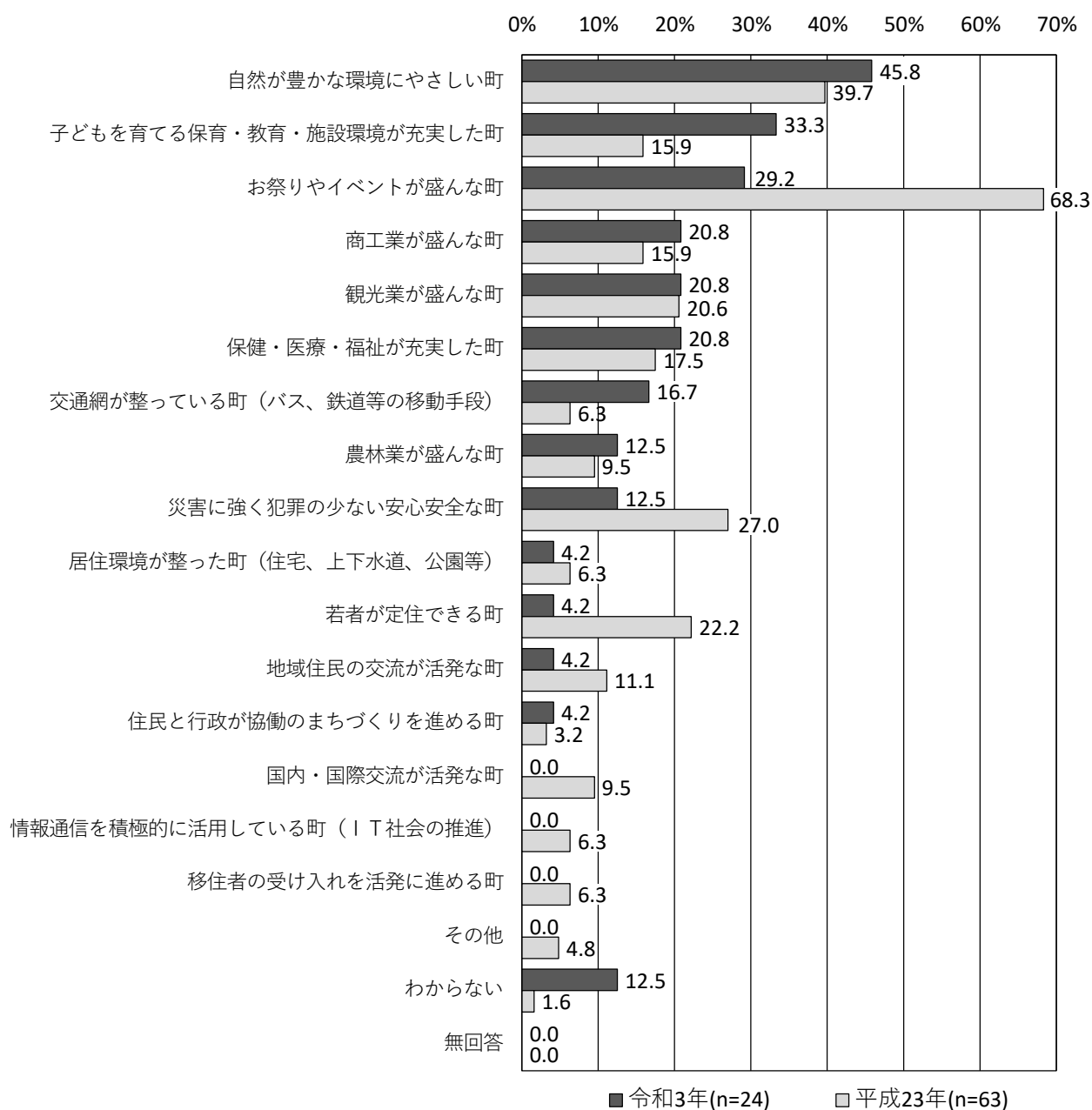
問4 あなたが大人になったとき、南富良野町がどんなまちになっていたら良いと思いますか。



過去の調査との比較

○平成23年調査では「お祭りやイベントが盛んな町」が68.3%で突出していましたが、今回調査ではその割合は29.2%にとどまり、「自然が豊かな環境にやさしい町」が45.8%で最も多くなっています。

○今回調査では「子どもを育てる保育・教育・施設環境が充実した町」が33.3%で平成23年調査と比べて17.4ポイント増加しています。

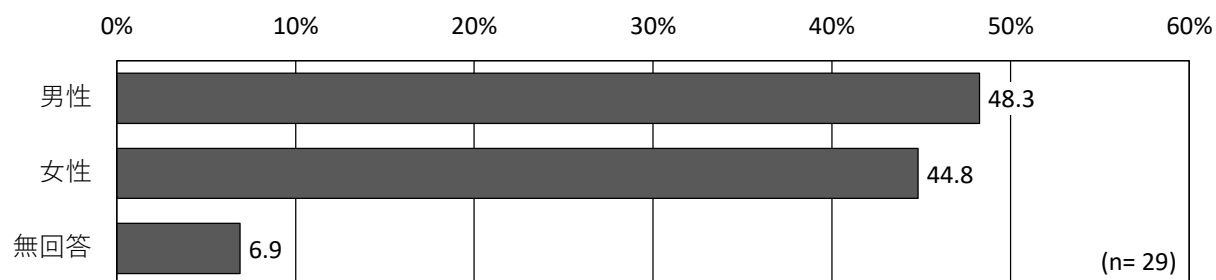


第4章 高校生向けアンケート集計結果

1. 回答者の属性

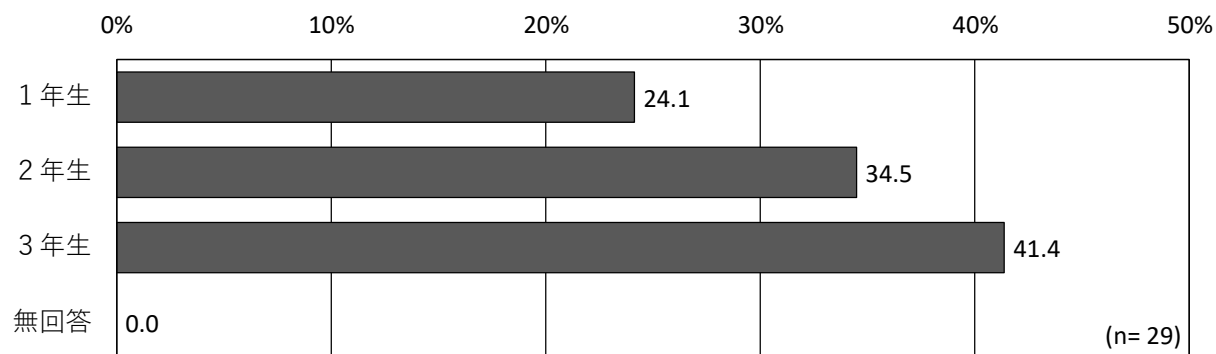
(1) 回答者の性別

回答者の性別は「男性」が48.3%、「女性」が44.8%となっています。



(2) 回答者の学年

回答者の学年は1年生が24.1%、2年生が34.5%、3年生が41.4%となっています。



2. 愛着度と定住意向

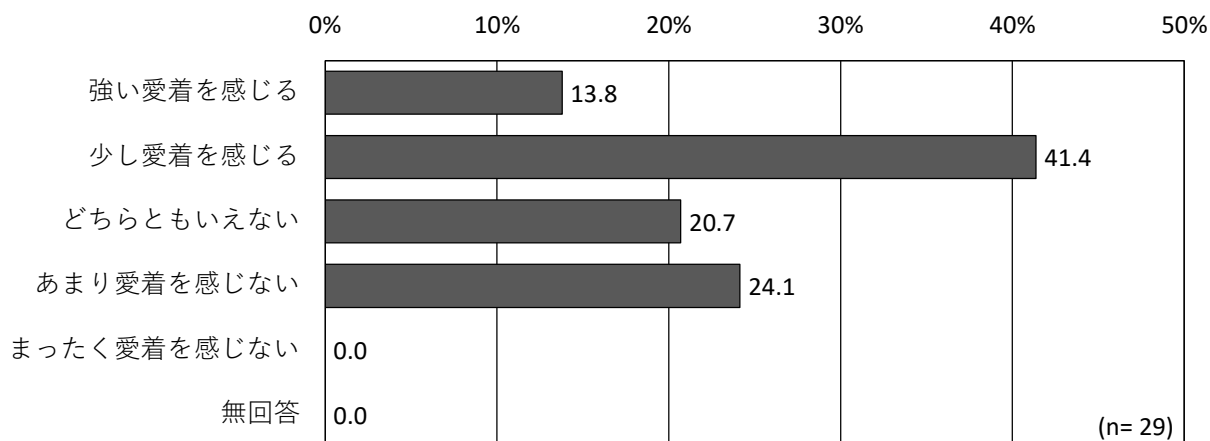
(1) 南富良野町への愛着度

南富良野町への愛着度は、「強い愛着を感じる」(13.8%)と「少し愛着を感じる」(41.4%)の合計が55.2%となっており、一般向けアンケート調査結果の68.0%と比べて12.8ポイント低くなっています。

一方、「あまり愛着を感じない」(24.1%)と「まったく愛着を感じない」(0.0%)の合計は24.1%で、一般向けアンケート調査結果の12.3%と比べて11.8ポイント高くなっています。

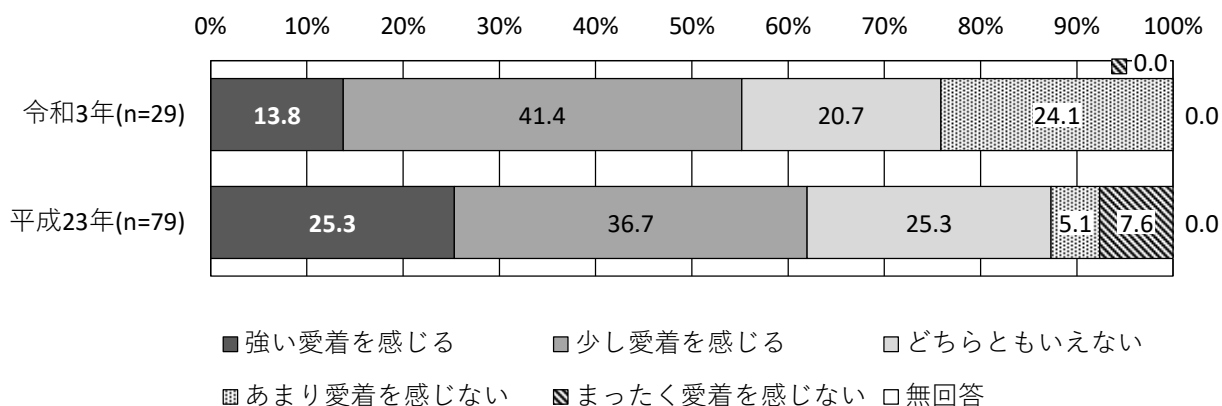
問1 あなたは、南富良野町に「自分のまち」としての愛着をどの程度感じていますか。

(1つに○印)



過去の調査との比較

○「強い愛着を感じる」「少し愛着を感じる」の合計を比べると、平成23年調査の62.0%に対し今回調査は55.2%で6.8ポイント減少しています。一方、「あまり愛着を感じない」「まったく愛着を感じない」の合計は平成23年調査の12.7%から11.4ポイント増加して今回調査では24.1%となっており、愛着度が減少していることがうかがえます。

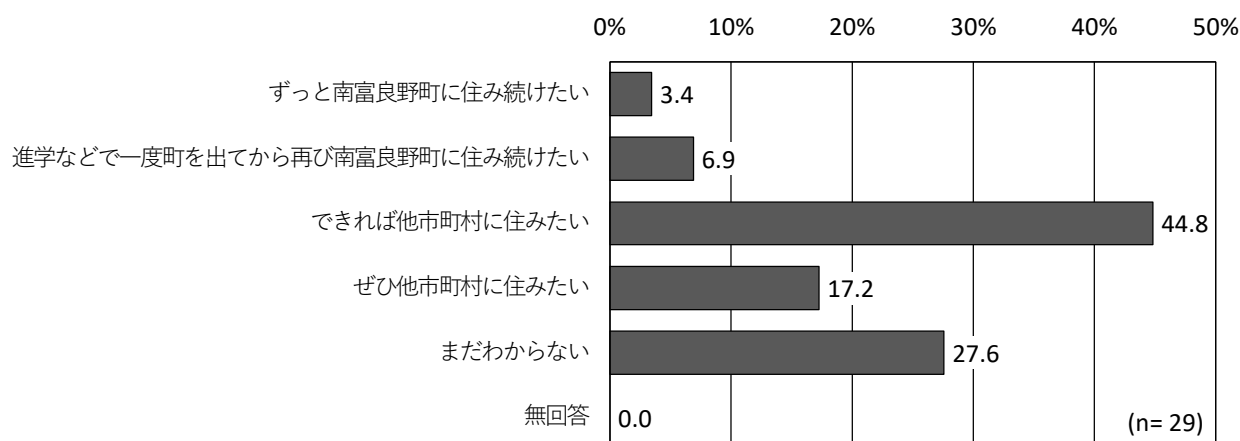


(2) 今後の定住意向

今後の南富良野への定住意向は、「できれば他市町村に住みたい」が44.8%で最も多く、次いで「まだわからない」(27.6%)、「ぜひ他市町村に住みたい」(17.2%)と続いています。

一方、「ずっと南富良野町に住み続けたい」は3.4%、「進学などで一度町を出てから再び南富良野町に住み続けたい」は6.9%にとどまっており、南富良野町への定住意向は低いと考えられます。

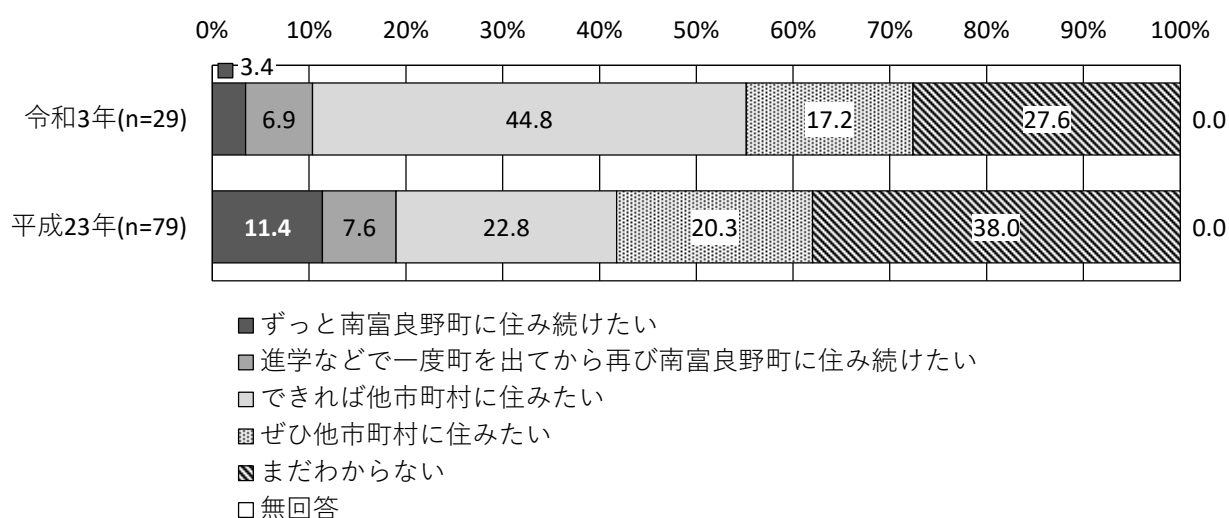
問2 あなたは、これからも南富良野町に住みたいと思いますか。(1つに○印)



過去の調査との比較

○「ずっと南富良野町に住み続けたい」「進学などで一度町を出てから再び南富良野町に住み続けたい」の合計をみると、平成23年調査の19.0%から8.7ポイント減少し、今回調査は10.3%となっています。

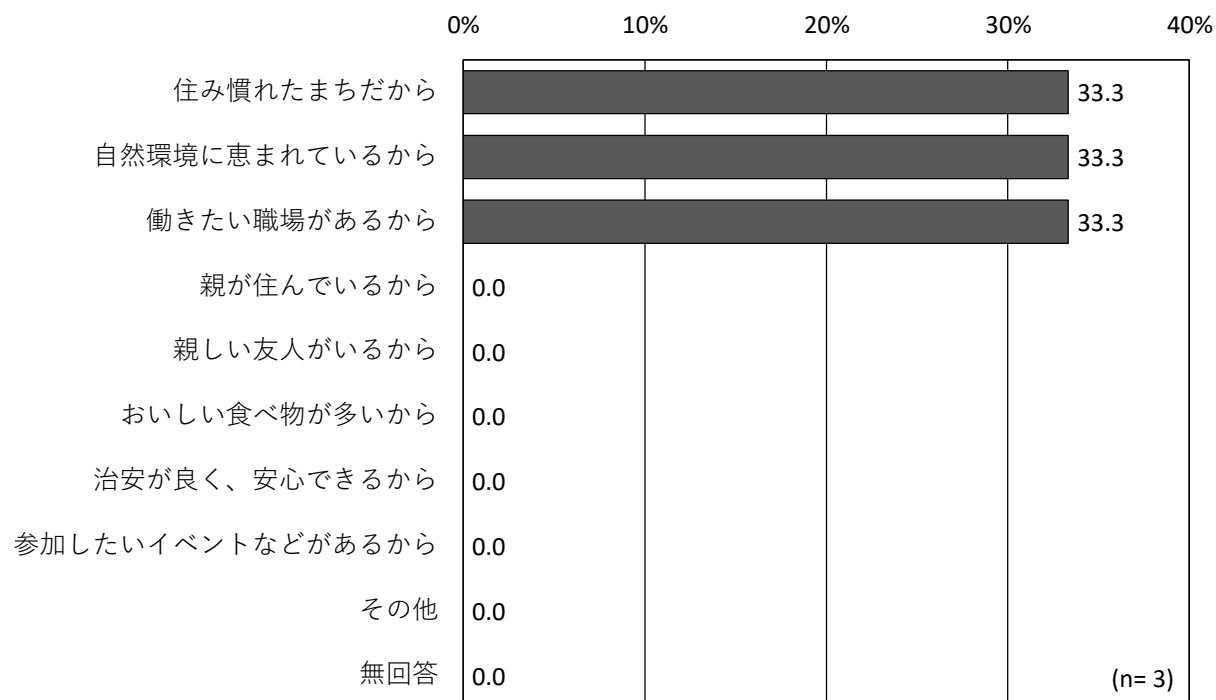
○一方、「できれば他市町村に住みたい」「ぜひ他市町村に住みたい」の合計は平成23年調査の43.1%から18.9ポイント増加し、今回調査では62.0%となっています。



(3) 南富良野町に住み続けたい理由

今後も南富良野町に住みたいと思うかどうかの設問で「ずっと南富良野町に住み続けたい」「進学などで一度町を出てから再び南富良野町に住み続けたい」と回答した生徒3人にその理由をたずねたところ、「住み慣れたまちだから」「自然環境に恵まれているから」「働きたい職場があるから」にそれぞれ1名ずつ回答がありました。

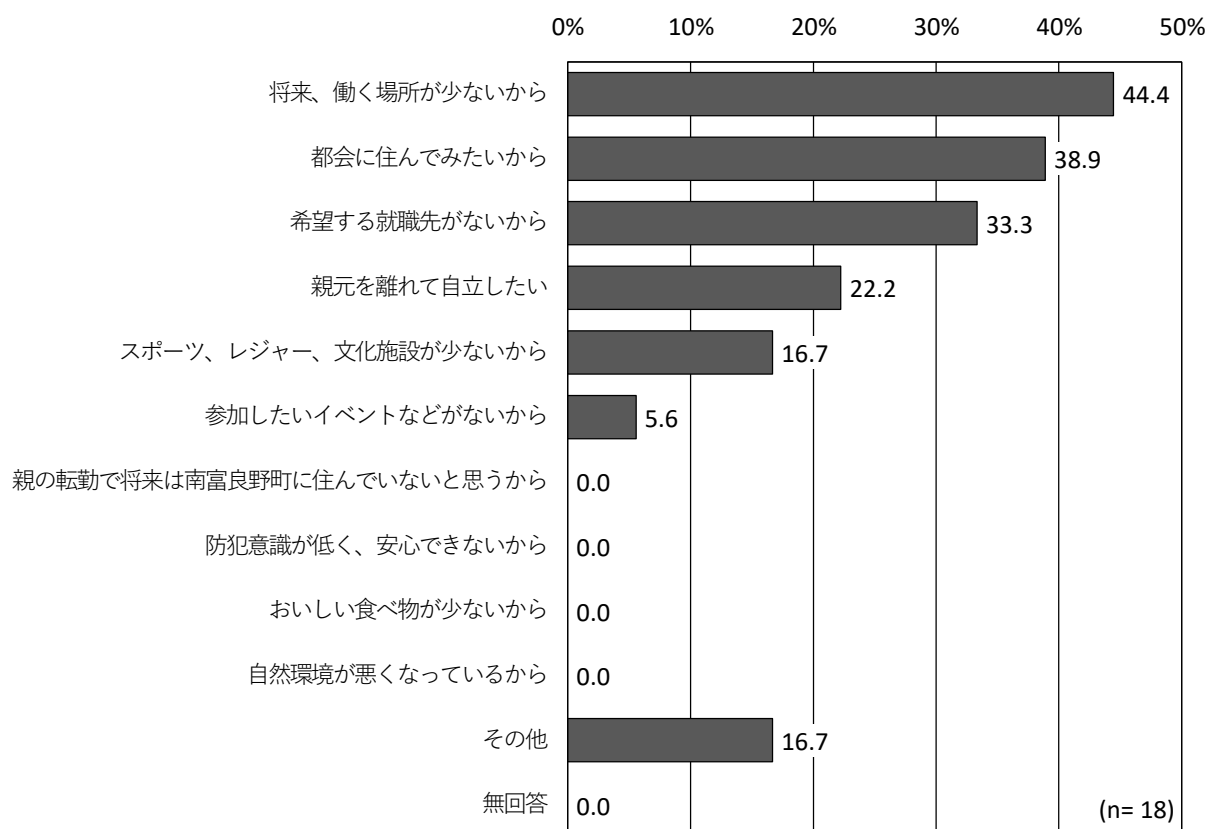
問2-1 南富良野町に住み続けたい主な理由は何ですか。(2つまで○印)



（４）他の市町村に住みたい理由

今後も南富良野町に住みたいと思うかどうかの設問で「できれば他市町村に住みたい」「ぜひ他市町村に住みたい」と回答した生徒にその理由をたずねたところ、「将来、働く場所が少ないから」が44.4%で最も多く、次いで「都会に住んでみたいから」（38.9%）、「希望する就職先がないから」（33.3%）が続いています。

問2-2 他の市町村に住みたい主な理由は何ですか。（2つまで○印）



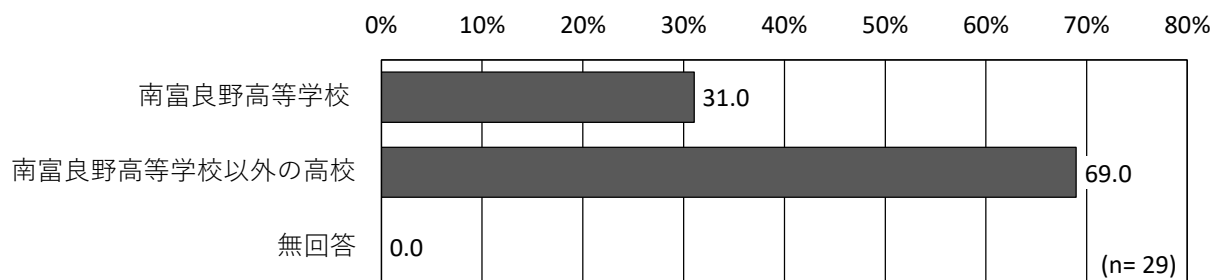
■「その他」の内容

- ・いい加減な人が多いから
- ・勉強したい事やつきたい仕事がないから
- ・そこまでの魅力をまだあまり感じられないから
- ・将来、海外で活動する予定だから。

(5) 現在通学している高校

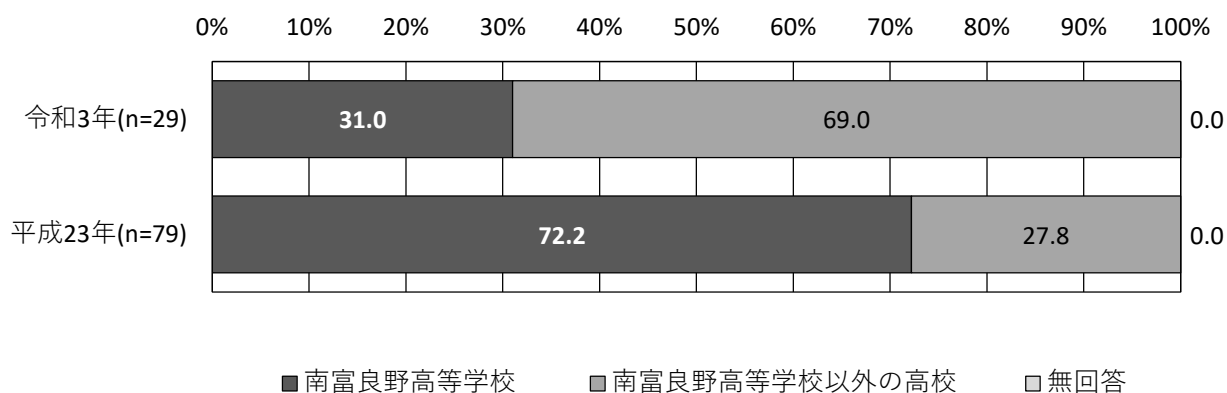
現在通学している高校は、「南富良野高等学校」が31.0%、「南富良野高等学校以外の高校」が69.0%となっています。

問3 あなたが現在通学している高校をお答えください。（1つに○印）



過去の調査との比較

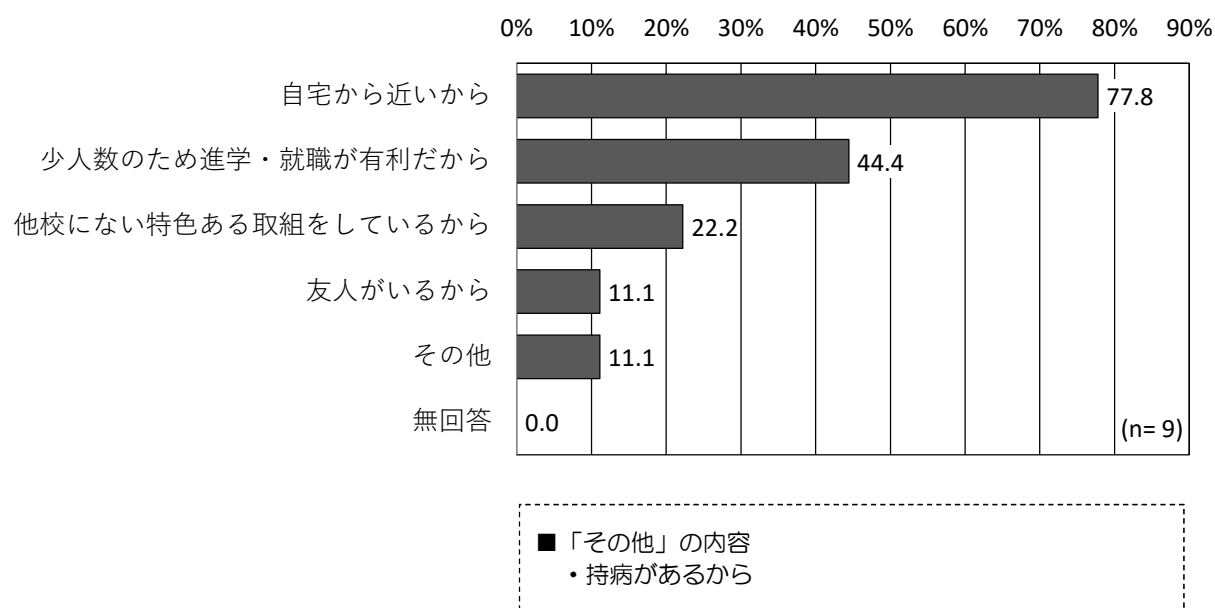
○平成23年調査では「南富良野高等学校」に通学している生徒は72.2%でしたが、今回調査では31.0%と41.2ポイント減少しています。



(6) 南富良野高等学校に進学した理由

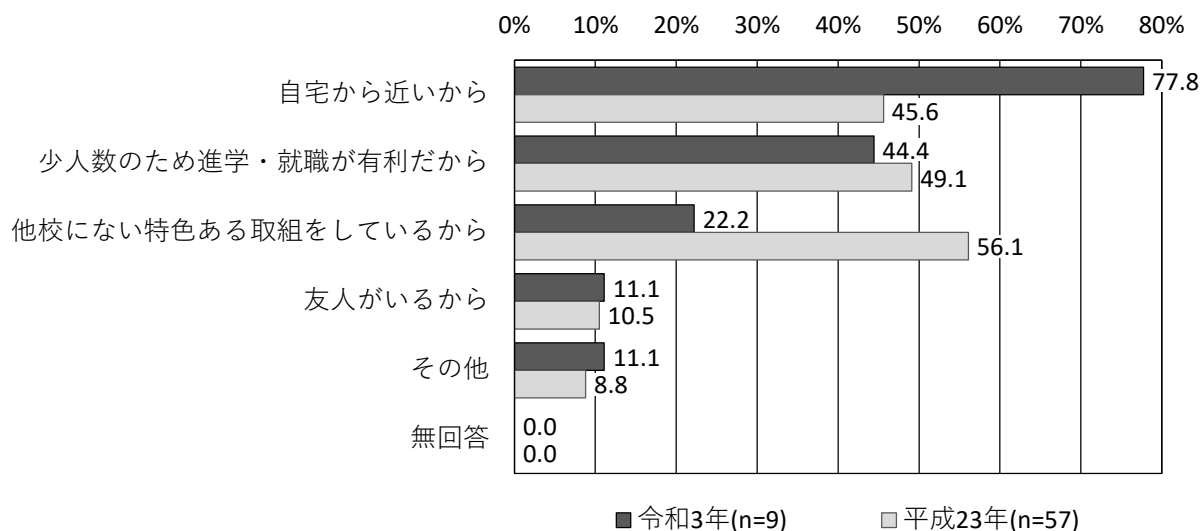
南富良野高等学校へ進学した理由は、「自宅が近いから」が77.8%で最も多く、次いで「少人数のため進学・就職が有利だから」(44.4%)、「他校にない特色ある取組をしているから」(22.2%)が続いています。

問3-1 南富良野高等学校に進学した理由は何ですか。(2つまで○印)



過去の調査との比較

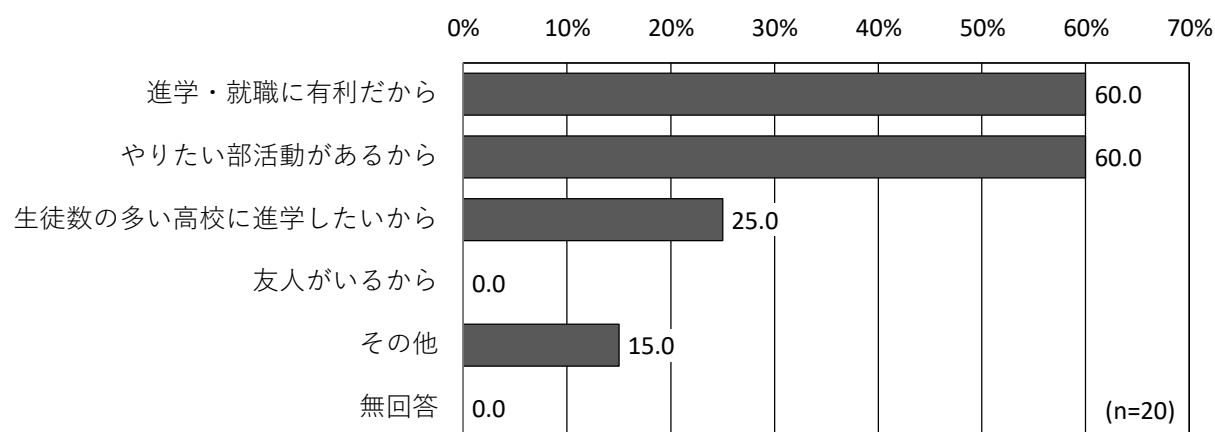
○平成23年調査では「他校にない特色ある取組をしているから」が56.1%で最も多い状況でしたが、今回調査では「自宅が近いから」が77.8%を占めています。



(7) 他の高校に進学した理由

南富良野高等学校以外の高校に進学した理由は「進学・就職に便利だから」「やりたい部活動があるから」が60.0%で最も多く、次いで、「生徒数の多い高校に進学したいから」が25.0%が続いています。

問3-2 他の高校に進学した理由は何ですか。(2つまで○印)

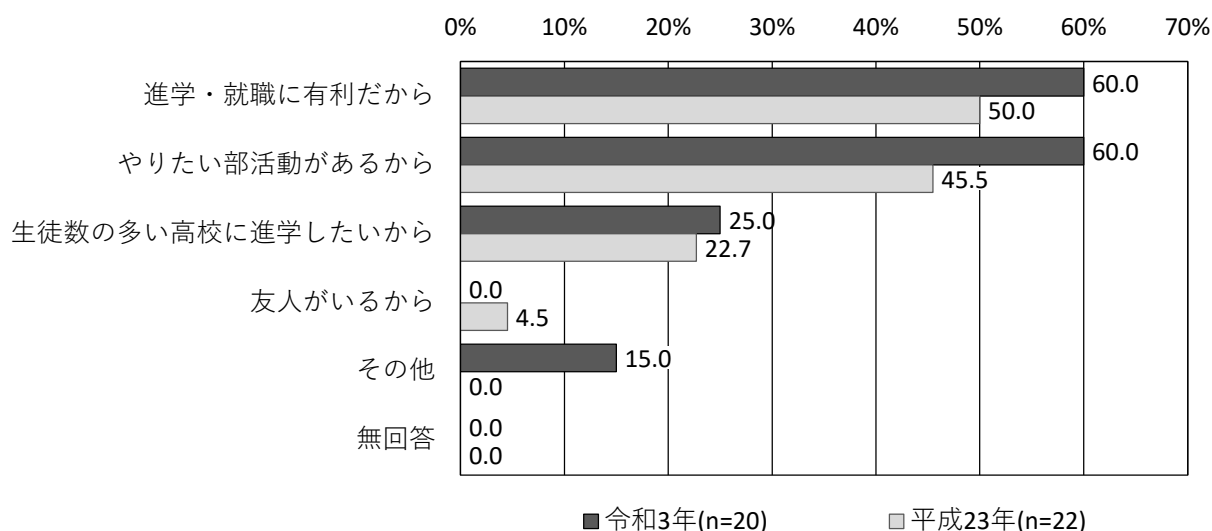


■「その他」の内容

- ・南富良野高校に行きたい理由がないから
- ・勉強したい事があるから
- ・自分の学力に適しているから

過去の調査との比較

○平成23年調査においても「進学・就職に便利だから」「やりたい部活動があるから」が最も多く、今回調査でも傾向に大きな変化はありませんでした。

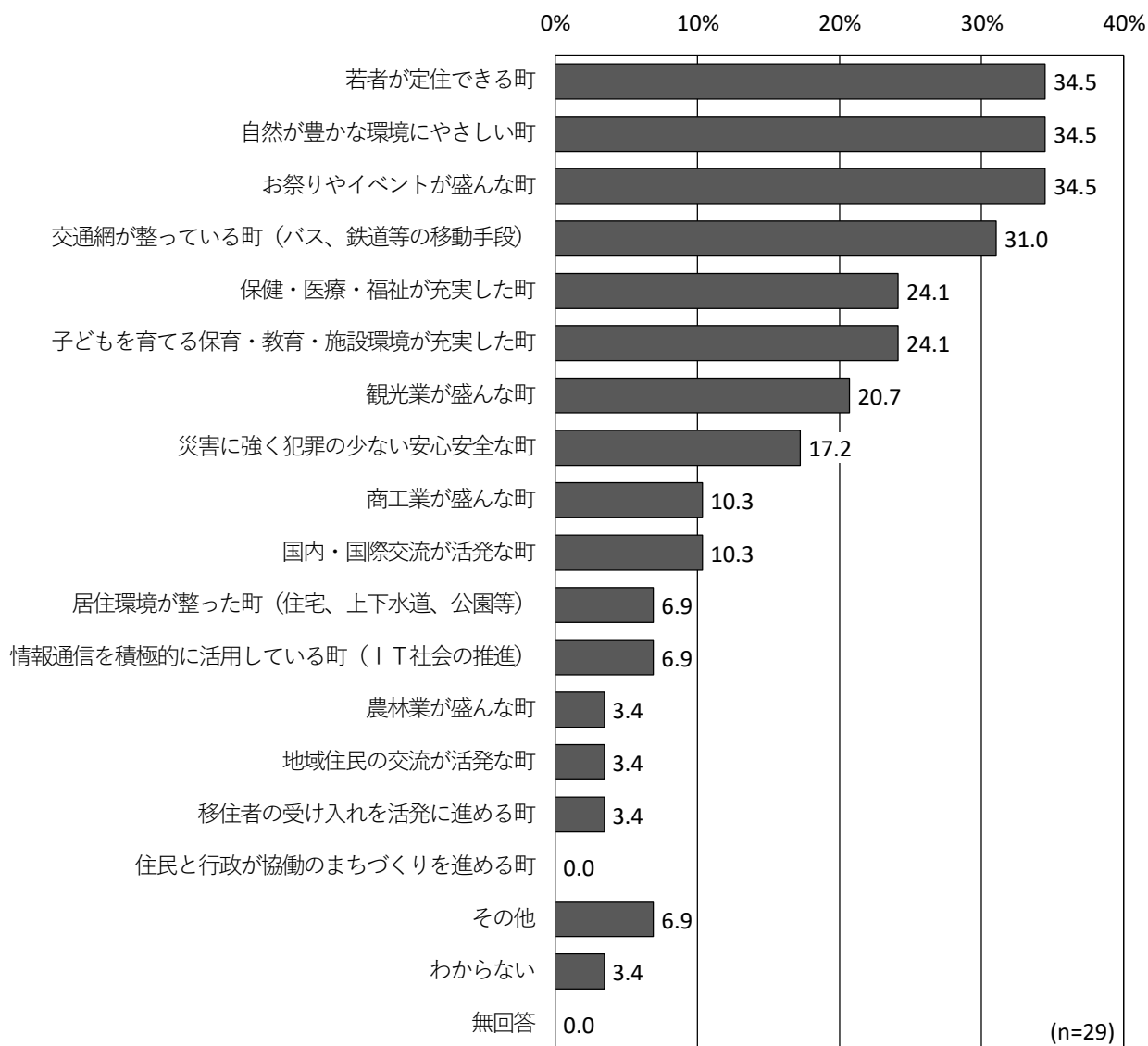


3. 将来に希望する南富良野町の姿

将来に希望する南富良野町の姿は、「若者が定住できる町」「自然が豊かな環境にやさしい町」「お祭りやイベントが盛んな町」がいずれも 34.5% で最も多くなっています。

問4 あなたが大人になったとき、南富良野町がどんなまちになっていたら良いと思いますか。

(3つまで○印)



■「その他」の内容

- ・町の特色をしっかりと活かすことができる町
- ・多様性にあふれる町 (障がい、性別、年齢とかが関係ない町)

過去の調査との比較

○今回調査では、平成23年と比べて「交通網が整っている町（バス、鉄道等の移動手段）」「子どもを育てる保育・教育・施設環境が充実した町」の割合が顕著に増加しており、対して「災害に強く犯罪の少ない安心安全な町」「農林業が盛んな町」の割合は減少が顕著です。

